

共通

共通

学年	科目名	クラス	ページ
1	英検対策 I	ELNQRY	1
1	TOEIC I	ELNQRY	2
1	英検対策 II	ELNQRY	3
1	TOEIC II	ELNQRY	4
1	コミュニケーションイングリッシュ	LQRT留Z①②③④	5
1	コンピュータ	QRKMZ	6
1	SPI非言語対策	ELQRUE	7
1	SPI言語対策	全科	8
1	ホテル英会話 I	EU	9
1	ビジネス検定対策	ELQRNUY	10
1、2	韓国語	ENLQRABMS	11
1、2	中国語	ENLQRABMS	12
2	韓国語	KOP	13
2	中国語	KOP	14
2	フランス語	ABS E	15
2	コミュニケーションイングリッシュ	ABKQR	16
2	コンピュータ	QRKMZ	17
2	SPI非言語対策	ABOPZ	18
2	SPI言語対策	全科	19
2	サービス接遇検定	KMZ	20
2	手話	MQR	21
2	ホテル英会話 II	ABS	22

対象学年		1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル・トラベル・鉄道・エアライン・ 国際ホテルマネジメント・夜間総合観光科		
科目名		英検対策Ⅰ				クラス	ELNQRY	
担当講師(フルネーム)		日高郁子、平島千華、高木美希、鈴木茉衣						
授業概要(内容)		英検各級の語彙、文法についての解説等 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。				授業形態	講義	
到達目標		6月1日(土)(2019年度第1回検定)及び10月5日(土)(2019年度第2回検定)実施の英検に合格できる力をつける。						
使用テキスト		2019年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)						
成績評価方法		・期末試験80%、平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×						
事前・事後学習について		試験対策として、過去問題集等の反復を繰り返し行い理解を深め、合格率を高める。						
	テーマ		授業内容					
1回	2018年第2回検定問題		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。					
2回	2018年第2回検定問題		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。					
3回	2018年第2回検定問題		長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。					
4回	進捗調整・リスニング		リスニング 2018年度第2回検定問題での未修得箇所の再学習。 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。					
5回	2018年第1回検定問題		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。					
6回	2018年第1回検定問題 英検直前対策		リスニング 2018年度第1回検定問題での未修得箇所の再学習。					
7回	リスニング・英作文対策 英検直前対策		リスニング 英作文対策 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。					
8回	2018年第1回検定問題		長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。					
9回	2018年度第1回検定解答 2017年第3回検定問題		2019年度第1回検定解答、解説 語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。					
10回	2017年第3回検定問題		長文問題、語彙を学ぶとともに英文構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。					
11回	2017年第3回検定問題 二次試験対策		リスニング 二次試験対策 面接指導					
12回	進捗調整・二次試験対策		リスニング 二次試験対策 面接指導					
13回	2017年第3回検定問題		長文問題、語彙を学ぶとともに英文構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。					
14回	進捗調整・リスニング		リスニング 2017年度第3回検定問題での未修得箇所の再学習。					
15回	期末試験対策		前期授業総括 期末試験対策					

対象学年		1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル・観光・鉄道・エアライン・夜間総合観光科		
科目名		TOEIC I				クラス	ELNQRV①	
担当講師(フルネーム)		挽田 雅子						
授業概要(内容)		TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。				授業形態	講義	
到達目標		TOEIC試験で目標スコアを獲得する。						
使用テキスト		公式TOEIC LISTENING & READING 問題集4						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		語彙力強化に取り組むこと。授業の内容を復習すること。						
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		オリエンテーション、授業の進め方、評価方法の説明 TOEICテストの説明 サンプル問題を解く					
2回	Part2(1)		Part2の攻略の基本を学ぶ WH疑問文を聞き取る キーワードを避ける					
3回	Part2(3)		「許可」「依頼」「提案」の応答の典型を覚える 音のひっかけに注意する 練習問題					
4回	Part3((2)		設問を先に読む 設問の意味を単純化する 選択肢を読む					
5回	Part4(1)		Part4の攻略の基本を学ぶ 設問の順番に沿ってヒントを聞き取る アナウンスや公共放送を聞く					
6回	Part4(3)		図・イラスト問題を攻略する 設問を先読みする 練習問題					
7回	Part5(2)		名詞の形と役割を理解する 名詞と数量詞の関連を知る 練習問題					
8回	Part5(4)		形容詞の形と役割を理解する 副詞の形と役割を理解する 形容詞と副詞の練習問題					
9回	Part5(6)		前置詞の用法について理解する 接続詞の用法について理解する 前置詞と接続詞の練習問題					
10回	Part6(1)		Part6の攻略の基本を学ぶ 設問を分類する 文法・語彙問題を解く					
11回	Part7(1)		Part7の攻略の基本を学ぶ 短い文章から取り組む メール・お知らせ・メッセージを読む					
12回	Part7(3)		記事・取扱説明書・手紙を読む 時間を管理する シングルパッセージの後半を最後に解く					
13回	Part7((5)		ダブルパッセージ 求人広告とメール 設問の焦点となる情報を一方の文書で探し、もう一方の文書で関連情報を探す					
14回	Part7(7)		トリプルパッセージ Eメール・目次・ウェブページ 要約力を身につける					
15回	応用問題		ストーリーを理解する ほのめかされた情報が問われたときの解法 「位置選択問題」の解き方					

対象学年		1年	学期	通年	学科	ホテル・フライタル・トラベル・鉄道・エアライン・ 国際ホテルマネジメント・夜間総合観光科		
科目名		英検対策Ⅱ				クラス	ELNQR	
担当講師(フルネーム)		日高郁子、平島千華、高木美希、鈴木茉衣						
授業概要(内容)		英検各級の語彙、文法についての解説等 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。				授業形態	講義	
到達目標		6月1日(土)(2019年度第1回検定)及び10月5日(土)(2019年度第2回検定)実施の英検に合格できる力をつける。						
使用テキスト		2019年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)						
成績評価方法		・期末試験80%、平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×						
事前・事後学習について		試験対策として、過去問題集等の反復を繰り返し行い理解を深め、合格率を高める。						
	テーマ		授業内容					
1回	2018年第2回検定問題		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。					
2回	2018年第2回検定問題		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。					
3回	2018年第2回検定問題		長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。					
4回	進捗調整・リスニング		リスニング 2018年度第2回検定問題での未修得箇所の再学習。 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。					
5回	2018年第1回検定問題		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。					
6回	2018年第1回検定問題 英検直前対策		リスニング 2018年度第1回検定問題での未修得箇所の再学習。					
7回	リスニング・英作文対策 英検直前対策		リスニング 英作文対策 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。					
8回	2018年第1回検定問題		長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。					
9回	2018年度第1回検定解答 2017年第3回検定問題		2019年度第1回検定解答、解説 語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。					
10回	2017年第3回検定問題		長文問題、語彙を学ぶとともに英文構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。					
11回	2017年第3回検定問題 二次試験対策		リスニング 二次試験対策 面接指導					
12回	進捗調整・二次試験対策		リスニング 二次試験対策 面接指導					
13回	2017年第3回検定問題		長文問題、語彙を学ぶとともに英文構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。					
14回	進捗調整・リスニング		リスニング 2017年度第3回検定問題での未修得箇所の再学習。					
15回	期末試験対策		前期授業総括 期末試験対策					

対象学年		1年	学期	通年	学科	ホテル・ライタル・観光・鉄道・エアライン・夜間総合観光科		
科目名		TOEIC II				クラス	ELNQR①	
担当講師(フルネーム)		挽田 雅子						
授業概要(内容)		TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。				授業形態	講義	
到達目標		TOEIC試験で目標スコアを獲得する。						
使用テキスト		公式TOEIC LISTENING & READING 問題集4						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		語彙力強化に取り組むこと。授業の内容を復習すること。						
	テーマ		授業内容					
1回	Part1		Part1の攻略の基本を学ぶ 人物、風景と物、乗り物についての表現を学ぶ 練習問題					
2回	Part2(2)		Yes/No疑問文の応答 付加疑問文の応答 平叙文の応答					
3回	Part3(1)		Part3の攻略の基本を学ぶ 設問を読み、全体を聞いて解答できるものとピンポイントで聞いて解答するものを見分ける 練習問題					
4回	Part3((3)		設問を先に読む 図・イラスト問題を攻略する 選択肢を読む					
5回	Part4(2)		場所を問う問題を解く 職業を問う問題を解く 次の行動を問う問題を解く					
6回	Part5(1)		Part5の攻略の基本を学ぶ 品詞問題の解き方を学ぶ 文型・修飾語について理解する					
7回	Part5(3)		動詞の形と役割を理解する 能動態と受動態 時制について学ぶ					
8回	Part5(5)		準動詞の形と役割を理解する 不定詞・動名詞の練習問題 分詞の形と用法を理解する					
9回	Part5(7)		主語と述語の一致について理解する 主語の見分け方と対応する動詞の選び方を学習する 練習問題					
10回	Part6(2)		[文挿入問題]の解き方を学ぶ 空所の前後の内容をリンクさせるキーワードに注意する 練習問題					
11回	Part7(2)		広告・オンラインチャット・求人広告を読む 流れを意識して読む テキストメッセージは書き手の関係を整理して読む					
12回	Part7(4)		ダブルパッセージの解き方を学ぶ メールと予定表を読む 練習問題					
13回	Part7((6)		トリプルパッセージの解き方を学ぶ ウェブページとメールを読む 練習問題					
14回	Part7(8)		トリプルパッセージ 記事・文書・ウェブページを読む 要約力を身につける					
15回	まとめと復習		TEST1を復習する 語彙・語法の確認 文法問題の確認					

対象学年		1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科、観光科、鉄道科、エアライン科、 国際ホテルマネジメント科1年、夜間総合観光科2年			
科目名		コミュニケーションイングリッシュ				クラス	E①②、LNQRU①②③④⑤、Z		
担当講師(フルネーム)		Geoffrey Wolfson, Riley Roselius, Brandon Perry, Max Gonzalez, Guzman Carlos							
授業概要(内容)		Doing self introductions. Making various presentations about oneself. Asking and answering various questions with a partner. Practicing role plays. Understanding various culture points.				授業形態	講義		
到達目標		To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.							
使用テキスト		Challenge Book #4およびPassport 1							
成績評価方法		Class work and attitude(50%), In-class presentations (50%)					単位数	2	
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		事前学習① チャレンジブック及びパスポートのCDを聴いてレッスンに備える。②分からない単語があれば授業前に調べておく。							
	テーマ		授業内容						
1回	Orientation Challenge Book #4 P7-8 Passport 1 P4-7		Orientation: Explanation about Class rules Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Introduction, Where are you from?						
2回	Challenge Book #4 P7-8 Passport 1 P8-9		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction (Test) Would you like chicken or fish?						
3回	Challenge Book #4 P9 Passport 1 P8-9		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Would you like chicken or fish? Review & Expansion (Test)						
4回	Challenge Book #4 P9 Passport 1 P10-11		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information (Test) Can I have your passport, please?						
5回	Challenge Book #4 P10 Passport 1 P10-11		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Can I have your passport, please? Review & Expansion (Test)						
6回	Challenge Book #4 P10 Passport 1 P12-13		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend (Test) My mother has her own business.						
7回	Challenge Book #4 P11 Passport 1 P12-13		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test My mother has her own business. Review & Expansion (Test)						
8回	Challenge Book #4 P11 Passport 1 P14-15		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test (Test) Can I check my email?						
9回	Challenge Book #4 P12 Passport 1 P14-15		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Can I check my email? Review & Expansion (Test)						
10回	Challenge Book #4 P12 Passport 1 P16-17		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation (Test) Are you ready to order?						
11回	Challenge Book #4 P13 Passport 1 P16-17		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Are you ready to order? Review & Expansion (Test)						
12回	Challenge Book #4 P13 Passport 1 P20-21		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview (Test) Where's the station?						
13回	Challenge Book #4 P14 Passport 1 P20-21		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Where's the station? Review & Expansion (Test)						
14回	Challenge Book #4 P14 Passport 1 P22-23		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport (Test) Can I use my card in this ATM?						
15回	Challenge Book #4 P15 Passport 1 P22-23		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Can I use my card in this ATM? Review & Expansion (Test)						

対象学年		1年	学期	前期のみ	学科	全科		
科目名		コンピュータ				クラス	E・L・N・Q・R・Y・U	
担当講師(フルネーム)		乙咩清美						
授業概要(内容)		タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 ビジネス文書のルール、ファイル管理を練習する。				授業形態	講義＆演習	
到達目標		Microsoft Wordの基礎知識を学び、タイピングスキルと、就活や社会人として必要な文書作成スキルを身につける						
使用テキスト		実教出版 30時間でマスターWord2016						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について								
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		OAルームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作・クラウドについて タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力					
2回	Word基礎		キーボード操作(様々な入力方法やショートカットキーの活用) 文章入力 ※ページ設定、文字書式、文字のコピー・削除・移動など、ファイル保存について					
3回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※表作成、ビジネス文書の基本など					
4回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※画像の挿入、図形描画など					
5回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方					
6回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方					
7回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど					
8回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ページ設定、文字書式、段落書式(箇条書き・均等割り付け)					
9回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習					
10回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習					
11回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど					
12回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど					
13回	前期期末試験		前期期末試験実施					
14回	Word基礎		タイピング練習 期末試験解説・ビジネス文書作成(ポストカード作成) 写真や画像の挿入・スマホ画像の活用など					
15回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) 写真や画像の挿入・スクリーンショットなど					

対象学年		1年	学期	通年	学科	全科		
科目名		SPI非言語対策				クラス	全クラス合同	
担当講師(フルネーム)		榎木田祐夫・北村正雄						
授業概要(内容)		数学の授業は週に1回なのでエアライン系、旅行系、ホテル系、鉄道系の会社の過去問を中心に問題が予想される問題をできるだけわかりやすく講義します。この科目は予習よりも復習に力を入れてください。				授業形態	講義	
到達目標		航空系、旅行系、ホテル系、鉄道系などの企業の能力適性検査試験(就職試験)に合格するのに必要な非言語分野の能力・学力を修得することが出来ます。						
使用テキスト		SPI基本問題集(非言語分野) 大和書房						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		小学校の高学年・中学全学年・高校1年までの数学の基本的な考えと定理と公式の復習						
	テーマ	授業内容						
1回	オリエンテーション・基礎事項の確認	講義指針、内容などに関する事項 航空業界・旅行ホテル業界の採用試験形式と最近の試験傾向 SPIなどは公務員試験に採用されている数的推理・判断推理に似ています。できるだけ方程式を使わずに問題を処理する能力が要求されます。特に最近の推論という分野は、問題文を見て論理的な思考を用いてその場で解答を導きます。数学ができるからと言っても、推論が解けるとは限りません。逆に数学ができなくても推論は解けます。問題が発生したとき、その場で考えて問題を推理論理的に処理する能力があればそれでいいのです。数学苦手な人も自信を持ってくださいな。						
2回	鶴亀算1 連立方程式	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? 大人料金1300円子供料金600円 消しゴム35円鉛筆60円など。鶴亀算の出題率は非言語のベスト5に入ります。最近のテストセンターでは、鶴亀算が働く条件も出題されています。連立方程式を使って解くのが一般的ですが、自分の解きやすい解き方として短時間で正解にたどり着ければそれでよいのです。						
3回	鶴亀算2 連立方程式	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? HONDAのバイクとトヨタの車が合わせて20台あります。バイクと車のタイヤの数を数えたら64本ありました。バイクと車はそれぞれ何台ありますか? ある仕事をするのに、商品1個を仕上げると、1500円のバイト料がもらえます。商品を壊してしまうと、商品1個につきバイト料はもらえないどころか、1個につき2000円弁償しなければならぬ。バイトの学生が20個仕上げて、バイト料16000円をもらった。この学生は商品を何個壊しましたか						
4回	速さ・時間・距離 1 旅人算	この問題は旅人算・追いつけ算・出会い算と呼ばれています。この分野もほとんどすべての試験形式で、出題されます。距離と時間と速さの関係性がポイントです。速さとかかる時間が逆比の関係性にあることがキモです。実際の入社試験の過去問を解いていきましょう。有名な問題は、Aが分速60mで寮から駅に向かって信号機のない直線道路歩き始めた。その15分後Bが分速80mで追いつけた。Bは何分後寮から何mの地点でAに追いつけますか? また鉄橋通過算もあります。時速と列車と鉄橋の長さが与えられている場合、列車がこの鉄橋を通過するのに何秒かかりですか? ポイントは時速を秒速に変換する点です。						
5回	速さ・時間・距離 2 旅人算と流水算	この問題は旅人算・追いつけ算・出会い算と呼ばれています。 出会い算とは、寮から勤務のホテルまで、信号機なしの直線道路で、17km離れています。Aが寮から勤務先のホテルに出勤するため、午前8時に自転車で時速時速7kmで向かいました。他方勤務明けのBは寮に戻るため、バイクで、午前8時に時速21kmでホテルを出発しました。AとBは何時何分に寮から何m? ホテルから何mの地点で出会いますか? 流水算とは、川の上流A地点と、川の下流のB地点を船で往復する場合の、静水時の船の速さや、川の流れの速さを求める問題です。						
6回	食塩水の濃度1	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあはいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思えます。実際、ホテル、空港、プライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないとします。①食塩水Aに、食塩を混ぜて、できた食塩水Bの濃度は何%? ②濃度の異なる食塩水Aと食塩水Bを混ぜ合わせた時に出来る食塩水Cの濃度は何%?						
7回	食塩水の濃度2	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあはいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思えます。実際、ホテル、空港、プライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないとします。③食塩水Aに水または食塩を混ぜて、食塩水Bを作るには水、または食塩を何g加えるといえますか? ④食塩水A(濃度13%重さ270g)を煮沸して出来合した食塩水B(重さ190g)の濃度は? 煮沸して、蒸発するのは水だけがポイント						
8回	年齢算	年齢算の正体を明らかにします。年齢算にはいろいろな解き方があります。自分の解きやすい解き方で解いて構いません。大切なことは早く、正確に正解することです。SPI非言語は小学校高学年の文章題で学習した内容が非常に多いです。小学校で習ったから、簡単ではありませんよ。中学・高校の数学のほうが問題によっては簡単なケースがたくさんあります。SPI非言語と数学は必ずしも同じではありません。それが数学と言わずに、SPI非言語と命名されている理由だと思います。						
9回	比と割合 玉手箱(計数理解)	割合の考え方を基本に問題演習を実践します 割引・割り増しの考え方を理解できるようにします。この理解は損益算につながっていきます。また比の問題はいろいろな形でよく出題されます。例えばバラが全部で90本 赤バラと白バラの数が6:3の時赤バラをさらに30本増やしたとき赤バラと白バラの比率は何:何になりますか? 比の問題のポイントは比の差と比の和です。SPI・3でも頻出分野です。玉手箱は計数理解という簡単な方程式を使った問題が50問 1問平均8秒以内で間に時間との闘い。						
10回	確率1 Probability	確率は必ず出題されます。絶対に理解しておきましょう。 確率については最大が1です。100%でも10割でもかまいません。 公式は $0 < P < 1$ Probability 試験のポイントは(少なくとも)余事象の理解です。余事象の場合、解答欄の選択肢は、必ず【1-分数】を選択することになります。とても大事なので1年後期でも学習します。 ある日のホテルの宿泊客35名。内訳は男性は21名女性14名。翌朝2人がチェックアウトしました。①チェックアウトした二人が二人とも女性だった確率は? ②二人のうち少なくとも一人が女性だった確率は?						
11回	順列1 Permutation	順列の基本的な考え方は難しくありません。小学校中学校の時に理解できていない学生もたくさんいます。もう一度じっくり考えてみると必ず理解できます。 公式は、 $nPr = \frac{n!}{(n-r)!}$ P=permutation=順列 nは全体の数字rはn個(人)の中から取り出して並べた時の数です。公式に当てはめるだけです。絶対に落とさず。 順列も1年後期ですらに難しい問題に挑戦します。 SPI・3になってから、重複順列・円順列も出題されています。数珠順列は出題されていません						
12回	組み合わせ1 Combination	順列が理解できないと組合せは理解できません。順列ではABC ACB BAC BCA CAB CBAはすべて別と考えます。つまり並び方が違うと別物と考えます。組合せは列(並び方)ではなく、中身・内容で考えるので、ABC～CBAまで全て同じと考えます。つまり組み合わせとしては、1個です。 公式 $nCr = \frac{n!}{r!(n-r)!}$ C=Combination公式の意味も理解しましょう。 組み合わせも1年後期ですらに難しい問題に挑戦します。						
13回	仕事算1	仕事算の意味=ある人、ある機械が一日又は一時間一分間当たりどれだけの仕事をするのかの問題 仕事算の基本問題・公式①一日(一時間)当たりの仕事量=1÷かかった日数(時数分秒数) Aがホテルのある業務21日かけて完了した。Aの一日当たりの仕事量は21分の1 数学では全体を1とする場合がとて多い。この場合の1(いち)はoneではなく、allの意味です。日本語としても、いちがallの意味に使われています。詳しくは講義の中で。						
14回	仕事算2 暗号問題	仕事算の応用問題 A一人だと27日(27時間)、B一人だと33日(33時間)、C一人では40日(40時間)かかる仕事をABCの3人ですると何日(何時間)で終わるか? ABC3人で二日間仕事をしたが、Aが途中でサボったためBC二人で残りの仕事をした場合最初から教えて何日(何時間)に完了する? など 暗号問題は公務員採用試験には出題されていますが、従来SPI・2には出題、されていませんでした。SPI・3には暗号問題があります。知能検査みたいな問題で、センスがためられます。何問かチャレンジしましょう。頭の柔らかさとセンスがためられます。						
15回	前期学習の総まとめ	鶴亀算 速さ・時間・距離 食塩水の濃度 確率 順列 組み合わせ 玉手箱の計数舎利 と後期学習の最重要分野の推論について						

対象学年		1年	学期	通年	学科	全科		
科目名		SPI言語対策				クラス		
担当講師(フルネーム)		前田恭子・山本真美						
授業概要(内容)		就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業				授業形態	講義	
到達目標		筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指す						
使用テキスト		・一般常識チェック& ・一般常識/一問一答						
成績評価方法		※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 前期試験80%、平常点(課題提出、授業態度など)20%					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		復習を必ずする						
	テーマ		授業内容					
1回	目指せ『漢検二級』		授業の進め方、評価方法の確認 漢字検定 / 模擬試験(合格している級より上の級の問題を解く) (校内で実施される漢字検定に向けての準備 / 任意受検)					
2回	都道府県を極める		日本の白地図を使用して都道府県を確認する うろ覚えの知識を確かな知識に変える一歩					
3回	世界地図を見る①		白地図で主要な国の位置と首都を把握しよう					
4回	世界地図を見る②		2週にわたり、世界で注目されている国々の場所を確認し、時事問題に対応できる基礎固めをします					
5回	グローバル社会の住人①		世界の『今』を知るために、国際連合とその諸機関を学びます 中学・高校でも学んだILOやWHOの登場です					
6回	グローバル社会の住人②		程よい付き合いは、人にとっても国にとっても重要です 国同士の『付き合い』を地域協定(EU・ASEANなど)を通して考えます					
7回	グローバル社会の住人③		『summit』の意味は『頂上』。時事用語の『サミット』は？ G7サミットはフランスで開催。G20サミットは大阪で開催です					
8回	あなたの『1票』の重さ		政治① 国会議員の人数や任期を知るとともに国会の仕組みについて学びます (今年は参議院の選挙が7月にあります)					
9回	霞が関		政治② 内閣と1府12省庁と関連機関を確認します					
10回	地方公共団体		政治③ 中央政治のあとは、地方政治を学びます					
11回	裁判員裁判		裁判所について学びます。裁判員制度は聞いたことがあるけれど・・・					
12回	循環する『お金』		銀行に預けたお金はどこへ行く？ お金の流れを考え『経済』をもっと身近に					
13回	『おれ』は技術の結晶		『おれ』から、『電子決済』まで、世界の今、日本の今を考えます					
14回	経済用語を覚える		CEO,COO、CFO、代表取締役社長、いろんな呼び方があります。あわせて覚えましょう					
15回	前期の総復習＆課題		前期の復習と夏休みの課題説明					

対象学年		1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科、国際ホテルマネジメント科		
科目名		ホテル英会話 I				クラス	E.U クラス	
担当講師(フルネーム)		中牟田登喜枝、日高郁子、松本範子						
授業概要(内容)		ホテルで使う英語の基本的な表現を学ぶ				授業形態	講義	
到達目標		状況に応じて英語で対応できるようになる						
使用テキスト		ホテル英会話I 基礎編						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		ホテル実習で実際に使えるよう語彙・表現を復習する						
	テーマ		授業内容					
1回	授業の進め方とホテルの英会話について		授業内容、評価方法、期末テストについて 自己紹介を英語でする ホテル英会話の特徴を知る					
2回	Lesson 1 Greetings		お客様がホテルにご到着された時のご挨拶を学ぶ お客様がホテル滞在中に使う挨拶を学ぶ お客様がご出発されるときに使う挨拶を学ぶ					
3回	Lesson 1 Greetings		テキストに従ってロールプレイをして表現を身に着ける 言い換え練習をする					
4回	Lesson 2 Polite Expressions		レッスン1復習テスト 丁寧な英語で注文取の練習					
5回	Lesson 2 Polite Expressions		丁寧な英語を使って質問に答えたり、お願いをしてみよう					
6回	Lesson 2 Polite Expressions		お客様の言われていることがわからなかった時の対処法					
7回	Lesson 3 Expressing Thanks and applogy		レッスン2復習テスト 感謝・謝罪の表現を学ぶ					
8回	Lesson 3 Expressing Thanks and applogy		テキストに従ってロールプレイをして表現を身に着ける 言い換え練習をする					
9回	Lesson 4 Expressing Numbers		レッスン3復習テスト 時間の言い方、営業時間の言い方を学ぶ					
10回	Lesson 4 Expressing Numbers		階数の表現を学ぶ お部屋番号の言い方を学ぶ					
11回	Lesson 4 Expressing Numbers		電話番号が言えるようになる。 金額の表現ができるようになる					
12回	Lesson 5 Doorman		レッスン4復習テスト ゲストの送迎の表現ができるようになる					
13回	Lesson 5 Doorman		館内とホテル近くの案内表現を学ぶ					
14回	Lesson 5 Doorman		市内案内を学ぶ					
15回	前期まとめ		レッスン5復習テスト まとめ					

対象学年		1年	学期	通年	学科	ホテルブライダル・鉄道・エアライン・トラベル ・夜間総合観光・国際ホテルマネジメント(日本人)科		
科目名		ビジネス検定対策				クラス	ELQRNUY	
担当講師(フルネーム)		徳永美千留・榎本美和子・池田香織・田中友加利						
授業概要(内容)		・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得させる。 ・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ				授業形態	講義	
到達目標		ビジネス能力検定ジョブパス3級合格を目指す(12月受験)						
使用テキスト		ビジネス能力検定 3級テキスト 2019年度版						
成績評価方法		・期末試験60%平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について								
ビジネス用語の小テストを行う								
	テーマ			授業内容				
1回	オリエンテーション			授業内容、成績評価方法				
2回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本			第1章 キャリアと仕事へのアプローチ 第2章 仕事の基本となる8つの意識				
3回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本			第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本 ・身だしなみ、あいさつ、おじぎ、仕事時のマナー				
4回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本			第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談				
5回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本			第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談				
6回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本			第5章 話し方と聞き方のポイント ・敬語の種類と必要性				
7回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本			第6章 来客応対と訪問の基本マナー 第7章 会社関係でのつき合い				
8回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール			第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本				
9回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール			第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本				
10回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール			第3章 電話応対				
11回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール			第4章 統計・データの読み方・まとめ方 第5章 情報収集とメディアの活用				
12回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール			第5章 情報収集とメディアの活用				
13回	過去問題			過去問題解答 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る				
14回	過去問題			過去問題解答 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る				
15回	期末試験対策			期末試験前対策 前期授業のまとめ				

対象学年		1・2年共通	学期	通年	学科	全科(夜間総合観光科除く)		
科目名		韓国語				クラス	ENLQRABMS	
担当講師(フルネーム)		権京愛・李へ玉						
授業概要(内容)		ハングルの仕組みと正しい発音を学び、読む、書く、聞く練習を重ね、ハングルが読める、書ける、聞き取れるようになる。				授業形態	講義	
到達目標		将来職場で活用できるように韓国語の基礎を自然に身に付けることを目標とする。						
使用テキスト		ゼロからスタート韓国語(会話編) 著者名:鶴見ユミ 出版社:Jリサーチ出版						
成績評価方法		・期末試験60%平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		毎回の授業内容の復習と練習問題を解くこと。						
	テーマ	授業内容						
1回	ORIENTATION・基本母音	ハングル誕生の背景や韓国語の特徴を知ろう！ 基本母音を学び、書く練習をしながら覚える。 歌で韓国の挨拶を習う。						
2回	基本子音と基本母音	基本子音を学んで、既習の基本母音と組み合わせ、正しく発音ができるように練習を重ねる。 子音＋母音、関連単語の発音と書く練習する。 簡単な挨拶表現、教室用語を覚え、授業中に使えるように練習する。						
3回	合成母音と練習問題	合成母音を学んで子音と組み合わせ、発音の練習と書く練習を重ねる。 子音＋合成母音、関連単語の練習をし、覚える。 韓国童謡を習い、単語を覚える。						
4回	激音、濃音の練習	激音、濃音の発音を学び、書く練習をする。 母音と組み合わせ発音ができるように練習をする。 関連単語を覚え、正確に発音ができるようになる。						
5回	パッチムの発音	代表的なパッチムの音の表記と関連単語を書く練習をしながら覚える。 二重パッチムの発音の仕方と関連単語を学び、しっかり発音できるように練習を重ねる。 自分の名前をハングルで書いてみよう！						
6回	自己紹介	ハングルで自分の名前を書く練習をする。 韓国語で簡単な自己紹介のフレーズを覚え、となりの人と韓国語で自己紹介をする。 ハングルで書いた自分の名前をとなりの人と交換する。						
7回	存在	存在の表現「あります」、「います」を学び、テキストの文章を声を出して読む練習をする。 関連単語を覚え、会話の練習をする。 短文を作って発音の練習をする。						
8回	存在の否定	存在の否定の表現「ありません」、「いません」を学び、テキストの文章を声を出して読む練習をする。 買い物の表現を学び、会話の練習をする。 否定の短文を作って会話練習をする。						
9回	肯定・疑問と否定	肯定・疑問「～です、～ですか」と否定「～ではありません」の表現を学び、覚えるまで繰り返し練習をする。 韓国語で自己紹介したり、物を尋ねたりしながら会話の練習する。 パッチムなど発音に気を付け、正しい発音で言えるようにする。						
10回	疑問の尊敬と要求	疑問の尊敬「～でいらっしゃいますか？」と要求「ください」に当たる表現を学び、言えるまで練習を重ねる。 将来、職場で自然に尊敬語が使えるように身に付ける。 お客さんに使えるようなフレーズを覚える。						
11回	値段を尋ねる、漢数字	値段を尋ねる表現「いくらですか」と漢数字を学んで買い物ができるようにする。 漢数字を使った価格の表現の仕方を学び、会話の練習をする。 韓国の数字の歌を習って楽しく数字を覚える。						
12回	固有数詞と助数詞	固有数詞と助数詞を学び、正しい発音で言えるようになりましょう！ 例)「何人ですか?」「何個ですか?」「何時ですか?」など置き換え練習をする。 韓国商品のチラシを見て商品の値段が正しい発音で言えるようになる。						
13回	文字・文型の復習	既習のハングルの母音、子音、パッチムの仕組みをもう一度しっかり復習し、正しく読み書きできるようにする。 漢数字も復習し、値段を尋ねる会話の練習をする。 普段よく使われる韓国語の縮約形の言葉について学ぶ。						
14回	韓国文化に触れる	韓国映画を観て韓国文化に触れ、より楽しく韓国語が続けられるようにする。 映画のセリフを聞いて聞き取れる単語をメモしてみよう！ 映画を通して日本と韓国の文化の違いを探し、皆で話し合おう！						
15回	まとめ	期末テストに備え、総まとめをする。 文法、文型、発音などをお復し、期末テストに備える。 既習の韓国語で一言ずつ発表する。(好きな事や嫌いな事、夢などについて)						

対象学年		1・2年共通	学期	通年	学科	ENLQRABMSクラス		
科目名		中国語				クラス	選択クラス	
担当講師(フルネーム)		青山祐子						
授業概要(内容)		中国語の基礎的な発音・文法・単語を習得し、簡単な会話文について				授業形態	講義	
到達目標		中国語の音読、語彙の使い方、文の表現しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高めることを目標とする。						
使用テキスト		初めまして！中国語(白水社)						
成績評価方法		※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末試験60%平常点40%					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		中国語の音読、語彙の習得、その後、文の表現が出来るようになる。						
	テーマ	授業内容						
1回	前期の復習	前期期末テストの答え合わせ						
2回	第8課 バス停で	24. 連動文 25. 前置詞”在”						
3回	トレーニング8	26. 時刻の言い方 27. ”是”の省略 ◆時を表わす語(2)						
4回	復習2 鈴木君の一日	1. 存在の”有”と所在の”在” 2. 実現・完了の”了” 3. 動詞述語文(2) 4. 前置詞の”在”						
5回	第9課 放課後に	28. 助動詞 ”会”・”能”・”可以”						
6回	トレーニング9	29. 前置詞 ”跟”と”给” 30. 主述述語文						
7回	第10課 卓球の中継を見ながら	31. 様態補語 32. 経験を表わす”过”						
8回	トレーニング10	33.比較を表わす”比” 34. 動詞 ”喜欢”						
9回	中国の映画を鑑賞しよう！ 前篇	※ 習った単語を探そう						
10回	中国の映画を鑑賞しよう！ 後篇	※ 習った単語を探そう						
11回	第11課 ディズニーランドで待ち合わせ	35. 進行を表わす”在”						
12回	トレーニング11	36. 方向補語 37. 選択疑問文						
13回	第12課 カフェテラスで	38. ”是～的”の文 39. 結果補語						
14回	トレーニング12	40. 時間の長さ・動作の回数を表わす語の位置 ◆ 時間の長さを表わす語						
15回	期末テストの対策	今まで勉強した内容についてのおさらい						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	観光・エアライン科		
科目名		韓国語			クラス		KOP	
担当講師(フルネーム)		権京愛・李へ玉						
授業概要(内容)		ハングルが正確に読み書きできるようにして、韓国語の文法を学ぶ。 昨年度の引き続き、様々な場面で使える会話を身に付ける。			授業形態		講義	
到達目標		自然に韓国語が身に付けることと将来職場で活用できることを目標とする。						
使用テキスト		ゼロからスタート韓国語(会話編) 著者名:鶴見ユミ 出版社:Jリサーチ出版						
成績評価方法		・期末試験60%平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		毎回の授業内容の復習と練習問題を解くこと。						
		テーマ		授業内容				
1回	自己紹介とお祝い	韓国語で自己紹介をする。 既習の学習内容についてしっかり復習し、理解できるようにする。 特に忘れてしまったハングル文字があれば、復習して読める、書けるようにする。						
2回	人を尋ねる表現	「だれに会いますか?」「あの方はだれですか?」「だれと～」「だれが～」に当たる表現を学ぶ。 覚えるまで繰り返し、会話の練習をする。 韓国歌の歌詞を覚えよう!						
3回	理由を尋ねる表現	「どうして」に当たる疑問詞を使った表現を覚え、会話練習をする。 「どうして遅れましたか?」「どうして韓国語を勉強していますか?」など、繰り返し会話の練習をする。 また、質問に対して返事ができる表現を学ぶ。						
4回	状態を尋ねる表現	「気分はどうですか?」「明日の天気はどうですか?」などの表現を学ぶ。 また、質問に対して返事ができる表現を学ぶ。 クラスメートと互いに質問したり、答えたりしながら会話練習をする。						
5回	手段・方法を表す表現	「どうやって」「どのように」になど、方法を尋ねる時に用いる表現を身に付ける。 また、質問に対して返事ができる表現を学ぶ。 クラスメートと互いに質問したり、答えたりしながら覚える。						
6回	良好を表す表現	「～がいいです」「～がいいですか?」 「～はよくないです」に当たる表現を覚え、韓国旅行で買い物ができるようにしっかり身に付ける。 韓国商品のチラシを見ながら、商品の名前、値段が言えるように練習する。						
7回	好みを表す表現	「～が好きです」「～が嫌いです」に当たる表現を学ぶ。 特に日本語の助詞と違う韓国語の助詞に気を付けながら覚える。 クラスメートと会話練習をする。						
8回	練習問題	テキストの練習問題を解きながら、まだ分からない文法・表現などを復習する。 問題に書いてある文章で会話練習をする。 韓国歌の歌詞を覚える。						
9回	韓国旅行に役立つ表現	韓国料理のメニューを覚え、レストランで注文したり料金を支払ったりする会話練習をする。 道を尋ねたり切符を買ったりする表現を覚え、韓国旅行に役立つようにしっかり身に付ける。 得意な料理レシピを韓国語で書いてみよう!						
10回	합니다体と해요体	합니다体と해요体の言いまわしの練習をする。 動詞の原形を覚え、丁寧語の합니다.해요に直して言えるように練習をする。 クラスメートと互いに質問したり、答えたりしながら覚える。						
11回	位置名詞	位置名詞を覚え、言えるようにする。 絵や地図を見ながら建物の場所を教えたり、聞いたりする。 韓国の歌で楽しく位置名詞を覚える。						
12回	韓国文化に触れる	韓国映画を観て韓国文化に触れ、より楽しく韓国語が続けられるようにする。 映画のセリフを聞いて聞き取れる単語をメモしてみよう! 映画を通して日本と韓国の文化の違いを探し、皆で話し合おう!						
13回	現在形と過去形	現在形と過去形を覚える。 丁寧語の現在形と過去形の例文を作る練習をする。 友達に使うため口や目上の人に使う尊敬語の言い方を練習する。						
14回	意志・推量・～したい	意志の表現を覚え、これから自分がどうしたいのかを述べる練習をする。 または、相手がどうしたいかを聞いたりする。 「～に行きたい」「～を食べたい」などとクラスメートと会話をする。						
15回	まとめと面接の練習	期末テストに備え、総まとめをする。 面接時に「どうして当社を選んだのか」などを聞かれた時、韓国語で上手に答えられよう面接の練習をする。 韓国語で自分をアピールできるような文章を書き、スピーチの練習をする。						

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	全科(夜間総合観光科除く)		
科目名	中国語				クラス	選択クラス	
担当講師(フルネーム)	青山祐子						
授業概要(内容)	中国語の基礎的な発音・文法・単語を習得し、簡単な会話文について				授業形態	講義	
到達目標	中国語の音読、語彙の使い方、文の表現しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高めることを目標とする。						
使用テキスト	初めまして！中国語(白水社)						
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末試験60%平常点40%					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択					
事前・事後学習について	中国語の音読、語彙の習得、その後、文の表現が出来るようになる。						
	テーマ	授業内容					
1回	前期の復習	前期期末テストの答え合わせ					
2回	第8課 バス停で	24. 連動文 25. 前置詞”在”					
3回	トレーニング8	26. 時刻の言い方 27. ”是”の省略 ◆時を表わす語(2)					
4回	復習2 鈴木君の一日	1. 存在の”有”と所在の”在” 2. 実現・完了の”了” 3. 動詞述語文(2) 4. 前置詞の”在”					
5回	第9課 放課後に	28. 助動詞 ”会”・”能”・”可以”					
6回	トレーニング9	29. 前置詞 ”跟”と”给” 30. 主述述語文					
7回	第10課 卓球の中継を見ながら	31. 様態補語 32. 経験を表わす”过”					
8回	トレーニング10	33.比較を表わす”比” 34. 動詞 ”喜欢”					
9回	中国の映画を鑑賞しよう！ 前篇	※ 習った単語を探そう					
10回	中国の映画を鑑賞しよう！ 後篇	※ 習った単語を探そう					
11回	第11課 ディズニーランドで待ち合わせ	35. 進行を表わす”在”					
12回	トレーニング11	36. 方向補語 37. 選択疑問文					
13回	第12課 カフェテラスで	38. ”是～的”の文 39. 結果補語					
14回	トレーニング12	40. 時間の長さ・動作の回数を表わす語の位置 ◆ 時間の長さを表わす語					
15回	期末テストの対策	今まで勉強した内容についてのおさらい					

対象学年		1・2年共通	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科		
科目名		フランス語				クラス	ABSE	
担当講師(フルネーム)		ニコラ ドゥ メニス						
授業概要(内容)		フランス語での挨拶から、簡単な自己紹介・フランス語での旅行のために「何・どこ・いつ」などの質問と答え方まで。				授業形態	講義	
到達目標		主に、皆さんが楽しく色んな勉強をしながら、フランスの文化を学ぶ。						
使用テキスト		Pascal au Japon & Spirale						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について								
	テーマ		授業内容					
1回	復習		1-16回の復習 フランスの文化を話す/フランスについてQ&A Etre動詞・-ER動詞/Pascal 1					
2回	自己紹介		自己紹介 Je m'appelle Nicolas. Je suis Francais. Je suis professeur Pascal 2 / 動詞のミニテスト					
3回	持っているもの		私は何々を持ちます。私はお腹空いた。J'ai une voiture. J'ai faim Avoir動詞 / Pascal 3 自己紹介のミニテスト					
4回	趣味		～が好き。～好きですか？J'aime la musique. Tu aimes la musique? Aimer動詞 Pascal 4 / ミニテスト					
5回	パリ、フランスへ		パリに行きたいです。～見に行きたいです。/ Vouloir動詞 パリ・フランスについて何を興味あるかを話す。 テスト1回～4回					
6回	人の話		彼・彼女はだれですか？ / Qui c'est ? 仕事を覚えるためロールプレイ Pascal 5					
7回	誘う		～しませんか？ Tu ne veux pas ... ? ～出来ますか？ Tu peux ... ? Pouvoir動詞 / Pascal 6 / ミニテスト					
8回	気持ち		お元気ですか？ Je vais bien. J'ai faim. J'ai soif Aller 動詞 (Avoir・Etre動詞の復習) Pascal 7 / ミニテスト					
9回	場所 ・どこ		～はどこですか？ 前・後ろ・隣など。 Ou est ~ ? C'est devant, derriere, a cote... Faire 動詞 Pascal 8 + ミニテスト					
10回	家族・形容詞		6回～9回 テスト 大城・小さい・男性名詞・女性名詞 Pascal 9					
11回	数字・歳		何歳ですか？いくらですか？ Tu as quel age ? C'est combien ? 質問の作り方 Pascal 10 + ミニテスト					
12回	質問		どこ・いくらの復習・ いつ・どうやって・なぜ・何時 IR動詞 (Finir, Partir. . .) Pascal 11 + ミニテスト					
13回	質問ロールプレイ		皆でロールプレイ Pascal 12					
14回	移動		行く。来る・ Aller / Venir テスト + 試験の練習 Pascal 13					
15回	パリを感じる		映画で勉強する: Amelie 試験の確認					

対象学年		2年	学期	通年	学科	ホテル・トラベル・鉄道・エアライン・エアポート・国際ホテルマネジメント科			
科目名		コミュニケーション イングリッシュ				クラス	A, B, K, M, O, P, S クラス		
担当講師(フルネーム)		羽矢 茂、日高 郁子、秋満 陽子、松本 範子							
授業概要(内容)		日常生活で使う語彙や会話表現を学ぶ				授業形態	講義		
到達目標		学んだ表現を使うことで自信をつけ、英語を使うことへの抵抗感を払拭する。							
使用テキスト		Passport Plus							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30%(平常点の基準は担当講師により異なります) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		学んだ語彙や表現を復習する。							
	テーマ		授業内容						
1回	Introduction		授業説明 授業内容、成績評価方法についての説明 Introduction: 英語で自己紹介						
2回	1. Welcome to Japan		挨拶の仕方 旅行・観光についての質問						
3回	2. Pleased to meet you		友達の紹介の仕方 初めて会った人とのやり取り、自己紹介						
4回	3. Tell me about yourself		面接での自己紹介(自己PR)						
5回	4. Hello, is this Room Service?		ホテルで使う英語 宿泊者・ホテル従業員それぞれが使う表現						
6回	5. Can I help you?		来客者への挨拶の仕方、案内						
7回	6. What would you like to do while you're here?		外国人観光客へ観光の提案の仕方						
8回	7. Would you like to see my pictures?		旅行の感想・経験 写真を見せて説明してみよう						
9回	8. Let's shop till we drop !		買い物の表現の仕方						
10回	9. Can I take a message?		お客様からの電話・メッセージの受け取り方						
11回	10. I can't stand soccer !		好き嫌いの尋ね方と答え方						
12回	Prep for Speaking Test		speaking test の準備						
13回	Speaking Test								
14回	Speaking Test								
15回	Speaking Test		Speaking Test 予備日・前期のまとめ						

対象学年		1年	学期	前期のみ	学科	全科		
科目名		コンピュータ				クラス	E・L・N・Q・R・Y・U	
担当講師(フルネーム)		乙咩清美						
授業概要(内容)		タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 ビジネス文書のルール、ファイル管理を練習する。				授業形態	講義＆演習	
到達目標		Microsoft Wordの基礎知識を学び、タイピングスキルと、就活や社会人として必要な文書作成スキルを身につける						
使用テキスト		実教出版 30時間でマスターWord2016						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について								
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		OAルームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作・クラウドについて タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力					
2回	Word基礎		キーボード操作(様々な入力方法やショートカットキーの活用) 文章入力 ※ページ設定、文字書式、文字のコピー・削除・移動など、ファイル保存について					
3回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※表作成、ビジネス文書の基本など					
4回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※画像の挿入、図形描画など					
5回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方					
6回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方					
7回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど					
8回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ページ設定、文字書式、段落書式(箇条書き・均等割り付け)					
9回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習					
10回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習					
11回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど					
12回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど					
13回	前期期末試験		前期期末試験実施					
14回	Word基礎		タイピング練習 期末試験解説・ビジネス文書作成(ポストカード作成) 写真や画像の挿入・スマホ画像の活用など					
15回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) 写真や画像の挿入・スクリーンショットなど					

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	全科		
科目名		SPI非言語対策				クラス	全クラス合同	
担当講師(フルネーム)		榎木田祐夫・北村正雄						
授業概要(内容)		数学の授業は週に1回なのでエアライン系、旅行系、ホテル系、鉄道系の会社の過去問を中心に問題が予想される問題をできるだけわかりやすく講義します。この科目は予習よりも復習に力を入れてください。				授業形態	講義	
到達目標		航空系、旅行系、ホテル系、鉄道系などの企業の能力適性検査試験(就職試験)に合格するのに必要な非言語分野の能力・学力を修得することが出来ます。						
使用テキスト		1年次の SPI基本問題集 (非言語分野) 大和書房						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		1年次学習した分野のほうが出題率が高いので、徹底的に復習してください。自分で予習するには時間がかかるからです。						
	テーマ	授業内容						
1回	表の読み取り	統計資料 (日本の輸入商品の増減割合 ある地域における電車・バス・マイカー通勤者の年度別割合) 運賃・料金・使用料金の計算(片道運賃・往復運賃・団体割引運賃、英会話、美術館入場料等を表を見て計算する)						
2回	表の読み取り	統計資料 集合(鉄道、航空機自動車などの利用者の人数をベン図を用いてそれぞれの領域を求める。集合理論特有の日本語の意味 少なくともとの意味) 損益算(原価・定価・売価・利益率を求める公式)						
3回	推論	推論 分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント 頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) √計算と平方根(ルート2, 3, 5, 6などと分数計算 √と分数の混ざった数字の中から大小を比較する問題)						
4回	推論	推論(表を使った電車やバスの速度算ほか)1年次の速度算の応用・速度・距離・時間の関係 時速から分速・秒速を求める。速、秒速・分速から時速を求める。 追いかけ算の公式など 表を短時間に読み取ることがポイント						
5回	推論	推論 分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント 頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) √計算と平方根(ルート2, 3, 5, 6などと分数計算 √と分数の混ざった数字の中から大小を比較する問題)						
6回	構造的把握力検査	最新SPIテストセンターの傾向 構造的把握力検査 この問題はテストセンターのみの出題分野 受験生の感想として問題自体の意味が理解できず、難しい。 問題を解く考え方が似ているもの アイウエオの中から一組を選択する。 SPI全体の問題を理解しているかを問う問題 順列組合せ 損益算 推論 確率ほか						
7回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	推論(表を使った電車やバスの速度算ほか)1年次の速度算の応用(西鉄JRIには最重要問題)速度・距離・時間の関係 時速から分速・秒速を求める。速、秒速・分速から時速を求める。 追いかけ算の公式など 表を短時間に読み取ることがポイント						
8回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	推論 確率(確率の意味と公式 確率は最少は0と同じか、0より大きい。 最大は1と同じか1より小さい 確率P=求める場合の数÷全体の場合の数 合成確率 少なくとも＝余事象の問題がポイント) 順列と組合せ						
9回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	この問題はペーパーとテストセンター双方の頻出問題 推論 大小・包含の関係(以下の推論で明らかに誤りか、与えられた条件だけでは断定できないものを選択 ハヤブサはキジより高い・キジはツバメより高い・カモメはキジより高い・ツバメは一番安い?カモメは何番目に高い)						
10回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	推論(発言の真偽 ABCDE5人の以下の発言のうち一人だけ嘘をついている。嘘つきは誰?A(Bの発言は本当?)B(Cの発言は嘘?)C(Dの発言は嘘?)D(Eの発言は本当?)E(Aの発言は嘘ではない?)						
11回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	推論 速度算 QRSTU各駅間の到着時刻と出発時刻を表から読み取り各駅間の平均時速を計算する。この問題は非常に有名な問題で、航空会社旅行会社やホテルにも出題可能性が高い。 LMNOPQの6人の到着の前後遅刻者の数を推論する問題 STU3人のじゃんけんの拳の種類と勝敗を推論する問題 ものすごく時間がかかる。割り切って選択肢からしぼりこむしかない。						
12回	推論 WEBテスト	WEBテストはPC環境さえあれば、学校でも、自宅でもいつでも受検(能力検査試験なので受験ではなく、受検の字になります。)できます。計算機の使用が可能。とにかく短時間で多くの問題を解いていくので、電車に慣れていなければ、問題をこなせない。問題によっては、暗算のほうが早い。方程式 推論 組み合わせなど 時間は非言語20分 言語12分 性格検査23分						
13回	推論 Web玉手箱 命題 平均算	論理命題 チューリップ パラ 7階建ての建物の位置関係(休憩所 奇数階と偶数階) VWXYZ5チームのレースの結果 PQRSの4つ支社の在庫量 KLMNの4人が100点満点の国語と算数の試験を受けた結果、平均算からの各自の得点を推理						
14回	推論 WEB 玉手箱 Aが正しければ、BまたはCも必ず正しい	赤いカード3枚青いカード4枚 緑のカード4枚 カードは少なくとも9枚 赤 青 緑のカードが少なくとも3枚ずつはいつているとき、以下の条件の下での推論 サイコロを3回ふった時の出目の条件 Kから50						
15回	推論 最も少ない情報で正解にたどり着くには?	XYZの三つの容器に入れた食塩水の濃度の問題 P県内の10店舗のカレーショップの売り上げ? BPQRの4チームのトーナメント方式の試合結果 PQRSTUの6人の住んでいるアパートの号数の確定 8両編成の貸し切り列車にPQRST5組の団体が乗車している場合各団体の使用列車は? 12345の5枚のカードを使って二桁の整数を作る問題						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	全科		
科目名		SPI言語対策				クラス	全クラス	
担当講師(フルネーム)		前田恭子・山本真美						
授業概要(内容)		就職試験に合格するために苦手分野を克服し得意分野を伸ばす				授業形態	講義	
到達目標		WEBテスト、適性検査、時事問題にも対応できるように実力を養成する						
使用テキスト		朝日キーワード就職2019最新時事問題 & 一般常識						
成績評価方法		※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・前期期末試験80%、平常点(提出物、授業態度など)20%					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		事前に指定されたテキストの単元の予習						
		テーマ		授業内容				
1回	必ず復習する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 毎回テストを実施し解答と解説をします。間違った問題はノートに書いて復習します。 残りの時間は、時事問題用語解説、新聞コラムに取り組みます						
2回	漢検二級レベル	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 就職試験にかかわらず、漢字は私たちの生活に欠かせません。漢検二級レベルを目指しましょう						
3回	新聞を読む	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験当日は特に新聞のチェックは忘れずに。 普段から時事問題に精通するには、まず新聞を読むこと。各新聞社のサイトを活用しましょう						
4回	情報を分析する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 先輩たちの受験報告書を活用していますか？各企業の試験問題の傾向がわかります						
5回	はじめてにあわてない	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 適性検査で見慣れない問題が出る場合があります。例題を見て冷静に対応します						
6回	今日は中間テスト	中間テスト(解答と解説)、時事問題用語解説						
7回	時間配分を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験時間は足りていますか？解く前に試験問題の量のチェックも忘れずに						
8回	今日から始める	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 内定はスタート！『知ること』を常に心がけましょう						
9回	みんながデキル問題	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 正答率の高い問題は受験者のほとんどができています。みんながデキル問題は間違えない						
10回	過去を振り返る	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 過去を振り返り、修正も大事						
11回	ニュースを気にする	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 自分の希望する業界のニュースは気にかけていますか？情報集めは怠りなく						
12回	ニュースを読む	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 じっくりとニュースの「なぜ？」を考える						
13回	自分の意見を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースの「なぜ？」から自分の意見を考える						
14回	目標を持つ	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 今の目標はなにですか？						
15回	ゴールはスタート	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 SPI対策はこの回で終わりです。これからも社会の動きに敏感になって、時代の流れを見ていきましょう						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	トラベル・鉄道・夜間総合観光科			
科目名		サービス接客検定				クラス		KMZ	
担当講師(フルネーム)		榎本美和子・池田香織							
授業概要(内容)		サービス接客検定を学び、社会人になるための準備をする				授業形態		講義	
到達目標		サービス接客検定2級合格							
使用テキスト		サービス接客検定1-2級実問題集							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		サービス接客検定に必ず合格するために授業後の復習を行うこと							
	テーマ		授業内容						
1回	サービス接客検定とは	サービス接客検定について、評価方法、授業の進め方を知る							
2回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(ケース問題)							
3回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(ケース問題)							
4回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(掲示問題)							
5回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(掲示問題)							
6回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(敬語問題)							
7回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(敬語問題)							
8回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(選択肢問題)							
9回	検定の答え合わせ	解答速報で自己採点をする							
10回	社会人としての心構え	ケース問題を使って学ぶ							
11回	社会人としての心構え	ケース問題を使って学ぶ							
12回	社会人としての心構え	敬語問題を使って学ぶ							
13回	社会人としての心構え	敬語問題を使って学ぶ							
14回	社会人としての心構え	社会人になるためのマナー講座							
15回	期末試験対策	期末試験に向けて復習をする							

対象学年		2年	学期	通年	学科	鉄道・エアライン科		
科目名		手話				クラス	MOP	
担当講師(フルネーム)		鶴田由香						
授業概要(内容)		聴覚障害についての理解を深め、聴覚障害者のお客様とのコミュニケーションの在り方を学ぶ				授業形態	講義	
到達目標		手話での日常会話と接客手話の習得						
使用テキスト		手話でを学ぼう 手話で話そう						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		インターネットで基礎を覚える。						
	テーマ		授業内容					
1回	聴覚障害と手話		聞こえないとはどのようなことか。、また聴覚障害者を取りまく状況環境など 伝え合うということ 手話ってなに					
2回	伝えあってみましょう		物の形や身振り表情でコミュニケーションをはかる 手話の基本					
3回	自己紹介をしましょう		名前の表し方、自分の名前を表現する 手話であいさつしてみよう					
4回	指文字		指文字を覚えよう					
5回	家族の紹介をしましょう		家族の紹介をしましょう 疑問詞「誰？」					
6回	数の表し方		手話で数字を表す 数字を使った接客手話					
7回	地名の手話		地名の手話を学び住所を紹介する 交通の方法を学ぶ					
8回	自己紹介まとめ		これまでの学習の復習と自分のことを手話で伝えてみましょう					
9回	時の表し方1		一日のことを話しましょう 時間の表し方					
10回	時の表し方2		一か月のことを話しましょう 時間の経過					
11回	時の表し方3		一年のことを話しましょう 季節・年・月に関する会話					
12回	会話学習		日常生活での会話 疑問詞を使つての会話					
13回	旅行のことを話しましょう		旅行をテーマに疑問詞を「使って会話する ろう者の会話の読み取り					
14回	体に関する手話表現		病気に関する手話 聴覚障害者の緊急時の対応 前期テスト					
15回	前期のまとめ		前期の復習					

対象学年		2年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科、国際ホテルマネジメント科			
科目名		ホテル英会話Ⅱ				クラス	A, B, S クラス		
担当講師(フルネーム)		中牟田登喜枝、日高郁子、松本範子							
授業概要(内容)		1年時に学んだホテルで使う英語の基本的な表現を復習しながら応用表現を身につける。				授業形態	講義		
到達目標		状況に応じて英語で対応できるようになる							
使用テキスト		ホテル英会話Ⅱ 応用編							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		ホテル実習で実際に使えるよう語彙・表現を復習する							
	テーマ		授業内容						
1回	授業の進め方とホテルの英会話について		授業内容、評価方法、期末テストについて 自己紹介とホテル実習感想を英語でする 1年の復習						
2回	Lesson 1 Room reservation		D1 宿泊予約の手順と英語表現 ロールプレイで実際にやってみよう						
3回	Lesson 1 Room reservation		D2 予約の変更、取り消し D3 満室時の対応 言い換え練習をする						
4回	Lesson 2 Check In		レッスン1復習テスト D1チェックイン時の変更表現 ロールプレイで実際にやってみよう						
5回	Lesson 2 Check In		D2 ウォークイン D3 ルームチェンジ						
6回	Lesson 2 Check In		D4 カードキーの説明 D5 障がいをお持ちの方のチェーン						
7回	Lesson 3 Hotel Service		レッスン2復習テスト D3&D4 メッセージ						
8回	Lesson 3 Hotel Service		D5&D6セーフティデポジットボックスの受け渡し						
9回	Lesson 3 Hotel Service		D 7, 8、&9 外貨両替						
10回	Lesson 3 Hotel Service		D10 & D11 遺失物の取り扱い D12 日本の土産						
11回	Lesson 4 Tour Information		レッスン3復習テスト D1 & D 2 市内ツアー 福岡の観光地案内						
12回	Lesson 5 Check out		レッスン4復習テスト 1年時の現金支払い復習 D1 クレジットカードでの支払い、ロールプレイで実際にやってみよう						
13回	Lesson 5 Check out		D2 &D3 クーポン、会社払い ロールプレイで実際にやってみよう						
14回	Lesson 5 Check out		D4請求間違いの対処方法						
15回	前期まとめ		レッスン5復習テスト まとめ						

ホテル・ブライダル

対象学年		1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科		
科目名		レストラン＆バンケットサービス				クラス	E	
担当講師(フルネーム)		長野美穂						
授業概要(内容)		料飲サービスにおける基本動作、知識を学ぶ HRS試験を意識した講義と実践を行なう				授業形態	講義＆演習	
到達目標		企業実習にむけて料飲サービスの基礎を身に付ける						
使用テキスト		なし						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について 学習した技術を、実習やアルバイトで実践する								
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		授業の目的と進め方、評価方法について説明する 身だしなみと歩き方のチェック 姿勢改善トレーニング					
2回	料飲部門の概要		レストランの種類について学ぶ FB部門の特徴を知る テーブルクロスの取り扱い方を実践					
3回	フランス料理①		シルバーウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ テーブルクロスの取り扱い方の復習と実践					
4回	フランス料理②		グラスウェアの基礎知識を学ぶ ウォーターピッチャーの取り扱い方を学ぶ 水のサービス実践					
5回	フランス料理③		フランス料理の歴史を知る フルコースの流れを学ぶ フルコースのテーブルセッティングを実践					
6回	フランス料理④		フルコースの流れを知る トレイサービスの仕方を学ぶ					
7回	その他の西洋料理		イタリア料理を知る トレイサービス実践					
8回	ドリンク①		コーヒーについて学ぶ ナプキンの折り方実践					
9回	ドリンク②		ティーについて学ぶ ナプキンの折り方実践					
10回	ドリンク③		アンフュージョンについて学ぶ 皿サービス実践					
11回	日本料理①		会席料理について学ぶ 和室での立居振舞い実践					
12回	日本料理②		箸について手の知識を学ぶ 箸の持ち方実践					
13回	朝食サービス		朝食市場について学ぶ サーバーサービス実践					
14回	実技練習		期末試験の課題発表 次週のテストに向けて練習					
15回	期末試験		実技試験(スーツ着用) 制限時間内に課題ロールプレイングを行なう					

対象学年		1年	学期	通年	学科	ホテル ブライダル科			
科目名		ソムリエ&パーテナー				クラス	E		
担当講師(フルネーム)		橋口 淳二							
授業概要(内容)		バー・ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識又、基本技術の習得 酒類に興味を持ち、FBの面白さを業務に活かせるようにする				授業形態		講義&演習	
到達目標		料飲部の配属先で使える技能をつける。							
使用テキスト		なし							
成績評価方法		期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		学習した技術を、実習やアルバイト就業後に発揮する。							
	テーマ		授業内容						
1回	シラバスの説明 バーラウンジの概要		授業の目的と進め方、評価方法について説明する ホテル内での料飲提供場所と役割 整理整頓。						
2回	種類の定義と分類		お酒の分類、ワインはどのようなお酒か？ 醸造酒とは。日本におけるワイン消費の現状。 整理整頓。						
3回	ワインの基礎知識		ワインの歴史と史実。 ワインの種類別解説。 整理整頓。						
4回	ブドウの栽培		ブドウが好む土地～栽培されている国について 1年のサイクル又、栽培方法 整理整頓。						
5回	スティルワインについて		スティルワインとは。 醸造工程、醸造法によるワイン分類 整理整頓。						
6回	ワイン用ブドウ品種		醸造用ぶどうの種類と特徴。 ヴィンテージチャートの見方。 整理整頓。						
7回	フランスワインについて		フランスワインの特徴 ボルドー、ブルゴーニュ、他 整理整頓。						
8回	フランスワインについて		フランスワインの特徴 ロアール、アルザス、スードウエスト、コートロティエ他 整理整頓。						
9回	イタリア・ドイツワイン その他の国のワイン		イタリアワイン代表的な銘柄と特徴 ドイツワイン代表的な銘柄と特徴。 整理整頓。						
10回	ワインと料理の相性		料理とワインのマリアージュについて。 調和と反発、新しい合わせ方。 整理整頓。						
11回	ソムリエの役割		ソムリエとは？ ソムリエの仕事について。ソムリエになるには。 整理整頓。						
12回	ワイン抜栓練習(実技)		抜栓用の道具一式 テーブル単位での抜栓練習。 整理整頓。						
13回	ワイン種類別サービス (実技)		シャンパン、白・赤ワインのサービス方法 ソー、パニエによるサービス方法 整理整頓。						
14回	ワイン種類別サービス (実技)		デキャンタージュ技法 トランスパーゼ技法 整理整頓。						
15回	前期のまとめ		期末試験の範囲と復習。 ワインの醍醐味について。 整理整頓。						

対象学年		1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科		
科目名		フロントサービス				クラス	E	
担当講師(フルネーム)		澤田祐子						
授業概要(内容)		ホテル日常業務の基本的な知識を理解し、技術として習得する				授業形態	講義＆演習	
到達目標		企業実習に向けて演習に取り組む						
使用テキスト		『宿泊業務の基礎』 日本ホテル教育センター発行						
成績評価方法		期末試験70％平常点30％ ※単位取得には、出席率は便覧どおり75％以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		学習した技術を、実習やアルバイト就業後に発揮できる。						
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション ホテルとは		授業スケジュール説明 成績評価説明 その他					
2回	第2章宿泊部門 1. 宿泊部門の使命と役割		宿泊部門の3機能 商品特性、業務特性					
3回	2. 宿泊部門の業務の流れ		宿泊部門スタッフの心得 宿泊業務のオペレーションサイクルを理解する					
4回	3. 宿泊部門の組織体系と特徴		外資、一般都市型、宿泊特化型、リゾートホテルの組織図 今後求められるスタッフの能力と資質についての意見交換					
5回	第3章フロントサービス フロントサービスとは ドアマンの業務		フロントサービス業務全体概要と特徴の理解 ドアマンの基本業務を理解する					
6回	ドアマンの業務		ドアマン演習					
7回	ベルマンの業務		ベルマンの業務手順と内容					
8回	ベルマンの業務		ベルマンの業務手順と内容					
9回	ベルマンの業務		ベルマン演習～挨拶から客室までの案内					
10回	ベルマンの業務		ベルマン演習～挨拶から客室までの案内					
11回	ベルマンの業務		ベルマン演習～バゲッジダウンとお見送り ベルマンへの苦情と処理					
12回	クローク業務		荷物の預かりと引渡し クロークの苦情と処理					
13回	客室のタイプとレイアウト客 室設備と備品		基本の客室タイプと客室設備や備品名の理解					
14回	ゲストインフォメーション		対応の基準 プライバシー保護法に基づく情報規制					
15回	前期まとめと期末試験対策		まとめ 関連用語の復習					

対象学年		1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科		
科目名		ホテル学入門				クラス	E	
担当講師(フルネーム)		小西翼						
授業概要(内容)		ホテルの役割や世界中のホテルについて学ぶ。				授業形態		講義
到達目標		ホテルの役割や、スタッフの業務内容などを説明できるようになる。						
使用テキスト		最新ホテルマーケティング論						
成績評価方法		・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		学んだ事を他の授業にも活かせるよう取り組むこと。						
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		自己紹介 前期の学習内容について説明 評価方法について説明					
2回	現代社会とホテル入門		現代の社会におけるホテル産業の役割を学ぶ 今後ホテル業界で自身が働くことの意義を認識する					
3回	ホテル産業の歴史と発展		世界の歴史の中で、いつホテルは生まれ、近代化の歩みに沿ってどう発展してきたかを学ぶ 日本のホテル産業の誕生、どう発展してきたかを学び、世界のホテル産業の歩みを比較検証する					
4回	ホテルの基礎知識		現代のホテルに関する基礎知識を学ぶ 宿泊施設の種類、名称の違い、客室の種類や名称を学ぶ					
5回	ホテル内の職種と役割		宿泊部の職種・業務内容を解説					
6回	ホテル内の職種と役割		料飲部・宴会部の職種・業務内容を解説					
7回	世界のホテル文化 国内外の代表的なホテル		日本人と外国人のホテルに対する考え方や文化の比較 世界の休暇取得状況の違いから、文化の違いを検証 ホテルマンとしての一般常識として、国内外の代表的なホテルの名称、取り組み、どのようにしてトップホテルになったのかを学ぶ					
8回	五大大陸のホテル		ヨーロッパ大陸のホテル イギリスのホテルの特徴や文化、専門用語などをピックアップし、日本のホテルと比較する イギリスホテル界発展の歴史を学ぶ					
9回	五大大陸のホテル		北アメリカ大陸のホテル 代表的なアメリカの観光地のホテルの特徴や文化、専門用語などをピックアップし、日本のホテルと比較する カジノという娯楽文化を共通点に、ラスベガスのホテルとマカオのホテルとの比較、違いを検証					
10回	五大大陸のホテル		南アメリカ大陸のホテル 代表的な南アメリカの観光地のホテルの特徴や文化、専門用語などをピックアップし、日本のホテルと比較する 自然とホテルとの向き合い方、共存を学ぶ					
11回	五大大陸のホテル		オセアニア大陸のホテル 代表的なオセアニアの観光地のホテルの特徴や文化、専門用語などをピックアップし、日本のホテルと比較する オセアニア観光で人気のキャンプやグランピングについて学ぶ					
12回	五大大陸のホテル		アフリカ大陸のホテル 代表的なアフリカの観光地のホテルの特徴や文化、専門用語などをピックアップし、日本のホテルと比較する ホテルの安全対策、セキュリティの違いについて学ぶ					
13回	研究発表(準備)		複数グループに分かれて、自分の好きなホテルや憧れのホテルの特色を研究し、発表を行う					
14回	研究発表		複数グループに分かれて、自分の好きなホテルや憧れのホテルの特色を研究し、発表を行う					
15回	前期まとめ		ホテル業界を取り巻く関連業界やホテルの仕事についての基礎知識を身につける 前期の学習内容についてのまとめ、振り返り					

対象学年		1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科		
科目名		ブライダル総論				クラス	E	
担当講師(フルネーム)		小西翼						
授業概要(内容)		ブライダル業界の基本的な知識を理解し、技術として習得する				授業形態	講義	
到達目標		企業実習にむけてブライダル業界の基礎知識を身に付ける						
使用テキスト		なし						
成績評価方法		・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位 数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		身に付けた知識を、実習やアルバイトで活用する。						
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		・評価方法、授業の進め方説明 ・結婚について考えてみよう					
2回	ブライダル業界とは		・ブライダル業界を構成するもの ・結婚式をどこで挙げる？					
3回	結婚の意味		・結婚式のはじまり ・法律で考える「結婚」					
4回	ブライダル業界で活躍する人々		・ブライダルに関わるスタッフを知る					
5回	プランナーとは？		・プランナーの仕事の概要を知る ・プランニングを体験してみよう					
6回	挙式①		・挙式の種類と流れを理解する ・キリスト教式					
7回	挙式②		・挙式の種類と流れを理解する ・神前式 ・人前式					
8回	披露宴①		・披露宴を構成するもの ・披露宴の流れ					
9回	披露宴②		・様々な演出について理解しよう					
10回	打ち合わせの流れ①		・一般的な打ち合わせ業務の流れを理解する ・必要な手配					
11回	打ち合わせの流れ②		・一般的な打ち合わせ業務の流れを理解する ・必要な手配					
12回	打ち合わせの流れ③		・本場を迎えるまで ・当日業務					
13回	プランニング演習①		・ブライダル業界の今後を考える ・グループワーク					
14回	プランニング演習②		・ブライダル業界の今後を考える ・グループワーク					
15回	まとめ		・グループワーク発表 ・期末試験にむけて					

対象学年		1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科			
科目名		ホテル ブライダル業界研究				クラス	E		
担当講師(フルネーム)		橋口淳二							
授業概要(内容)		ホテルやホスピタリティ産業にて活躍されている方々の講話とおし業界に対しての学びと気づき知識を増やす。毎回レポート提出。				授業形態	講義		
到達目標		ホスピタリティ業界で使える知識を取得できる。							
使用テキスト		なし							
成績評価方法		期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		学習した技術を、実習やアルバイト就業後に発揮できる。							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		ホスピタリティーとは？						
2回	この業界で働く意義		もてなす！ということ						
3回	業界について		ホテル ブライダル業界の就職について						
4回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向						
5回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向						
6回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向						
7回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向						
8回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向						
9回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向						
10回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向						
11回	業界について		ホテルマナー＆テーブルマナー予備知識						
12回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向						
13回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向						
14回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向						
15回	まとめ		夏季実習へ向けて						

対象学年		1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科			
科目名		就職活動講座				クラス	E		
担当講師(フルネーム)		安部紀美江							
授業概要(内容)		・就職試験に必要な自己分析や表現力の文章化を徹底して行う。				授業形態	講義		
到達目標		・学生から社会人となるためのマナーやスキルを習得させ、職業人としての意識づけを行う。							
使用テキスト		・「NEW SUCCESS 勝つための就職ガイド」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・ワークシートの作成内容と授業態度・・・50% ・作成提出物による評価・・・50%					単位数	1	
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		・宿題となった提出物については期限までに必ず完成させる。							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		・前期授業内容の説明を行う。 ・各自プロフィールを記入し個別に質問をしていく。						
2回	就職活動の心構えと準備		・就職とは何か、なぜ働くのかを理解させ、社会人となる為の準備を自覚させる。 ・企業が求める人材とはどのような人かを考えさせる。 ・就職するにあたってのみだしなみの重要性を再確認させる。						
3回	就職活動の流れ		・当学校における就活の一連の流れを説明する。 ・就職室の正しい活用法を教える。 ・就職活動のルールを認知させる。						
4回	履歴書の書き方		・履歴書の当校における書き方を説明し実際に書いてみる。						
5回	自分自身を知る		・自分自身をどの程度分かっているかの洗い出しをし自己PR作成への布石とする。 ・自分のライフスタイルとは何かを再認識させる。 ・将来の夢や目標の設定が就職に必要であることを理解させる。						
6回	自己分析		・自己分析の意義を認識させ表現力へと転化させる。 ・自分自身を棚卸しすることで自分を認知させる。 ・自分史の作成を通して自己の分析をやりやすくしていく。						
7回	自己分析		・自分史の作成を通して自己の分析をやりやすくしていく。 ・自分の能力や適性を把握させる。 ・具体的な目標設定による意識向上をはかる。						
8回	職業を知る		・業界の過去・現在・未来を知ることによって業界へのアプローチを行う。 ・業界が求める人を知り自分との接点を探す。 ・自分と業界の接点を認識させ、より現実的な就業体制へと近づける。						
9回	自己PRの作り方		・自己分析からPRできるものをピックアップし、肉付けする。 ・企業でどう活かすのかを考え、文章にする。 ・「長所編」を作成						
10回	自己PRの作り方		・様々なバリエーションの自己PRを考え、どのような変化球へも対応できるようにする。						
11回	自己PRの作り方		・面接用と履歴書用に書き分ける。						
12回	志望動機の作り方		・あるホテルをモデルケースとして、パンフレットや資料を駆使して志望動機の作り方を学ぶ。 ・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。 ・モデルケースの志望動機を作ってみる。						
13回	志望動機の作り方		・前週に引き続き、モデルケースの志望動機を完成させる。 ・個人の進捗状況に応じて履歴書用と面接用との使い分けをした志望動機を作成する。 ・個人別の添削で個人が持つ問題点がわかるようになる。						
14回	企業研究		・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ。 ・情報収集の必要性和その収集方法ができるようになる。 ・企業開催セミナー・説明会に参加する意味と就活への活用方法をわかるようになる。						
15回	完成品のチェック		・前期提出物のチェック						

対象学年		2年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科		
科目名		ホテルブライダルマーケティング				クラス	A,B	
担当講師(フルネーム)		澤田 祐子						
授業概要(内容)		マーケティングの意味や必要性を理解し、商品展開に結びつけられる力を養う				授業形態	講義 & 演習	
到達目標		ホスピタリティ産業に関するマーケティング知識を身に付ける						
使用テキスト		ホテルマーケティング論						
成績評価方法		期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		学習した技術を、実習やアルバイト就業後に発揮できる。						
	テーマ		授業内容					
1回	自己紹介と オリエンテーション		自己紹介(自身を売り込む) 授業の進め方					
2回	マーケティングとは		マーケティングの歴史					
3回	市場調査		物をうるための戦略 各企業の戦略を想像する					
4回	市場調査		先週の授業をもとに戦略を考える 各企業の「名刺」に秘められた戦略とは…					
5回	市場調査 マーケティングの基本概念		それぞれの市場調査結果を発表 マーケティングを構成する4つの「P」					
6回	商品開発		売れそうな商品とは 自分がほしい商品とは					
7回	商品開発		商品の価格はどのように決められるのか					
8回	売上を上げるための工夫		売れない物を売れる物に変えるには…					
9回	広告		広告の種類・機能について					
10回	マーケティング ブランディング		マーケティング・ブランディング・広告・PR					
11回	商品を売り込む		売り先を区別する ⇒ 区別された売り先に商品を売り込む					
12回	商品を売り込む		ホテルを商品として消費者に売り込むには…					
13回	身近なマーケティング		日常に潜む各企業の戦略「セブンイレブン」の例					
14回	身近なマーケティング		日常に潜む各企業の戦略					
15回	前期まとめ		前期授業のまとめ					

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科		
科目名		HRS対策(筆記)				クラス	AB	
担当講師(フルネーム)		長野美穂						
授業概要(内容)		HRS試験に必要な知識を学ぶ				授業形態	講義	
		過去問題を参考に試験対策を行なう						
到達目標		8月実施のHRS筆記試験合格						
使用テキスト		西洋料理 料飲接客サービス技法						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位 数	2
		・平常点には授業中に行うミニテストを加味する						
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		毎回、前週の授業で解いた問題を復習をして、次の授業にのぞむこと						
	テーマ		授業内容					
1回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	6つの基礎食品を知る 食品の分類別特徴を学ぶ 過去問題を解く						
2回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	西洋料理に使用される主な食材を知る フルコースの流れとそのポイントを学ぶ 過去問題を解く						
3回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	西洋料理の食食用器具と備品について学ぶ 銀食器の取り扱い方を学ぶ 過去問題を解く						
4回	第4章 食文化	食事の国際習慣について学ぶ プロトコルの歴史を学ぶ 過去問題を解く						
5回	第7章 食品衛生及び公衆衛生	食品衛生および公衆衛生について学ぶ 食中毒の分類、発生状況を知る 過去問題を解く						
6回	平成29年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説						
7回	平成29年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説						
8回	平成29年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説						
9回	ミニテスト	本番を想定した問題を解く 真偽減点方式による採点を行なう						
10回	平成28年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説						
11回	平成28年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説						
12回	平成28年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説						
13回	平成27年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説						
14回	平成27年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説						
15回	平成27年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科			
科目名		就職活動講座				クラス	A・B		
担当講師(フルネーム)		安部紀美江							
授業概要(内容)		・受験企業の絞り込みと企業研究の充実を図り、面接対策のフォローアップをす ・内定後の処し方と入社後に最低限必要な知識を身につける。				授業形態	講義		
到達目標		・志望する企業への内定を勝ち取る。							
使用テキスト		・「NEW SUCCESS 勝つための就職ガイド」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・ワークシートの作成内容と授業態度…50% ・作成提出物による評価…50%					単位数	2	
期末試験	×	※期末試験期間中に実施…○ 授業中に実施…△期末試験なし…× を枠に選択							
事前・事後学習について		・宿題となった提出物については期限までに必ず完成させる。							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション・自己PR		・現在の就職活動状況の報告 ・冬の実習を使った自己PRを作成する。 ・自分自身の問題点の洗い出しを行い弱点を見つける。 ・前期授業内容及び授業時間内ルールの説明						
2回	面接対策		・面接の形式 ・面接の受け答えチェックポイント						
3回	自由表現		・自己PRの変形として様々なバリエーションを学ぶ。						
4回	論文・作文の書き方		・就職試験においての論文・作文の書き方を学び、書くときのポイントを整理する。 ・400字詰め原稿用紙2枚を使い、与えられた課題で実際に書いてみる。 ・個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。						
5回	受験企業の研究シート作成		・受験企業の研究シートの充実を図り、どのような質問にも答えられるようにする。						
6回	受験企業の志望動機作成		・受験企業の志望動機を完成させる。						
7回	企業研究・面接対策		・受験企業の自己PRならびに志望動機の完成品を作成し再度精査する。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。						
8回	企業研究・面接対策		・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。						
9回	内定後にすること		・内定とは何かを説明し企業人としての第一歩の自覚を促す。 ・内定後の学校生活が入社に関係してくることの確認をさせ規律を守らせる。 ・就業規則とは何かを知らしめ企業内での言動について考えさせる。						
10回	企業研究・面接対策		・内定者と未定者とは分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。						
11回	企業研究・面接対策		・内定者と未定者とは分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。						
12回	企業研究・面接対策		・内定者と未定者とは分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。						
13回	企業研究・面接対策		・内定者と未定者とは分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。						
14回	入社後に必要なこと		・就業規則とは何か、どう守っていくかを知らしめる。 ・組織について最小限の知識を身に付ける。						
15回	入社後に必要なこと		・自分自身の給料を計算してみよう。						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科			
科目名		面接対策講座				クラス	A1 A2 B1 B2		
担当講師(フルネーム)		宮前訓子							
授業概要(内容)		自己PRの熟成と志望動機の完成 面接におけるアピール力と対応力を付ける				授業形態	講義		
到達目標		自己PR力を育成し、どのような状況にも対応できる 柔軟性を付ける							
使用テキスト		使用しません (毎回プリントを配布しますので各自パーフェイル等をご用意ください)							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		事前に授業内容に関する自己点検をしておく。事後は受けたコメントから自己分析の再構築をし次回に備えること							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		この授業の進め方と2年時における目標を設定する						
2回	自己PR①		IBCでの経験を踏まえた自己PRを考える						
3回	志望動機①		直近の実習経験を踏まえた志望動機を考える						
4回	GD①		業界でのGDのテーマを実際に体験する						
5回	質疑応答①		面接で聞かれうる基本的質疑応答に対応する						
6回	自己PR②		2年時での経験を踏まえた自己PRを考えプレゼンする						
7回	志望動機②		業界の動向を調べたうえでの志望動機を作成演習						
8回	GD②		あらゆるテーマのディスカッションに対応できるようアドリブ力を鍛える						
9回	質疑応答②		時事問題に関する質疑応答の演習						
10回	ディベート		社会人として必要な考え方を習得するためのディスカッション演習						
11回	質疑応答対策③		面接で聞かれうる質疑応答に対する演習						
12回	質疑応答対策④		面接で聞かれうる質疑応答に対する演習						
13回	質疑応答対策⑤		面接で聞かれうる質疑応答に対する演習						
14回	実技試験①		個人面接(待機時間に書類を作成)						
15回	実技試験②		個人面接(待機時間に書類を作成)						

対象学年		2年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科			
科目名		フロントオフィス				クラス		A、B	
担当講師(フルネーム)		中牟田登喜枝							
授業概要(内容)		業務についての基本知識を学習し演習する				授業形態		講義＆演習	
到達目標		フロントオフィス業務の流れと知識、技術を身につけ実践できる							
使用テキスト		ホテルテキスト宿泊Ⅰ フロントオフィス編 ウイネット発行							
成績評価方法		・期末試験50%演習50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		フロント・サービスからつながる科目です、フロント・サービスの復習をしておきましょう							
	テーマ		授業内容						
1回	第1章フロントオフィスとは		授業内容、評価方法、演習について フロントオフィスの意義と役割 フロントオフィスの組織と業務						
2回	第2章客室の種類		客室タイプ 料金システム						
3回	第3章リザベーション		予約業務の重要性 イールドマネジメント						
4回	リザベーション		宿泊予約の種類 宿泊予約システム概要						
5回	リザベーション		予約受付の流れ						
6回	リザベーション		宿泊予約受付業務 ①電話予約の基本 ②キャンセルと変更 ③リザベーションカード作製 ④キャンセルチャージ						
7回	リザベーション		インターネット予約業務 宿泊予約におけるその他の業務						
8回	リザベーション		通常予約の演習 ①						
9回	リザベーション		通常予約の演習 ②						
10回	リザベーション		予約変更、キャンセル演習						
11回	リザベーション		予約、顧客情報更新						
12回	第4章レセプション		レセプションサービス ルーム・アサインメント 接客マナー						
13回	レセプション		チェックインの手順 レジストレーションカード記入方法						
14回	レセプション		オーバーブッキングとダブルブッキングの対応方法 レイトチェンジとルームチェンジの処理方法						
15回	まとめ		期末試験について 前期の復習						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科			
科目名		プランナー実務				クラス		AB	
担当講師(フルネーム)		田中香利							
授業概要(内容)		ブライダルプランナー 新規接客スキル取得・ロールプレイング				授業形態		講義＆演習	
到達目標		プランナー業務である 新規接客に必要なスキルとセールストーク							
使用テキスト		RWA-A・B版(パソコンシステム)							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について ブライダル雑誌を確認。									
	テーマ		授業内容						
1回	自己紹介 オリエンテーション 新規接客基礎知識		自己紹介・オリエンテーション・システムログイン確認						
2回	新規接客知識①		ブライダルセールス 豆知識 ・プランナー豆知識 サムシングフォー・ジュンブライド等						
3回	新規接客知識②		ブライダルセールス 豆知識 ・プランナー豆知識 アフターセレモニー・その他演出等						
4回	新規接客知識③		ブライダルアイテム と セールス法 ・挙式 ・アフターセレモニー						
5回	新規接客知識④		ブライダルアイテム と セールス法 ・披露宴						
6回	新規接客知識③		ブライダルアイテム と セールス法 ・料理 ・飲み物 ・ケーキ						
7回	新規接客知識④		ブライダルアイテム と セールス法 ・衣裳 ・美容						
8回	新規接客知識⑤		ブライダルアイテム と セールス法 ・装花						
9回	新規接客知識⑥		ブライダルアイテム と セールス法 ・演出 ・写真						
10回	新規接客知識⑦		ブライダルアイテム と セールス法 ・新規接客アンケート						
11回	新規接客知識⑧		ブライダルアイテム と セールス法 ・新規接客アンケート の設問の意味						
12回	新規接客知識⑧		規約詳細 ・持込禁止事項 キャンセル料						
13回	新規接客知識⑨		六輝 仮予約 内金手続き ・仮予約の取り方 ・日取り決定						
14回	新規接客ロールプレイング		・アイスブレイク ・アンケートヒアリング ・婚礼会場説明						
15回	新規接客ロールプレイング		・日取り決定 ・仮予約 ・規約説明 ・内金						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科		
科目名		英語面接対策				クラス	A,B	
担当講師(フルネーム)		中牟田 登喜枝						
授業概要(内容)		英語面接の基礎知識、面接を成功させるためのテクニックを学ぶ				授業形態	講義&演習	
到達目標		実践で使える自分用のシミュレーションパターンを作成、暗記する						
使用テキスト		配布プリント						
成績評価方法		・実践面接50点、自己PR 50点 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	1
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		1年で学び、作った自己PRをもう一度まとめて、人前で発表できるようになっておきましょう						
	テーマ		授業内容					
1回	仕事の話題を膨らまそう		前回までに作り上げたものを発表してみよう 志望動機					
2回	仕事の話題を膨らまそう		前回までに作り上げたものを発表してみよう 志望動機					
3回	仕事の話題を膨らまそう		前回までに作り上げたものを発表してみよう 英語面接実践予行練習					
4回	仕事の話題を膨らまそう		前回までに作り上げたものを発表してみよう 英語面接予行練習					
5回	英語面接実践		英語面接形式で、質疑応答を体験					
6回	英語面接実践		英語面接形式で、質疑応答を体験					
7回	1分間スピーチ発表		自己PRをクラス皆の前で発表 発表者の採点・評価をする					
8回	1分間スピーチ発表		自己PRをクラス皆の前で発表 発表者の採点・評価をする					

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科		
科目名		カラーコーディネート				クラス	AB	
担当講師(フルネーム)		小川智子						
授業概要(内容)		カラーコーディネーター検定3級 合格を目指す。(6月16日受験予定)				授業形態	講義	
到達目標		コーディネーターとしての色彩知識とコーディネート能力を身につける						
使用テキスト		カラーコーディネーションの基礎 3級 公式テキスト						
成績評価方法		※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 検定模擬テスト … 60% 平常点 … 40% (提出物, 授業態度, 検定合否)					単位数	1
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		練習問題の宿題, 模擬試験の復習を怠らない						
	テーマ		授業内容					
1回	要点整理と過去問題		第5章, 第6章 解答と解説(基本問題の理解を深める)					
2回	要点整理と過去問題		第6章, 第7章 解答と解説(基本問題の理解を深める)					
3回	要点整理と過去問題		第8章, 第9章 解答と解説(基本問題の理解を深める)					
4回	要点整理と模擬テスト		過去問題に挑戦する 解答と解説(難問の理解を深める)					
5回	要点整理と模擬テスト		過去問題に挑戦する 解答と解説(難問の理解を深める)					
6回	要点整理と模擬テスト		過去問題に挑戦する 解答と解説(難問の理解を深める)					
7回	要点整理と模擬テスト		過去問題に挑戦する 解答と解説(難問の理解を深める)					
8回	要点整理と模擬テスト		過去問題に挑戦する 解答と解説(難問の理解を深める)					

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科			
科目名		セレモニープロデュースⅠ				クラス	AB		
担当講師(フルネーム)		船藏大志							
授業概要(内容)		結婚式当日(挙式・披露宴)の流れと、各部署の役割を理解する。 模擬披露宴を通じて、接客の手順を実践する。				授業形態	演習		
到達目標		結婚式をチームで作ることへの理解。							
使用テキスト		毎回の授業ごとに配布(A4用紙が入るファイルを持参すること)							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		毎回の授業で決定したことを踏まえ、次回授業までに必要なことを準備しておく。							
	テーマ		授業内容						
1回	演習概要の説明		演習概要・目的の理解 演習当日までのスケジュール(工程)を確認 演習に携わる役割(部署)の説明						
2回	結婚式への理解		結婚式の歴史・目的を理解 昨今の結婚式のトレンド 会場見学のポイント解説						
3回	会場見学		前回授業を踏まえ演習会場への見学 演習当日の流れを、会場をもとに解説 会場の導線について理解						
4回	役割分担・制作作業①		会場見学をもとに、それぞれが担う役割を分担 分担した役割ごとに、必要な物・課題や留意点をリスト化 検討事項を、各班ごとに発表・共有						
5回	制作作業②		分担した役割ごとに、必要な物・課題や留意点をリスト化 リスト化した内容について検討し、事項を決定 検討・決定事項を、各班ごとに発表し共有						
6回	制作作業③		分担した役割ごとに、必要な物・課題や留意点をリスト化 リスト化した内容について検討し、事項を決定 検討・決定事項を、各班ごとに発表し共有						
7回	制作作業④		分担した役割ごとに、必要な物・課題や留意点をリスト化 リスト化した内容について検討し、事項を決定 検討・決定事項を、各班ごとに発表し共有						
8回	接客ロールプレイング①		決定・共有した事項をもとに、接客方法・手順を考え実践 各部署との連携を確認 リハーサルに向けた調整						
9回	接客ロールプレイング②		決定・共有した事項をもとに、接客方法・手順を考え実践 各部署との連携を確認 リハーサルに向けた調整						
10回	接客ロールプレイング③		決定・共有した事項をもとに、接客方法・手順を考え実践 各部署との連携を確認 リハーサルに向けた調整						
11回	リハーサル①		実際の会場にて、これまでの授業内容を踏まえたリハーサルの実施 各所、反省・改善点を洗い出しリスト化						
12回	接客ロールプレイング④		リハーサルを踏まえ、接客方法・手順を見直す 次回リハーサルへの準備						
13回	接客ロールプレイング⑤		リハーサルを踏まえ、接客方法・手順を見直す 次回リハーサルへの準備						
14回	リハーサル②		実際の会場にて、これまでの授業内容を踏まえたリハーサルの実施 各所、反省・改善点を洗い出しリスト化						
15回	最終調整		リハーサルを踏まえた最終確認 必要な物が揃っているか確認 演習概要・目的を改めて理解し当日に臨む						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科		
科目名		セレモニープロデュースⅡ				クラス	AB	
担当講師(フルネーム)		小川智子						
授業概要(内容)		模擬披露宴の空間コーディネートに関する計画立案と制作を実施する				授業形態	講義	
到達目標		セレモニーの計画立案を行い、創作能力、プレゼンテーション能力の向上を目指す						
使用テキスト								
成績評価方法		※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 作品評価と授業態度 … 50%提出物による評価 … 50%					単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		実行計画に基づく事前準備(制作や材料手配)を行い授業終了後は進捗状況を随時確認し次回に備える						
	テーマ		授業内容					
1回	イメージ戦略 実習		授業オリエンテーション プランニングの基本 顧客の目を引くためのプランニングとは					
2回	イメージ戦略 実習		色の表し方 テーマの決定とスケジュール管理					
3回	プランニング 実習		広報のプランニング 告知計画とチラシ作成					
4回	プランニング 実習		イベントのプランニング イメージ通りの提案をするには…					
5回	プランニング 実習		模擬披露宴のプランニング① トータルコーディネート の提案					
6回	プランニング 実習		模擬披露宴のプランニング② イベントの計画立案					
7回	プランニング 実習		模擬披露宴のプランニング③ オリジナルウエディングの計画立案					
8回	空間演出実習①		プランニングと役割分担					
9回	空間演出実習②		プランニングと役割分担					
10回	空間演出実習③		制作と確認					
11回	空間演出実習④		制作と確認					
12回	空間演出実習⑤		中間発表と再計画					
13回	空間演出実習⑥		制作と確認					
14回	空間演出実習⑦		制作と確認					
15回	空間演出実習⑧		プレゼンテーションと最終確認					

観光（トラベル） 鉄道

* 共通する科目は、トラベルにあります。

対象学年		1年	学期	通年	学科	観光科		
科目名		国内観光地理				クラス	L	
担当講師(フルネーム)		友納真						
授業概要(内容)		各都道府県毎の観光資源(宿泊・観光地・グルメ・名産品)を学ぶ				授業形態	講義	
到達目標		国内の観光資源全般の知識を増やし、旅行地理検定(国内3級)／国内・総合旅行業務取扱管理者の合格を目指す						
使用テキスト		国内観光資源／国内観光地理サブノート／旅に出たくなる地図(日本)／国内旅行地理ベーシック300+α (必要に応じて講師より指示)						
成績評価方法		期末試験(60%)＋小テスト(20%)＋平常点(ノートチェック含む)(20%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		サブノートにて事前に予習を行い、講義後はノート整理をして復習する						
	テーマ		授業内容					
1回	北海道①		北海道の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 北海道の見どころ、温泉、宿泊地を学ぶ 北海道の概要を説明					
2回	北海道②		1回目の講義の続き					
3回	福岡県		福岡県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 福岡県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ 九州地方の概要を説明					
4回	佐賀県		佐賀県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 佐賀県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ					
5回	長崎県		長崎県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 長崎県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ					
6回	立山黒部 アルペンルート		国内で人気の国際山岳ルートの「立山黒部アルペンルート」について学ぶ。					
7回	熊本県		熊本県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 熊本県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ					
8回	大分県		大分県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 大分県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ					
9回	宮崎県		宮崎県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 宮崎県のみどころ、宿泊、観光地を学ぶ					
10回	鹿児島県		鹿児島県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 鹿児島県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ					
11回	沖縄県		沖縄県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 沖縄県のみどころ、宿泊、観光地を学ぶ 沖縄の概要を説明					
12回	山口県		山口県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 山口県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ 中国地方の概要を説明					
13回	広島県・岡山県		広島県・岡山県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 広島県・岡山県のみどころ、宿泊、観光地を学ぶ					
14回	島根県・鳥取県		島根県・鳥取県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 島根県・鳥取県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ					
15回	旅程		<北海道・九州・沖縄・中国地方> 旅行商品として観光素材をどのように組み立てられているか、実際のパンフレットを参考に旅程を確認					

対象学年		1年	学期	通年	学科	観光科			
科目名		海外観光地理				クラス		L	
担当講師(フルネーム)		挽田 雅子							
授業概要(内容)		世界各国の観光地、歴史や文化など多角的な視点で旅行地理の知識を習得する。海外の主要な観光地について学習する。				授業形態		講義	
到達目標		観光ポイントの名前と位置、特徴を述べるができる。主な世界遺産について説明できる。							
使用テキスト		海外観光資源、旅に出たくなる地図(世界)、海外観光地理サブノート							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		予習:テキストを見てプリントを記入する。復習:学習した観光地について詳しく調べる。							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション 中国		授業の進め方、評価方法の説明 総合旅行業務取扱管理者試験の説明 中国の主要な観光地						
2回	中国		中国の歴史を伝える都市や遺跡を学ぶ 多様な自然景観を学ぶ 世界遺産を学習する						
3回	韓国		小テスト 韓国の観光資源を学習する ソウル、釜山、慶州、済州島を学ぶ						
4回	東南アジア1		小テスト ベトナム、カンボジアの観光資源と世界遺産を学習する タイの観光地、ビーチリゾートを学ぶ						
5回	東南アジア2		小テスト マレーシア、シンガポールの観光資源を学習する 伝統芸能やビーチリゾートを学ぶ						
6回	イギリス		小テスト 歴史や文化を考えながら観光地を見ていく ロンドン、ロンドン近郊、スコットランドを学ぶ						
7回	フランス		小テスト パリを中心にフランス各地の観光地を学ぶ 美術品、世界遺産を学習する						
8回	ドイツ		小テスト 中世の古城、街道などを学習する 歴史と文化を学ぶ						
9回	イタリア		小テスト バチカン市国、ローマの観光資源を学習する フィレンツェ、ナポリ、ベネチアなどの都市を学ぶ						
10回	ヨーロッパ		小テスト 北欧の国々やスイスの観光資源を学習する スペインやポルトガルの観光地を学ぶ						
11回	アメリカ		小テスト 西海岸、東海岸の観光地を学ぶ 南部の観光資源を学習する						
12回	ハワイ・カナダ		小テスト ハワイの観光資源を学習する カナダの観光地を学ぶ						
13回	南米		小テスト ペルーの観光資源を学習する ブラジルの観光地を学ぶ						
14回	オセアニア		小テスト オーストラリアの観光資源を学習する ニュージーランドの観光地を学ぶ						
15回	まとめと復習		前期のまとめ アジア、ヨーロッパ、アメリカ、オセアニアの復習 主要な世界遺産の復習						

対象学年		1年	学期	前期のみ	学科	観光科・鉄道科合同			
科目名		業法				クラス	L・N		
担当講師(フルネーム)		中牟田哲也							
授業概要(内容)		プリントによるポイント解説、問題を解き解説				授業形態	講義		
到達目標		「国内旅行業務取扱管理者」試験の合格を目指す							
使用テキスト		旅行業実務シリーズ①旅行業法、問題集、プリント							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施							
事前・事後学習について		問題集の問題を解き理解状況の確認をすることが望ましい							
	テーマ		授業内容						
1回	・「旅行管理者試験」概要 ・旅行業法とは		・授業の進め方、評価法、授業の諸注意 ・国家試験の概要、学習方法 ・旅行業法の条文の見方						
2回	第1章 総則		・旅行業の3つの収入 ・旅行業法の目的と定義(第1条～第2条)						
3回	第1章 総則		・旅行業の定義(代理、媒介、取次、利用) ・旅行業と旅行者代理業 ・旅行の形態						
4回	第2章 旅行業等(1)		・登録制度、旅行業の種類と業務の範囲(第3条～第5条) ・旅行業法施行規則(第1条～第4条)						
5回	第2章 旅行業等(2)		・登録拒否(第6条) ・有効期間、更新、変更(第6条2～4) ・旅行業法施行規則(第4条～第5条)						
6回	小テスト・解説								
7回	営業保証金制度(1)		・営業保証金の供託と供託額(第7条～第8条)						
8回	営業保証金制度(2)		・営業保証金の追加供託、取戻し、保管替え等(第9条) ・取引額の報告(第10条)						
9回	旅行業務取扱管理者		・旅程管理(第12条の10～第12条の11) ・取扱管理者の選任、証明書の提示等(第11条～第12条の5の2) ・取扱管理者の職務(施行規則10条)						
10回	取扱料金、旅行業約款		・取扱料金の揭示(第12条) ・旅行業約款(第12条の2)、標準旅行業約款(第12条の3)、施行規則 ・標識の揭示(第12条の9)						
11回	取引条件の説明、 書面の交付		・取引条件の説明、書面の交付(第12条の4～第12条の5) (共同規則8条～9条)						
12回	小テスト・解説								
13回	広告、禁止行為		・受託契約(第14条の2) ・外務員証の携帯(第12条の6) ・企画旅行の広告(第12条の7)、誇大広告の禁止(第12条の8)、(共同規則12条～14条) ・禁止行為、名義利用の禁止(第13条～第14条)、施行規則						
14回	旅行業協会制度		・旅行業協会の法定業務 ・弁済業務保証金制度(第22条の2～第22条の16)						
15回	まとめ、問題								

対象学年		1年	学期	前期のみ	学科	観光科		
科目名		旅行管理者対策(国内観光地理)				クラス	L	
担当講師(フルネーム)		友納真						
授業概要(内容)		旅行業務取扱管理者・旅行地理検定で出題される観光地をテーマ別に学習 旅行地理検定(国内3級)の過去問を解き、6月実施の本試験に挑戦				授業形態	講義	
到達目標		旅行地理検定(国内3級)／国内・総合旅行業務取扱管理者の合格を目指す						
使用テキスト		国内観光資源／国内観光地理サブノート／旅に出たくなる地図(日本)／国内旅行地理ベーシック300+α (必要に応じて講師より指示)						
成績評価方法		確認テスト(60%)＋小テスト(20%)＋平常点(20%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		観光地がどこにあるのかを把握し、キーワードで導き出せるように復習する						
	テーマ	授業内容						
1回	オリエンテーション	授業の進め方を説明 旅に出たくなる地図(日本)・国内観光資源・サブノートを読む 2019年話題の観光について説明						
2回	地理検定対策①	テーマ(山)(※ベーシック300+α) 必須59の山を覚える 新緑や紅葉、眺望、夜景の素晴らしい峠や山々						
3回	地理検定対策②	テーマ(島・半島)(※ベーシック300+α) 全国33の地域・特徴を覚える ツアータイトルに使われる島・半島						
4回	地理検定対策③	テーマ(海岸・岬)(※ベーシック300+α) 必須27の海岸・岬を覚える 日本三景、断崖、奇岩、遊覧船巡り						
5回	地理検定対策④	テーマ(湖・川・滝・鍾乳洞)(※ベーシック300+α) 全国38の観光スポットを覚える 日本三大湖沼、三大急流、三大瀑布、三大鍾乳洞など						
6回	地理検定対策⑤	テーマ(寺社・城跡)(※ベーシック300+α) 必須30の寺社・城跡 世界遺産の寺院・神社。歴史的、芸術的、観光的に名高い寺社・城跡						
7回	地理検定対策⑥	テーマ(温泉①)(※ベーシック300+α) 北海道・東北・関東の温泉を覚える 人気のある旅先						
8回	地理検定対策⑦	テーマ(温泉②)(※ベーシック300+α) 中部・関西・中国・四国・九州の温泉を覚える 人気のある旅先						
9回	地理検定対策⑧	テーマ(主な観光地)(※ベーシック300+α) 歴史ある街並みや建造物が残る観光都市 名園、花の名所、テーマパーク						
10回	地理検定・過去問 チャレンジ①	第45回・国内3級 過去問 過去問(45分)、自己採点、フィードバック						
11回	地理検定・過去問 チャレンジ②	第46回・国内3級 過去問 過去問(45分)、自己採点、フィードバック						
12回	地理検定・過去問 チャレンジ③	第48回・国内3級 過去問 過去問(45分)、自己採点、フィードバック						
13回	地理検定・過去問 チャレンジ④	第47回・国内3級 過去問 過去問(45分)、自己採点、フィードバック						
14回	地理検定・自己採点 国立公園・世界遺産	先日受験した旅行地理検定の自己採点、フィードバック 国立公園・世界遺産について学ぶ(※ベーシック300+α)						
15回	確認テスト	確認テストを実施 前期授業のまとめ、振り返り						

対象学年		1年	学期	前期のみ	学科	観光科・鉄道科		
科目名		旅行管理者対策(運賃料金)				クラス	L・N	
担当講師(フルネーム)		友納真						
授業概要(内容)		旅行業務取扱管理者の国内実務の各種・運賃料金について講義				授業形態	講義	
到達目標		旅行業務取扱管理者の合格を目指すとともに、JR・航空について知識を深める						
使用テキスト		国内運賃・料金／JR時刻表						
成績評価方法		期末試験(60%)＋小テスト(20%)＋平常点(20%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		各種営業規則、計算のルールを学び、問題を解く、単元毎の小テストで確認・復習する						
	テーマ		授業内容					
1回	旅客鉄道会社(JR)①		旅客鉄道会社(JR)とは 旅客営業規則・JR6社・JR各社路線図 乗車券類販売の概要・年齢区分・運賃と料金の違い					
2回	旅客鉄道会社(JR)②		運賃① 運賃計算の原則・普通乗車券の種類					
3回	旅客鉄道会社(JR)③		運賃② 加算額・連絡運輸会社の取扱い・特例					
4回	旅客鉄道会社(JR)④		運賃③ 普通乗車券の効力 運賃の割引					
5回	旅客鉄道会社(JR)⑤		料金① 料金計算の種類と基本					
6回	旅客鉄道会社(JR)⑥		料金② 新幹線内乗継・乗継割引					
7回	旅客鉄道会社(JR)⑦		料金③ 山形新幹線と秋田新幹線の取扱い					
8回	旅客鉄道会社(JR)⑧		料金④ 新幹線の相互間を利用する場合の取扱い					
9回	旅客鉄道会社(JR)⑨		変更・取り消し・払い戻し					
10回	旅客鉄道会社(JR)⑩		普通回数乗車券の取扱い 団体乗車券の取扱い					
11回	旅客鉄道会社(JR)⑪		特別乗車券の取扱い					
12回	航空①		国内航空について 航空券発売の概要(航空会社・空港コード・予約開始日／発売日・購入期限・有効期間 予約時の注意事項・運賃の種類)					
13回	航空②		運賃・料金 変更・取り消し・払い戻し					
14回	貸切バス・フェリー・ 宿泊		貸切バスの運賃・料金／フェリーの運賃・料金 宿泊料金・変更・取り消し・払い戻し					
15回	まとめ		前期授業のまとめ 期末試験・夏の強化セミナーにむけての対策					

対象学年		1・2年共通	学期	前期のみ	学科	観光科・トラベル科	
科目名		総合管理者対策Ⅰ				クラス	KL
担当講師(フルネーム)		挽田 雅子					
授業概要(内容)		総合旅行業務取扱管理者試験の海外実務科目の「国際航空運賃・料金」について出題内容を学ぶ。				授業形態	講義
到達目標		総合旅行業務取扱管理者試験の海外実務科目(国際航空運賃・料金)について出題内容を理解し合格レベルに達する。					
使用テキスト		JTB総合研究所 旅行業実務シリーズ6 国際航空運賃・料金					
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択					
事前・事後学習について		シラバスを参照し該当箇所を予習しておく。授業後は復習を行う。 授業の中で問題を解く時間は十分に無いので各自問題集を使い知識の定着に努める。					
	テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション IATAと国際航空運賃		・IATAとは何か。・IATA運賃とキャリア運賃の違い ・IATAにおける地理区分 ・旅行経路 ・IATAコード ・運賃(小幼児運賃)				
2回	国際航空運賃		・曜日運賃 ・シーズンリティ ・有効期間 ・必要旅行日数 ・変更・取り消し・払い戻し				
3回	国際航空運賃		・出発地国通貨建て運賃、中立通貨単位、IATA換算ルート ・タリフ ・アドオン運賃 ・付加運賃、税金、諸料金 ・航空券の記載内容(eチケットお客様控え)				
4回	国際航空運賃		・運賃計算上の各地点 ・通し運賃 ・フェアコンポーネント(Fare Component) ・マイレージ計算 ・経路(経由)と旅程の制限 ・旅行形態				
5回	国際航空運賃		・運賃計算(マイレージ計算と運賃計算) ・運賃計算例ー1 ・運賃計算例ー2/3 ・適用運賃のチェック HIPチェック(Higher Intermediate Point Check)				
6回	国際航空運賃		・名称・運賃種別 ・目的地 ・適用旅客・人数 ・クラス・旅行形態 ・適用期間・運賃(シーズンリティ、週末運賃・平日運賃、追加運賃等) ・予約・発券				
7回	国際航空運賃 (キャリア運賃)		・必要旅行日数 ・有効期間 ・途中降機、乗り換え ・経路規定、運賃計算例外規定 ・小幼児運賃 ・取り消し・払い戻し				
8回	国際航空運賃 (キャリア運賃)		・キャリア運賃の適用例 (規則の適用と運賃の計算例) ・確認テスト				

対象学年		1・2年共通	学期	前期のみ	学科	トラベル科1・2年合同(選択)		
科目名		総合管理者対策Ⅱ				クラス	K・L(選択)	
担当講師(フルネーム)		中牟田哲也						
授業概要(内容)		プリントによる解説、問題を解き解説				授業形態	講義	
到達目標		「総合旅行業務取扱管理者」試験の合格を目指す						
使用テキスト		問題集、プリント						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	1
期末試験	△							
事前・事後学習について		問題集の問題を解き理解状況の確認をすることが望ましい						
	テーマ		授業内容					
1回	ガイダンス 旅行業約款①		・授業の進め方、評価法、授業の諸注意 ・国家試験の概要、学習方法 募集型企画旅行 契約					
2回	旅行業約款②		募集型企画旅行 契約の変更 契約の取り消し					
3回	旅行業約款③		募集型企画旅行 責任 変更補償金					
4回	旅行業約款④		特別補償					
5回	旅行業約款		受注型企画旅行 手配旅行 旅行相談 渡航手続代行契約					
6回	国内航空約款 宿泊約款		国内航空運送約款 モデル宿泊約款					
7回	国際航空約款		国際航空運送約款					
8回	旅行業法		小テスト					

対象学年	1・2年共通	学期	前期のみ	学科	観光科・トラベル科	
科目名	総合管理者対策Ⅲ				クラス	KL
担当講師(フルネーム)	牟田口 真理子					
授業概要(内容)	総合旅行業務取扱管理者試験の海外実務科目の「旅行実務」「出入国関係」について出題内容を学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	総合旅行業務取扱管理者試験の海外実務科目(旅行実務、出入国関係)について出題内容を理解し合格レベルに達する。					
使用テキスト	JTB総合研究所 旅行業実務シリーズ5 出入国法令と実務 JTB総合研究所 旅行業実務シリーズ9 海外旅行実務					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	△	確認テストで評価 ※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択				
事前・事後学習について		シラバスを参照し該当箇所を予習しておく。授業後は復習を行う。 授業の中で問題を解く時間は十分に無いので各自問題集を使い知識の定着に努める。				
	テーマ	授業内容				
1回	海外旅行実務 ①時差	JTB総合研究所 旅行業実務シリーズ5 出入国法令と実務 P9～27 ① 標準時間と時差 ② 時差表の見方 ③ 夏時間DST ④ GMT ⑤2地点の時差 ⑥ 相手の現地時間 ⑦ 2地点の所要時間 ⑧ 所要時間から到着日・到着時間を求める				
2回	海外旅行実務 ②航空	JTB総合研究所 旅行業実務シリーズ5 出入国法令と実務 P28～54 ① 航空会社 ② 都市コード・空港コード ③ 国際航空運賃と等級 ④ 小児運賃 ⑤ その他付加運賃 ⑥ 手荷物 ⑦ 航空機の機種 ⑧ アライアンス ⑨ OAG航空時刻表 ⑩ MCTIに適合する乗継便				
3回	海外旅行実務 ③鉄道	JTB総合研究所 旅行業実務シリーズ5 出入国法令と実務 P55～75 ① ヨーロッパの鉄道 ② ユーレイル周遊パス ③ 列車の設備・等級 ④ ヨーロッパ鉄道時刻表 ⑤世界の列車				
4回	海外旅行実務 ④バス・船舶・ホテル・食事	JTB総合研究所 旅行業実務シリーズ5 出入国法令と実務 P76～105 ① 世界のバス ② クルーズ船 ③ ホテルの種類と特徴 ④ 名物料理 ⑤ 通貨 ⑥ EUなど				
5回	出入国法令と実務 ①旅券申請	JTB総合研究所 旅行業実務シリーズ9 海外旅行実務 P10～37 ① 旅券とは ② 旅券の新規発給申請 ③ 旅券の変則申請 ④ 旅券の受領				
6回	出入国法令と実務 ②査証申請	JTB総合研究所 旅行業実務シリーズ9 海外旅行実務 P40～55 ① 査証申請 ② 外貨手続き				
7回	出入国法令と実務 ③日本人の出入国手続き	JTB総合研究所 旅行業実務シリーズ9 海外旅行実務 P58～95 ① 搭乗手続き ② 航空手荷物 ③ 検疫手続き ④ 税関手続き ⑤ 出国審査 ⑥ 外国での検疫手続き ⑦ 入国審査 ⑧ 税関手続き ⑨ ワシントン条約(CITES)				
8回	出入国法令と実務 ④外国人の日本出入国 手続き	JTB総合研究所 旅行業実務シリーズ9 海外旅行実務 P96～108 ① 外国人の入国 ② 外国人の日本在留 ③ 在留カードと特別永住者証明書 ④外国人の出国と再入国許可 確認テスト				

対象学年		2年	学期	通年	学科	トラベル科		
科目名		国内観光地理				クラス	K	
担当講師(フルネーム)		友納真						
授業概要(内容)		各都道府県毎の観光資源(宿泊・観光地・グルメ・名産品)を学ぶ				授業形態	講義	
到達目標		観光地を学び、旅行商品としてどう組み込んでいくかを理解する						
使用テキスト		国内観光資源／国内観光地理サブノート／旅に出たくなる地図(日本)／国内観光地理ベーシック300+α(必要に応じて講師より指示)						
成績評価方法		期末試験(60%)＋小テスト(20%)＋平常点(ノートチェック含む)(20%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		サブノートにて事前に予習を行い、講義後はノート整理をして復習する						
	テーマ		授業内容					
1回	徳島県・香川県		徳島県・香川県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 徳島県・香川県の見どころ、温泉、宿泊地を学ぶ 四国の概要を説明。					
2回	愛媛県・高知県		愛媛県・高知県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート)。 愛媛県・高知県の見どころ、温泉、宿泊地を学ぶ					
3回	福岡県		福岡県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 福岡県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ 九州の概要を説明。					
4回	佐賀県		佐賀県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 佐賀県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ					
5回	長崎県		長崎県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 長崎県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ					
6回	立山黒部 アルペンルート		国内で人気の国際山岳ルートの「立山黒部アルペンルート」について学ぶ。					
7回	地理検定・過去問 チャレンジ		第47回旅行地理検定(国内3級／国内2級)を解く／自己採点／解説					
8回	旅程①		〈四国〉 旅行商品として、観光素材をどのように組み立てられているか、実際のパンフレットを参考に旅程を確認					
9回	熊本県		熊本県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 熊本県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ					
10回	大分県		大分県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 大分県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ					
11回	宮崎県		宮崎県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 宮崎県のみどころ、宿泊、観光地を学ぶ					
12回	鹿児島県		鹿児島県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 鹿児島県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ					
13回	沖縄県		沖縄県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 沖縄県のみどころ、温泉、観光地を学ぶ 沖縄の概要を説明					
14回	旅程①		〈九州〉 旅行商品として、観光素材をどのように組み立てられているか、実際のパンフレットを参考に旅程を確認					
15回	旅程②		〈沖縄〉 旅行商品として、観光素材をどのように組み立てられているか、実際のパンフレットを参考に旅程を確認					

対象学年		2年	学期	通年	学科	トラベル科		
科目名		海外観光地理				クラス	K	
担当講師(フルネーム)		挽田 雅子						
授業概要(内容)		海外の観光都市、観光地、観光ポイントの名前と場所を覚え海外旅行を楽しむための基礎知識を学ぶ				授業形態	講義	
到達目標		観光ポイントの名前と位置、特徴を述べるができる。主な世界遺産について説明できる。						
使用テキスト		海外観光資源、旅に出たくなる地図(世界)、海外観光地理サブノート						
成績評価方法		・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		予習:テキストを見てサブノートを記入する。復習:学んだ観光地について詳しく調べる。						
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション 韓国		授業の進め方、評価方法の説明 韓国の観光資源を学習する ソウル、釜山、慶州、済州島を学ぶ					
2回	台湾		サブノート記入チェック 台湾の観光資源を学習する 台北市内、台北近郊、中部の観光地を学習する					
3回	東南アジア1		サブノート記入チェック ベトナム、カンボジアの観光資源を学習する タイの観光地、リゾートを学ぶ					
4回	東南アジア2		サブノート記入チェック マレーシアの観光資源を学習する インドネシアの観光地を学ぶ					
5回	インド		サブノート記入チェック インドの観光資源を学習する 世界遺産を学習する					
6回	ハワイ1		サブノート記入チェック オアフ島の観光地や人気スポットを学ぶ ホノルル、ワイキキの観光スポットを見る					
7回	ハワイ2		ハワイ島の観光地を学ぶ マウイ島の観光スポットを学ぶ カウアイ島の観光資源を学習する					
8回	オーストラリア		サブノート記入チェック オーストラリアの観光資源を学習する アボリジニの文化や世界遺産を学ぶ					
9回	ニュージーランド		サブノート記入チェック ニュージーランドの観光資源を学習する マオリの文化やニュージーランドの自然を学ぶ					
10回	カナダ1		サブノート記入チェック 太平洋側の西海岸とカナディアンロッキーの観光地を学ぶ 氷河、山岳、湖などの自然を見ていく					
11回	カナダ2		東部の五大湖から大西洋に向かうセントローレンス川の流域の街を見ていく フランスの影響が残っている都市や、メープル街道について学ぶ 世界遺産を学習する					
12回	アメリカ合衆国1		サブノート記入チェック ロサンゼルス、サンフランシスコを起点とする西海岸の観光地を学ぶ グランドサークルを見ていく					
13回	アメリカ合衆国2		サブノート記入チェック 東海岸や魅力的な南部の観光地を学ぶ フロリダの観光ポイントを学習する					
14回	グアム・サイパン		サブノート記入チェック ミクロネシアの観光資源を学習する グアム、サイパンの観光地を学ぶ					
15回	まとめと復習		前期のまとめ アジア、アメリカ、オセアニアの復習 主要な世界遺産の復習					

対象学年		2年	学期	通年	学科	トラベル科		
科目名		INFINI(国際予約)				クラス	K	
担当講師(フルネーム)		秋満陽子						
授業概要(内容)		空席照会、PNR作成、座席指定の入力など基本的な国際線端末操作を習得する。				授業形態		実技
到達目標		インフィニ検定合格を目指す(希望者のみ)						
使用テキスト		専用テキスト(INFINI Reservation and Fare Pricing)						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		予習:授業前に授業範囲のテキストを読んでおく。 復習:授業内容を復習し、次週の授業に備える。						
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		導入:授業の目的・内容・成績評価方法の確認 インフィニ(GDS)が果たす役割を理解し、旅行・航空業界の仕組みを学ぶ					
2回	予約①		インフィニ基本操作:ログイン、キーボードの基本操作を覚える 情報検索① 日本語検索機能(My GUI)の操作を学ぶ 情報検索② INFINI LINX を使い、都市・空港コード、エアラインコードなどの情報検索の操作を学ぶ					
3回	予約②		前回の復習 基本空席照会について学び、出力画面内容を理解する 航空会社やアライアンスを指定した空席照会など、その他のオプション入力操作を学ぶ					
4回	予約③		前回の復習 ダイレクトアクセス空席照会について学び、基本空席照会との違いを確認する スケジュール照会の入力操作を学び、出力画面内容を理解する					
5回	予約④		予約①～③の復習 (情報検索、基本空席照会、ダイレクトアクセス空席照会、スケジュール照会)					
6回	予約⑤		PNR作成の必須項目を確認し、予約操作(間接予約・直接予約)について理解する PNRの作成、入力エントリーを覚える PNR作成後の画面確認(旅客項番、セグメント番号など)					
7回	予約⑥		PNRの変更操作を学ぶ(キャンセル、変更、分割など) PNRの確認と表示方法を学ぶ セールス契約について学ぶ					
8回	予約⑦		PNR作成の復習 旅客情報入力について学び、OSIとSSRの違いを確認する 小児・幼児情報、現地連絡先、機内食や車椅子など、航空会社へのリクエスト方法を学ぶ					
9回	予約⑧		前回の復習 APIS(セキュアフライト)、パスポート・ビザなど各種情報の入力エントリーを学ぶ マイレージ情報、リマークスの入力を学ぶ					
10回	予約⑨		前回の復習 事前座席指定の入力エントリーを学ぶ シートマップを表示し、出力画面を理解する。					
11回	予約⑩		予約⑤～⑨の復習 PNRの作成から各種情報の入力までの復習と練習問題					
12回	予約⑪		前回までの復習 キュー処理・マルチインプットについて学ぶ					
13回	予約総復習①		予約①～⑪までの総復習 インフィニ検定対策					
14回	予約総復習②		予約①～⑪までの総復習 インフィニ検定対策					
15回	期末テスト		総復習 期末テスト					

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	トラベル科			
科目名		観光業界研究				クラス	K		
担当講師(フルネーム)		中牟田 哲也							
授業概要(内容)		パワーポイント・板書による解説 映像により各種産業の概要を知る				授業形態	講義		
到達目標		我が国の観光の現状を知り、様々な観光産業の概要を覚える							
使用テキスト		なし、適宜プリント配布							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施							
事前・事後学習について		常に新聞やニュースで「観光」に関する新しい情報を収集することが望ましい。							
	テーマ		授業内容						
1回	ガイダンス 観光の役割		・授業の進め方、評価法、授業の諸注意 観光の役割・経済効果						
2回	観光の歴史		世界の観光の歴史 日本の観光の歴史						
3回	我が国の観光の現状		海外旅行・国内旅行・訪日観光						
4回	旅行業		旅行業の業務 旅行業の種類 日本の旅行業者						
5回	通訳ガイド 添乗員		通訳ガイドの業務・資格 添乗員の業務・資格						
6回	宿泊業		ホテルと旅館 民泊 日本の宿泊産業の現状						
7回	鉄道		JR、新幹線 鉄道業界の業務 観光列車						
8回	小テスト								
9回	航空		日本の航空会社と世界の主な航空会社 FSC・MCC・LCC アライアンスとマイレージサービス						
10回	空港		日本の主な空港と世界の有名空港 空港職員の業務 空港の民営化						
11回	クルーズ		日本発着のクルーズ 世界の人気クルーズ クルーズ業界の業務						
12回	バス		観光バス・高速バス バス業界の業務 バス業界の現状と課題						
13回	テーマパーク 免税店		日本のテーマパークと世界の人気テーマパーク テーマパーク・免税店の業務 免税店の現状と課題						
14回	アウトバウンドと インバウンド		日本のアウトバウンドとインバウンドの増減 アウトバウンドの現状と改題 インバウンドの現状と課題						
15回	MICE		MICEとは 日本のMICEの取り組み状況と課題 MICE関連産業の業務						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	トラベル科			
科目名		インバウンド概論				クラス	K		
担当講師(フルネーム)		挽田 雅子							
授業概要(内容)		インバウンドの意義を理解し、訪日外国人旅行の現況と課題を把握する。 訪日旅行者一人一人に向き合う心構えを学ぶ。				授業形態	講義		
到達目標		インバウンドビジネスに取り組むための基礎知識を身につける。							
使用テキスト		インバウンド概論							
成績評価方法		・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について 予習:授業前に授業範囲のテキストを読んでおく。復習:授業プリントを整理し、インバウンドについての情報を収集する									
	テーマ		授業内容						
1回	インバウンドとは		オリエンテーション インバウンドの意義 インバウンドの歴史						
2回	訪日外国人旅行者の現況		訪日外国人旅行者数の推移を調べる 訪日外国人旅行者の動向について学ぶ インバウンドがもたらす経済効果について学ぶ						
3回	国・地域別のマーケット特性		国・地域別外国人旅行者の割合について知る アジア発訪日客の増加とその背景を考える 各国・地域の特性を学ぶ						
4回	外国人旅行者から見た日本の観光資源		日本に対する印象を知る 外国人旅行者から見た日本の観光資源について学ぶ 訪日旅行の満足度を調べる						
5回	外国人旅行者の誘致と受入課題		旅行先としての日本に対するイメージを知る ネガティブイメージの払拭について考える 受入態勢の整備について学ぶ						
6回	インバウンドに関連する法律		旅行サービス手配業について知る 住宅宿泊事業法(民泊新法)について学ぶ 通訳案内士について学ぶ						
7回	関連業界の現況と課題		外国人旅行者から見た宿泊業の課題について学ぶ 運輸業の受入態勢と課題について学ぶ 観光施設の現況を知る						
8回	インバウンドに取り組む企業		旅行業の現況を知る 運輸業の現況を知る 流通業の取り組みについて学ぶ						
9回	インバウンド実務		基礎知識を身につける 基本的な流れを学ぶ 実務上のやり取りについて考える						
10回	九州のインバウンドの動向		アジア比率が高い九州の現況を知る インバウンド増加への取り組みを学ぶ 九州のインバウンド振興について考える						
11回	外客接遇		外客接遇の基本的な考え方を知る 外客接遇に必要な知識と能力について考える 宗教とタブーについて学ぶ						
12回	日本についての知識		日本文化について学ぶ 日本の慣習について説明する 訪日客への案内の仕方を考える						
13回	インバウンドツアー(1)		九州のツアー行程を作成する ターゲットを調べて、観光地・宿泊地・運輸機関を決める 費用を計算する						
14回	インバウンドツアー(2)		班ごとにツアーを発表する 内容・費用・発表について評価する 評価のフィードバックをする						
15回	まとめと復習		インバウンドの現況と課題について復習し、今後の取り組みを考える インバウンドに関わる際に必要な知識と能力を学ぶ インバウンドに取り組むメリットを理解する						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	トラベル科		
科目名		海外実務(企画・販売)				クラス	K	
担当講師(フルネーム)		友納真						
授業概要(内容)		海外商品を販売・添乗するにあたって必要な知識を学ぶ 海外商品の企画をする				授業形態	講義＆演習	
到達目標		海外商品の基礎知識を習得し、8月に行われるJATA主催のコンテストにエントリーする						
使用テキスト		ツアープランニングノート						
成績評価方法		海外販売の確認テスト実施(50%)＋課題(30%)＋平常点(20%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		講義で習得したことを復習する						
	テーマ		授業内容					
1回	海外企画①		海外旅行のプランニング方法を、記入例(バリ島)を参考に、資料を使いながら学ぶ (お土産・ホテルの特徴・人気グルメ／観光スポットなど確認)					
2回	海外企画②		アジア旅行のプランニング (ホテル・航空・オプションツアーをそれぞれ別手配)のプランニングをしよう					
3回	海外企画③		前回の続き、時間内に完成させよう					
4回	海外企画④		前回の続き、時間内に完成させよう					
5回	海外企画⑤		前回の続き、時間内に完成させよう					
6回	旅行企画提案コンテスト①		「学生による旅行企画提案コンテスト」にエントリーしよう 福岡空港発着、アウトバウンドの旅行を企画 グループ毎に、さまざまなアイデアを出し合って企画をしてみよう					
7回	旅行企画提案コンテスト②		前回の続き、時間内に完成させよう					
8回	旅行企画提案コンテスト③		前回の続き、時間内に完成させよう					
9回	旅行企画提案コンテスト④		前回の続き、時間内に完成させよう					
10回	海外添乗業務①		海外添乗の基礎知識(時差・出入国手続き・チップ・ポーターなど) 方面別の旅行先への添乗員の心構え					
11回	海外添乗業務②		海外旅行ならではのトラブルの対処を学習 添乗業務の復習・・・重要性、楽しさ、やりがいを考える					
12回	海外販売①		＜パスポート取得の基本知識＞ 申請時の注意事項、各種査証について確認、出入国書類について記入方法を確認					
13回	海外販売②		＜海外旅行パンフレット商品＞ 海外旅行のパンフレットの見方を確認、受付の注意事項などを確認					
14回	海外販売③		＜カウンター販売＞ カウンター接客についてのルールや言い回しをロールプレイを通して学習 海外旅行の申込金・取消料について把握する					
15回	確認テスト		確認テスト(添乗・販売)を実施 前期授業のまとめ、振り返り					

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	トラベル科	
科目名		就職活動講座			クラス	K	
担当講師(フルネーム)		山田邦幸					
授業概要(内容)		2019年度の求人状況に応じて試験直前の面接実技指導及び過去のデータ等を活用しコミュニケーション能力と業界知識を高める			授業形態	講義	
到達目標		企業が求める資質を習得して各自が希望する企業への就職すること(就職率100%)を目指す					
使用テキスト		＊勝つための就職ガイド(NEW SUCCESS)・就職ノート/＊プリント(授業にて配布・過去配布分も毎回持参する)					
成績評価方法		・期末試験70％平常点30％ ※単位取得には、出席率は便覧どおり75％以上を条件とする。 ・面接実技・出席率・提出物(内容・提出期限等)・小テスト得点・授業態度・身だしなみ				単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択					
事前・事後学習について		事前に受験する企業研究・面接練習/事後に不足分＆不十分な部分を補完することで入社試験に臨む					
	テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション 最終模擬面接対策		＊授業の進め方・評価方法について ＊就職活動について(前年度＆今年度の求人環境・求人状況・企業研究・企業リスト・就職閲覧室の活用等) ＊最終模擬面接に向けての用意				
2回	受験対策		＊最終模擬面接の振り返り(客観視することで改善点を確認) ＊就職活動について(学校の規則・手続き方法・提出書類等) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等について				
3回	受験対策 (求人状況に応じて)		＊面接練習①(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等)				
4回	受験対策 (求人状況に応じて)		＊面接練習②(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等)				
5回	受験対策 (求人状況に応じて)		＊面接練習③(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)				
6回	受験対策 (求人状況に応じて)		＊面接練習④(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)				
7回	受験対策 (求人状況に応じて)		＊グループディスカッション練習(受験報告書＆レジュメをもとに受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等) ＊就職内定率50％以上目標				
8回	受験対策 (求人状況に応じて)		＊面接練習⑤(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)				
9回	受験対策 (求人状況に応じて)		＊面接練習⑥(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)				
10回	受験対策 (求人状況に応じて)		＊面接練習⑦(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)				
11回	受験対策 (求人状況に応じて)		＊面接練習⑧(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等) ＊就職内定率70％以上目標				
12回	受験対策 (求人状況に応じて)		＊面接練習⑨(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)				
13回	受験対策 (求人状況に応じて)		＊面接練習⑩(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)				
14回	受験対策 (求人状況に応じて)		＊面接練習⑪(集団または個人・受験報告書＆レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) ＊求人状況の説明・企業研究＆書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等) ＊就職内定率80％以上目標				
15回	まとめ		＊前期のまとめ・就業までの過ごし方 ＊未内定学生の個別指導 ＊内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)＆就業時の注意事項と心得				

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	トラベル科			
科目名		旅行業英語				クラス	K		
担当講師(フルネーム)		秋満陽子							
授業概要(内容)		航空機による海外旅行、観光地案内、ツアーの添乗業務など、観光業の様々な場面で必要な英語の語彙、フレーズを学ぶ				授業形態	講義		
到達目標		観光業界で活躍出来るよう、幅広いケースに対応できる英語の言い回しを身に付ける							
使用テキスト		English for Tourism Professionals							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		予習:授業範囲のテキストを読んでおく 復習:授業内容を復習し、自習の復習テストに備える							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		導入:授業の目的・内容・成績評価方法の確認 Introduction: 観光業界への理解を深めよう						
2回	Unit 1 (1) Recommending a tour		旅行商品、観光地の情報を案内する時の英語表現 Vocabulary And Useful Expressions						
3回	Unit 1 (2) Recommending a tour		前回の復習 Pair Speaking Practice ツアーパンフレットの内容を読み取る						
4回	unit 2 (1) Taking a tour booking		前回の復習 旅行の申し込みを受ける Vocabulary And Useful Expressions						
5回	unit 2 (2) Taking a tour booking		前回の復習 Pair Speaking Practice ツアーの日程表やキャンセル規約の内容を読み取る						
6回	unit 3 (1) Escorting a tour		前回の復習 ツアーコンダクターの仕事、添乗業務で使用する英語表現 Vocabulary And Useful Expressions						
7回	unit 3 (2) Escorting a tour		前回の復習 Pair Speaking Practice 観光地の案内、商業施設のサービスガイドの内容を読み取る						
8回	unit 4 (1) Welcoming international tourists		前回の復習 訪日外国人観光客に日本の観光地を案内する Vocabulary And Useful Expressions						
9回	unit 4 (2) Welcoming international tourists		前回の復習 Pair Speaking Practice 駅や観光地の英語案内を読み解く						
10回	Unit 5 (1) Taking an airline reservation		前回の復習 航空会社の空席照会や航空券の予約時に使用する英語表現を学ぶ Vocabulary And Useful Expressions						
11回	Unit 5 (2) Taking an airline reservation		前回の復習 予約と支払いの場面で使用する表現 Pair Speaking Practice & Role Play						
12回	Unit 6 (1) Giving flight information		前回の復習 時差の知識を身に付ける 予約の確認、変更、お客様からの要望に対応する英語表現と会話例を学ぶ						
13回	Unit 6 (2) Giving flight information		前回の復習 Pair Speaking Practice & Role Play E-ticketの内容を読み取る						
14回	Unit 7 Helping passengers check in		前回の復習 チェックインカウンターでの英語表現と会話例を学習する 期末テスト対策						
15回	期末テスト		総復習 期末テスト						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	トラベル科・鉄道科合同(選択)			
科目名		国内管理者対策				クラス	K・M(選択)		
担当講師(フルネーム)		中牟田哲也							
授業概要(内容)		プリントによる解説、問題を解き解説				授業形態	講義		
到達目標		「国内旅行業務取扱管理者」試験の合格を目指す							
使用テキスト		問題集、プリント							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	1	
期末試験	△	※最終週に確認テスト							
事前・事後学習について		問題集の問題を解き理解状況の確認をすることが望ましい							
	テーマ		授業内容						
1回	ガイダンス 旅行業法①		・授業の進め方、評価法、授業の諸注意 ・国家試験の概要、学習方法 総則 登録						
2回	旅行業法②		営業保証金 弁済業務保証金						
3回	旅行業法③		取引準則						
4回	旅行業法④		雑則 旅行業協会						
5回	旅行業約款①		募集型企画旅行 契約 契約の変更						
6回	旅行業約款②		募集型企画旅行 契約の取り消し 責任						
7回	旅行業約款③		変更補償金 特別補償						
8回	各種約款		受注型企画旅行 手配旅行 確認テストを実施						

対象学年		1年	学期	通年	学科	鉄道科			
科目名		鉄道基礎				クラス	N		
担当講師(フルネーム)		田島義章							
授業概要(内容)		鉄道業務に必要な知識を習得し、資質の向上を図ることにより、社会的使命の達成に必要な識見と人格を形成する。				授業形態	講義		
到達目標		鉄道の総合的な専門知識を習得すると共に、安全に対する意識を向上させる。							
使用テキスト		分かりやすい鉄道技術 [土木編・電気編・運転編] 講師作成プリント							
成績評価方法		・平常点20%、期末テスト80% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		授業中に毎回唱和しますので、インターネットから「運転安全規範綱領」を検索し暗記しておいて下さい。							
	テーマ		授業内容						
1回	鉄道とは		授業の目的 ・ 進め方 ・ 成績評価方法について理解する。 鉄道の定義や歴史、性質や種類について知る。 鉄道システムを知る。						
2回	鉄道法規		鉄道に関係する法律について学ぶ。 鉄道に関する技術上の基準を定める省令について知る。 運転安全規範 綱領・一般準則を知る。						
3回	鉄道用語		基本的な鉄道の用語を知り専門用語が使えるようにする。 鉄道用語の意味を理解する。 運転安全規範 綱領・一般準則を理解する。						
4回	列車防護		列車防護の種類を理解する。 列車防護を行なう場合、また省略出来るときや解除の方法を知る。						
5回	鉄道信号(信号)		交通信号と鉄道信号の違いを考える。 常置信号機・臨時信号機の種類と役割について理解する。 手信号の種類と現示方式を知る。						
6回	鉄道信号(合図)		合図とは何かを考える。 どのような合図があるのか知る。						
7回	鉄道信号(標識)		鉄道標識の定義について考える。 技術基準省令の解釈基準に定められている標識を知る。						
8回	閉そく方式		列車間の安全を確保する方法について考える。 通常時の閉そく方式を知る。 異常時に列車を走らせる手段や手続きを知る。						
9回	列車の運転		原則的な運転ルールを学ぶ。 推進運転と退行運転を理解する。 列車の過走防護を知る。						
10回	鉄道運転事故		過去の重大事故の内容を知る。 事故の悲惨さを十分認識し事故防止に対する意識を深める。						
11回	電車のメカニズム		電車の走る原理(発電所から走行まで)を考える。 電車の止まる原理について理解する。 集電装置 ・ 制御装置 ・ 主電動機の役割を知る。						
12回	鉄道設備名称		踏切警報装置 ・ 踏切遮断装置 ・ 電車線路の構造や線路、分岐器などについて学ぶ。 鉄道信号について振り返る。						
13回	指令所		運転指令 ・ 電力指令 ・ 線路指令の役割を知る。 運転指令の業務内容を知る。						
14回	作業安全		安全の必要性について考える。 国の安全行事について知る。 事故と怪我について理解する。						
15回	まとめ		前期授業の振り返り。 質疑応答。						

対象学年		1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科		
科目名		鉄道係員				クラス	N	
担当講師(フルネーム)		花生義一						
授業概要(内容)		鉄道運行に携わる各係員の概要と鉄道運行の仕組みについて学ぶ 鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ				授業形態		講義＆演習
到達目標		各鉄道係員の仕事内容を身に付け、目標とする職種の重要性を身に付ける						
使用テキスト		わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について								
外見のみの鉄道員と実際に現場で作業する係員の違いを理解する								
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		1.カリキュラムの説明 2.鉄道運行に関わる職種の分類と職務内容を学び、各係員の概要を習得する 3.鉄道営業法による各係員の職制について学ぶ					
2回	駅員の業務		1.駅の組織を学び駅員が鉄道運行に携わっている位置を学ぶ 2.駅業務の内容を把握し、簡単な業務内容を習得する 3.駅社員の1日の仕事について説明を行い、駅員の特徴を学ぶ					
3回	鉄道乗務員		1.乗務員の職責と使命について学び、各乗務員の特徴を把握する 2.各乗務員の乗務形態を各職種別に説明し把握する					
4回	運行の仕事(車掌)		1.運転係員、営業係員としての車掌業務の使命を学ぶ 2.車掌の運転取り扱い方説明(扉操作・乗車券発売・案内・車内秩序の保持)を行う 3.車掌が起こしやすい事故について説明を行い、安全運行を維持する条件を学ぶ					
5回	鉄道運転士への道		1.運転士の職責及び使命の説明を行い、列車運行に対する重要性を学ぶ 2.運転士国家試験における、各個人が持つべき項目を説明し、試験に対する意識を掴む 3.運転適性検査内容の説明により、運転士受験資格者の選出内容を知る					
6回	運転士養成のカリキュラムと国家試験		1.「動力車操縦者運転免許に関する省令」による受験資格を知る 2.一般的な学科講習科目内容と講習時間、技術講習科目内容と講習時間を学ぶ 3.国家試験実施内容、動力車操縦者養成所等の内容を把握する					
7回	動力車操縦者養成所		1.養成所(研修所、教習所)とは何かを説明し、運転士養成の実態を知る 2.会社内部の養成所の組織内容を知る 3.運転シミュレータ、CAI教材、その他教材を知り、運転士の重要な位置を学ぶ					
8回	鉄道運転士の使命		1.運転士が鉄道運行に対する省令を知り、更に重要な職責であることを知る 2.運転士としての心構えを学び、運転士の業務内容を把握する 3.運転士の1日の仕事内容を説明し、より深く運転士の仕事を学ぶ					
9回	鉄道運転士の事故について		1.事故の分類とそれに対する運転士の教育内容についてを学ぶ 2.事故の分析と原因を追究し、運転士に対し注意義務を学ぶ 3.運転士の事故防止対策内容を学び日々努力する内容を知る					
10回	運転区所の組織		1.習熟度確認を行い現在までの理解度を確認する 2.運転現場の社員の職責と使命を学び、運転士に対する影響を知る 3.運転士の教育、訓練の内容を学ぶ					
11回	鉄道乗務員		1.乗務員の放送一般 ・乗務員のお客さまに対する案内放送の意義と相対的な放送内容の習得を行い実施する ・各場面でのお客さま対応能力を身に付け、基本的な放送を身に付ける					
12回	鉄道運行に関わる係員①		1.司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対しいかに指令の役割が生かされているかを学ぶ					
13回	鉄道ダイヤに関わる係員②		1.ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・鉄道ダイヤ作成時の注意点(お客さまの利用しやすいダイヤ)とダイヤグラムの関係を学び、時刻表がどのような工程で出来上がるかを学ぶ					
14回	期末試験対策		1.ダイヤグラムを把握する ・ダイヤグラムの見方を学び、実際にダイヤグラムの作成を行い、ダイヤの知識を深める ・各駅のダイヤがどのように抗されるかを学び、駅作業の重要性を学ぶ					
15回	前期のまとめ		1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策					

対象学年		1年	学期	通年	学科	鉄道科		
科目名		就職活動講座				クラス	N	
担当講師(フルネーム)		三石佳代子						
授業概要(内容)		自己分析を行い、自分の強みを知る。 鉄道業界を知るため講師の経験を伝える。				授業形態	講義	
到達目標		鉄道業界に絡めた自己分析をし自己PRと志望動機等を作成、前期終了時には自信をもって自分の強みを相手に伝えることができるような人物になることを目指す。						
使用テキスト		・SUCCESS 勝つための就職ガイド ・就職ノート ・鉄道業界大研究 ・講師作成プリント						
成績評価方法		・課題点100%(ただし、平常点も含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		自己分析を行い、自分の特徴を知った上で得意な部分は伸ばし、苦手な部分は克服する。						
	テーマ			授業内容				
1回	オリエンテーション	講師自己紹介、学生自己紹介(志望先、授業に望むこと等) 授業の進め方の説明						
2回	講師JR九州での経験①	工場検査係、運転士養成講座、運転士見習い、国家試験合格まで						
3回	講師JR九州での経験②	本務運転士、運用指令、育児休業、支社運輸総務担当、研修センター講師						
4回	就職活動の流れ	就職室の利用方法 IBCでの就職活動ルール						
5回	自己分析①	自分自身をどれだけわかっているか 自分のライフスタイルを振り返り、将来の夢や目標を明確にする 自己分析の意義を知り、過去・現在の自分を掘り起こしながら自分史を作成する						
6回	自己分析②	自分史、自己分析シートから、自分自身の強み・弱みを明確にする						
7回	他己分析	クラスメイトとグループワークをし、客観的に自身の性格を把握する						
8回	自己分析③	自己分析まとめ						
9回	自己PR作成①	自己分析、他己分析からPRできるものをピックアップして、肉付けする 企業でどう活かすのかを考え文章にする						
10回	自己PR作成②	300字以内で書いてみよう 自分自身の強み、長所短所について						
11回	職種研究 乗務員 (運転士・車掌)	運転士・車掌の仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り 志望動機につなげる						
12回	職種研究 (駅員・パーサー)	駅員・パーサーの仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り 志望動機につなげる						
13回	志望動機の作り方 (鉄道業界編)	個人別志望動機を自己分析から抽出する 鉄道業界の求める人物像と自分の強みをどのように関連付けて表現するか 志望と根拠の確認						
14回	志望動機の作り方 (鉄道業界編)	300字以内で書いてみよう						
15回	前期の振り返り	自分自身をどれだけ分析できたかを確認する 前期のまとめ						

対象学年		1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科		
科目名		交通論				クラス	N	
担当講師(フルネーム)		西 政明(マック24)						
授業概要(内容)		交通の基礎理論、知識を習得し、交通業界、特に鉄道を主体に業界の運営状況 経営情報・課題等を学ぶ				授業形態	講義	
到達目標		交通・鉄道関連従事員となるための基本的資質の育成・向上を図る						
使用テキスト		なし						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		次週の授業内容のプリントを配布するので予習復習を行うこと。						
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		シラバス、授業の進め方等の説明 交通論を学ぶ意義、目的、基礎用語を学ぶ 交通関連トピックス解説					
2回	交通の基礎理論		交通の定義・意義を学ぶ 交通サービスの概念を学ぶ 交通関連トピックス解説					
3回	"		交通サービスの概念を学ぶ 交通と経済を学ぶ 交通関連トピックス解説					
4回	交通のビジネスモデル		交通機関別のビジネスモデルの概要を学ぶ 交通関連トピックス解説					
5回	"		鉄道のビジネスモデルを学ぶ 航空業界のビジネスモデルを学ぶ 交通関連トピックス解説					
6回	"		バス業界のビジネスモデルを学ぶ 海上輸送業界のビジネスモデルを学ぶ 交通関連トピックス解説					
7回	交通関連政策史		鉄道政策史の概要を学ぶ 鉄道国有化の意義と効果を学ぶ 交通関連トピックス解説					
8回	"		戦後の鉄道政策史を学ぶ 交通関連トピックス解説					
9回	"		航空事業の政策史 海運事業の政策史 交通関連トピックス解説					
10回	"		交通市場と政策史の概要を学ぶ 総合交通体系論と規制緩和を学ぶ 交通関連トピックス解説					
11回	鉄道概論		鉄道の特徴を認識する 鉄道の歴史、構成を学ぶ 交通関連トピックス解説					
12回	"		都市鉄道と地方鉄道の現状を学ぶ 都市型交通システム(地下鉄、モノレール、新交通)を学ぶ 交通関連トピックス解説					
13回	"		都市型交通システム(路面電車、他)を学ぶ 観光鉄道と鉄道関連ビジネスを学ぶ 交通関連トピックス					
14回	"		九州の鉄道の現状と課題を学ぶ 期末テスト対策 交通関連トピックス解説					
15回	まとめ		振り返りと要点整理 交通関連トピックス解説					

対象学年		1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科		
科目名		時刻表				クラス	N	
担当講師(フルネーム)		花生義一						
授業概要(内容)		JR時刻表をスムーズに使用し、お客さま案内に必要な知識を確実に取得する JR時刻表を使用して、旅行プランを計画する				授業形態	講義&演習	
到達目標		駅案内に必要な能力を身に付け、駅業務に必要な旅行プラン作成能力を身に付ける						
使用テキスト		JR時刻表、講師作成プリント						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		JR時刻表の記載事項を把握、運賃料金、規定等が身に付ける						
	テーマ	授業内容						
1回	オリエンテーション 時刻表の基礎	1. 年間を通しての授業の進め方と評価方法を周知させ、授業に取り組む姿勢を学ぶ 2. 各ページの役割と内容を把握し、時刻表に対する興味を持たせる 3. 時刻表に記載している記号の把握を行い、より早く時刻表に慣れるようにする						
2回	時刻表の使い方基礎	1. 時刻表の便利な使い方を周知させ、項目による必要条件を覚える 2. 時刻の探し方・列車の種類と記号・注意点を学ぶことにより、時刻表の特性を身に付ける 3. 列車番号による種別(臨時列車、指定日運用列車等)の見分け方と条件を学ぶ						
3回	鉄道地図の見方	1. 鉄道地図の見方を周知し、各駅の検索作業を身に付ける 2. JRと私鉄・バス・航空・観光地等を索引から見つけ出す知識を身に付ける 3. 運賃、列車探索、線区別の必要条件を学ぶ						
4回	時刻表をひく①	1. 新幹線の索引知識を身に付け、目的地に合った列車を確認する 2. 新幹線と特急の索引方法で、違いを理解することにより、鉄道知識が高まる各特急列車の座席の種類を把握し プランニング作業に生かす						
5回	時刻表を引く②	1. 在来線の索引訓練を行い、プランに合った列車を見つけ出す 2. バス路線の索引方法を訓練し、バス旅行に必要な知識を身に付ける 3. バスの時刻確認方法、使用条件等を学ぶ						
6回	時刻表を引く③	1. 船旅行に必要な索引訓練を行い、必要条件を身に付ける 2. 旅客機を使用した旅行に対する索引訓練を行い、必要条件を身に付ける 3. 見積書作成時に必要な記号、適切な記入方説明						
7回	時刻表を引く④	1. 各旅客手段からの乗換条件を周知し、旅行プランニングに必要な条件を身に付ける 2. 各種、切符類の把握及びお得な条件等を学び、旅行プランニングの訓練を行う 3. 見積書記入訓練を行い、プランニングに必要な条件を身に付ける						
8回	プランニング訓練①	1. 時刻表を用いて、鉄道の課題に沿った訓練を行い、時刻表の使用条件を身に付ける 2. 九州各都市の目的地、関西各都市の目的地、中部各都市の目的地、関東各都市の目的地、東北各都市の目的地 北海道各都市の目的地に鉄道を利用して行く方法						
9回	プランニング訓練②	1. 時刻表を用いて、鉄道の課題に沿った訓練を行い、時刻表の使用条件を身に付ける 2. 九州各都市の目的地、関西各都市の目的地、中部各都市の目的地、関東各都市の目的地、東北各都市の目的地 北海道各都市の目的地に鉄道を利用して行く方法						
10回	プランニング訓練③	1. 時刻表を用いて、鉄道の課題に沿った訓練を行い、時刻表の使用条件を身に付ける 2. 九州各都市の目的地、関西各都市の目的地、中部各都市の目的地、関東各都市の目的地、東北各都市の目的地 北海道各都市の目的地に鉄道を利用して行く方法						
11回	JRの営業案内	1. 旅行業の窓口訓練を行い、必要条件を身に付け実践に役立たせる 2. 時刻表から学ぶ各鉄道会社の特徴を把握す 3. 習熟度確認を行い理解度を把握する						
12回	時刻表の早見法まとめ	1. 時刻表の便利な使い方を再周知する 2. 各ページの役割と内容再周知 3. 理解度調査による再認識を行い時刻表の見方を訓練する						
13回	便利な切符	1.全国各社発売の各種切符を学び、特徴を把握する ・切符の取り扱いを把握する						
14回	プラン作成①	1.見積書作成時の注意点 ・各種記号の把握によりお客さまに対し確認しやすいものを作る ・その他、見積及び契約時の注意点把握(必要最低限に把握する事項等)						
15回	まとめ	1. 前期のまとめと期末試験対策 2. 駅員と時刻表の繋がり説明 3. 1日で行けるプランニング作業を行い、乗車距離の把握と条件を身に付ける						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科			
科目名		鉄道実務				クラス	M		
担当講師(フルネーム)		花生義一							
授業概要(内容)		鉄道運行に伴う、各職種別の異常時取扱いを学びます 異常時対応能力及びお客さま対応能力向上を目指します				授業形態	講義&演習		
到達目標		鉄道員が持つべき知識を習得し、実際に近い行動力を身に付ける							
使用テキスト		わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		鉄道係員の実際の仕事を肌で感じうけた教養を現場で活かす力を身に付ける							
	テーマ		授業内容						
1回	鉄道用語説明		1.鉄道運行に必要な用語を学び異常時対応能力を養う 2.用語の役目(必用に応じた使用方説明) 3.防救連に対する重要性の説明を行い対応の基礎を学ぶ						
2回	異常時		1.異常時に対する各役割 ・鉄道係員各職種における異常事対応の説明を行い理解度を深める 2.異常時の対応を実際に仮説を行い各自役柄設定により対応を行うことにより行動能力を植え付ける						
3回	列車遅延		1.列車遅延に対する各職種の対応方 ・各職種別ごとのお客さまに対する異常時対応の実践を行うことにより、お客さま対応能力の習得を行う						
4回	車両故障①		1.各職種の対応方(電車編) ・運転士は、電気配線図を用いて故障原因を解明し異常時対応能力を身に付ける ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける						
5回	車両故障②		1.各職種の対応方(気動車編) ・運転士は、電気配線図を用いて故障原因を解明し異常時対応能力を身に付ける ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける						
6回	保安装置故障①		1.各職種の対応方(出発信号機及び場内信号機) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・乗務員以外の職種においてのお客さま対応能力を身に付け、異常時能力向上を目的とする						
7回	保安装置故障②		1.各職種の対応方(転てつ器及びATS ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・お客さま対応能力及び保安装置について再周知を行う						
8回	急病人対応		1.各職種の対応方(車内にて急病人発生) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う 2. 習熟度確認						
9回	踏切及び人身事故①		1.各職種の対応方を説明(鉄道人身傷害事故・踏切障害事故) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける						
10回	踏切及び人身事故②		1.鉄道障害事故時の現場責任者の取扱を学ぶ ・各職別対応の復習とまとめを行い注意すべき点を把握させる 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施						
11回	異常時対応全般説明		1.異常事対応能力確認 ・対応能力の判定及び習熟度確認を行う 2.鉄道実務の再周知を行い、より理解を深める						
12回	異常時発生時の車両運用手配		1. 車両運用の条件を学び運行にあった車両手配を学ぶ 2. 運用変更手配表の説明 3. 運用手配表に沿った車両運用手配を行う						
13回	異常時発生時の乗務員運用手配		1. 乗務員運用の条件を学び迅速な運用手配を学ぶ 2. 運用変更手配表の説明 3. 運用手配表に沿った乗務員運用手配を行う						
14回	運用手配の活用		1. 車両運用と乗務員運用を条件に合わせ手配する 2. 車両運用に沿った乗務員運用の染め込み 3. 習熟度確認						
15回	前期のまとめ		1.総まとめ、全体質疑 2.前期授業の学習を振り返り、鉄道に対する意識を深める 3.期末試験対策						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科			
科目名		鉄道車両Ⅰ（電車）				クラス	M		
担当講師（フルネーム）		花生義一							
授業概要（内容）		鉄道車両の基本的な仕組みを理解し、運転理論・車両技術等の専門知識を身につける 電気車の最新技術の応用と、制御システムの基礎知識・技術習得を目的とする				授業形態		講義＆演習	
到達目標		鉄道車両の安全性・信頼性を図ったシステムと、フェールセーフ技術の必要性を身につける							
使用テキスト		わかりやすい鉄道技術（1、2、3）、講師作成プリント							
成績評価方法		・期末試験70％平常点30％ ※単位取得には、出席率は便覧どおり75％以上を条件とする。						単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		電車の中身を勉強することによって、運転取扱いと技術面が身に付く							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション （ブレーキ装置の概要）		1.カリキュラムの説明を行う 2.鉄道車両のブレーキ装置、及びブレーキシステムの基礎知識を身につける 3.ブレーキ装置の種類・構造、及びその機能についての知識・技術を学ぶ						
2回	鉄道車両ブレーキ装置概要		1.鉄道車両に関する技術上の基準を定める法令についての知識を習得する （常用ブレーキ装置 留置ブレーキ装置 保安ブレーキ装置 その他 ） 2.使用用途に応じた各機器の働きを学ぶ						
3回	空気ブレーキ方式と 保安ブレーキ		1.空気ブレーキ方式による空気指令式と電気指令式の特徴と機能について学ぶ 2.ブレーキ種類別による機器構成・機能、ブレーキ作用までの仕組みを身につける 3.車輪の空転・滑走のメカニズムと、車両に与える影響について学ぶ						
4回	ブレーキ力と粘着力		1.鉄道車両のブレーキ力を左右する粘着係数粘着力についての知識を身につける 2.ブレーキ力と粘着力のとの相互関係を身につける 3.車輪の空転・滑走のメカニズムと、車両に与える影響について学ぶ						
5回	補助電源装置の用途と 回路構成		1.鉄道車両の補助電源装置の種類と、出力電源使用用途について学ぶ 2.MG電動発電機・SIV静止型変換装置の出力変換システムの知識を身につける 3.高い効率と信頼性を図ったSIV（静止型変換装置）待機系回路構成を学ぶ						
6回	電源回路の方式とその特徴		1.補助電源装置の運転方式による構造、機能、制御方式を学ぶ 2.運転方式の種類、回路構成・特徴、及び信頼性向上についての知識を学ぶ （独立運転方式 待機二重方式 並列同期運転方式）						
7回	鉄道車両に設置すべき設備 ①		1.鉄道車両に関する信号保安・保安通信設備の基礎知識を身につける 2.鉄道車両に関する車上に設置すべき設備、装置について知識を習得する ATS（自動列車停止装置） ATC（自動列車制御装置） ATO（自動列車運転装置）						
8回	鉄道車両に設置すべき設備 ②		1.鉄道車両に於いて車上に設置すべき設備・装置・機能など基礎知識を身につける 2.列車無線 デッドマン装置/EB装置のシステムについて学ぶ 3. 習熟度確認						
9回	保安装置のシステム		1.鉄道車両の保安装置システム・機能・役割等の基礎知識を習得する 2.フェールセーフ性設計の必要性について学ぶ 3.車両の運転状況、保安装置の動作機能についての知識を身につける						
10回	運転理論の基礎知識と 計算式の応用		1.車両の運転、車両技術に必要な運転理論等の基礎知識を習得する 2.出発抵抗 走行抵抗 空気抵抗 勾配抵抗 曲線抵抗の理論について学ぶ 3.鉄道車両運転理論に関する法則・計算式等の基礎知識を身につける						
11回	電気車の付属装置		1.各機器説明 2.車両搭載の各付属装置の役割・機能・用途について基礎知識を習得する 3.標識及び警報装置・通風装置・計器類・戸閉め装置・行先表示装置・放送装置等の機能・動作を学ぶ						
12回	車両メンテナンス		1.車両検査内容説明 2.車両機器と装置間の情報送受信との伝送システムの仕組みを学ぶ 3.車両情報伝送システムを活用し、車両状態記録機能、試験機能について学ぶ技術を学ぶ						
13回	車両情報伝送システムと 乗務員支援		1.車両情報伝送システムによる運転支援機能についての仕組みを身につける 2. 車両乗務員（運転士・車掌）への運転支援項目・内容についてを学ぶ 3.運転士用モニター画面 車掌用モニター画面表示の見方について学ぶ						
14回	主要機器・装置の役割と 機能		1.鉄道車両において各装置別の役割・機能について学ぶ （車体・走行装置・集電装置・動力発生装置・動力伝達装置・ブレーキ装置・補助回路装置・連結装置・附属装置・運転保安装置）						
15回	前期のまとめ		1.期末試験対策 2.前期授業の学習を振り返り、電車に対する意識を深める						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科			
科目名		鉄道車両Ⅱ（気動車）				クラス	M		
担当講師（フルネーム）		花生義一							
授業概要（内容）		気動車のしくみ（電気配線図を使用して気動車の概要を学ぶ） 気動車の電気配線図により各機器名及び役割を学ぶ				授業形態	講義＆演習		
到達目標		電気配線に対する理解力を向上させる							
使用テキスト		わかりやすい鉄道技術（1、2、3）、講師作成プリント							
成績評価方法		・期末試験70％平常点30％ ※単位取得には、出席率は便覧どおり75％以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		気動車の運転方法と電氣的なシステムを理解する							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		1.カリキュラムの説明を行う 2.電車と気動車の相違点を知り、気動車の利点を学ぶ 3.気動車が安全運行するための重要機器を学ぶ						
2回	電気配線図概要		1.電気配線図の基本を知り、見方を学ぶ 2.電気回路概要を学び気動車の中身を知る 3.使用用途に応じた各機器の働きを学ぶ						
3回	主電源		1.バッテリー投入からの電源の流れ方を学ぶ 2.ノーヒューズブレーカーとヒューズの役割を学ぶ 3.車両を正常に操作できる条件と目的を学ぶ						
4回	エンジン起動回路①		1.エンジンを正常に起動する条件を知る ・各スイッチの定位置及び各機器の定位置を学び、起動条件を知る 2.エンジンを起動するための、操作する機器及び電気の流れを学ぶ						
5回	エンジン起動回路②		1.予熱位置の重要性と電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する						
6回	エンジン起動回路③		1.起動位置の重要性と電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する						
7回	エンジン増速運転		1.主幹制御器の主ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ（1N～5N） 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する						
8回	逆転機回路①		1.主幹制御器の逆転機ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ（前進） 2.逆転機機能と合わせて学ぶことにより一層の理解を得る						
9回	逆転機回路②		1.主幹制御器の逆転機ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ（後進） 2.習熟度確認（結果によって個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する）						
10回	変速回路①		1.主幹制御器の変速ハンドル「変速」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ						
11回	変速回路②		1.主幹制御器の変速ハンドル「変速」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・「変」不調時の各機器動作 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する						
12回	直結回路①		1.主幹制御器の変速ハンドル「直結」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ						
13回	直結回路②		1.主幹制御器の変速ハンドル「直結」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・「直」不調時の各機器動作 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認及び期末試験対策を行う						
14回	戸ジメ回路		1.戸ジメ回路を学びドア閉扉・開扉時の電気の流れを学ぶ 2.戸ジメ回路と力行回路のつながりを学び安全に対する回路構成を知る 3.戸ジメ機器と各付属品とのつながりを学ぶ						
15回	前期のまとめ		1.期末試験対策 2.前期授業の学習を振り返り、気動車に対する意識を深める						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科			
科目名		鉄道業界研究				クラス	M		
担当講師(フルネーム)		三石佳代子							
授業概要(内容)		志望企業のトピックス・企業理念等を理解し、エントリーシート・面接対策を行う。 授業テーマと並行して、求人企業の企業研究を並行して行う。				授業形態		講義	
到達目標		鉄道業界の業務内容を理解し、志望企業でやりたい仕事を考え、志望理由に活かし、内定を獲得する。							
使用テキスト		講師作成プリント							
成績評価方法		・期末試験50%平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		新聞・インターネット等で鉄道業界・志望企業のトピックスを研究する。							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション	一年生の振り返り 前期説明 確認テスト							
2回	鉄道業界最新事情①	鉄道業界の最新のトピックスを知り、面接での応答内容に旬の話題を活かす ICカード、クレジットカードなど 鉄道会社アプリ、鉄道会社が持つ旅行会社							
3回	鉄道業界最新事情②	鉄道業界の最新のトピックスを知り、面接での応答内容に旬の話題を活かす 新幹線、注目観光列車、お客様獲得のための営業施策など							
4回	地方鉄道研究	地方鉄道の取り組みを学び、 面接での応答内容に旬の話題を活かす							
5回	座右の銘	鉄道業界で好まれる座右の銘を学ぶ							
6回	他己分析	クラスメイトとグループワークをし、客観的に自身の性格を把握する							
7回	鉄道会社の財務諸表・IRを学ぶ	鉄道会社の財務諸表を分析し、応募会社のどの部門に強みがあるのかを理解する							
8回	鉄道会社の企業理念・CSRを学ぶ	鉄道会社の企業理念を理解し、鉄道従事者となる心構えをする また、CSR(企業の社会的責任)やCSV(共通価値の創造)を学ぶことで、志望動機に反映させる							
9回	先輩の声(運転士・車掌)	鉄道業界に入社した先輩の業務内容、就活方法を知り、 自身の就職活動に活かす 求人企業、企業研究							
10回	先輩の声(駅員)	鉄道業界に入社した先輩の業務内容、就活方法を知り、 自身の就職活動に活かす 求人企業、企業研究							
11回	鉄道業界の価値観	キャリアアンカーを学び、自身の価値観と 志望企業の企業理念がマッチしているか確認する							
12回	鉄道業界の安全対策	鉄道業界で最も大切な「安全」やヒヤリハットを学び エントリーシートや面接で表現できるようにする							
13回	グループディスカッション事例研究	実際にあったお客さまの声から、鉄道従事者としてあるべき姿をディスカッションする							
14回	自然災害・安全施策	避けることのできない自然災害が鉄道にもたらす影響を知り、 鉄道員として取組むことを学ぶ							
15回	前期のまとめ	前期のまとめ テスト対策							

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科		
科目名		就職活動講座(面接対策)				クラス	M	
担当講師(フルネーム)		橋本美智子						
授業概要(内容)		就職対策において、面接で好印象を与え信頼してもらえる人物であることを言葉と振る舞いで伝えられる表現力を体得する。				授業形態	実技	
到達目標		好印象の表現力を身につける。						
使用テキスト		プリント						
成績評価方法		・期中評価 実技70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		授業内でアドバイスを受けた内容は、事後学習として改善し次に臨むように。 課題がある場合は事前学習として必ず取り組むようにお願いします。						
	テーマ		授業内容					
1回	就職面接とは		一年次の面接対策のまとめ 就職面接に<つ>いての説明 前期の目標を掲げる					
2回	集団面接演習		面接実技 第一印象の重要性/視覚情報に特化する					
3回	集団面接演習		面接実技 第一印象の重要性/聴覚情報に特化する					
4回	集団面接演習		面接実技 第一印象の重要性					
5回	振り返り		1回～4回の振り返りを行い、個々の課題を明確にする					
6回	集団討議		グループディスカッション テーマ1					
7回	集団討議		グループディスカッション テーマ2					
8回	集団討議		グループディスカッション テーマ3					
9回	集団面接演習		面接実技 明瞭でわかりやすい表現/話し方					
10回	集団面接演習		面接実技 明瞭でわかりやすい表現/話し方と表情					
11回	集団面接演習		面接実技 明瞭でわかりやすい表現/話し方と表情					
12回	個人面接		面接実技 最終面接を通過するために					
13回	個人面接		面接実技 最終面接を通過するために					
14回	個人面接		面接実技 最終面接を通過するために					
15回	まとめ		まとめと振り返り					

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科			
科目名		JR運賃料金／鉄道				クラス	M		
担当講師(フルネーム)		友納真							
授業概要(内容)		JRの運賃・料金・払い戻しなどのルールを習得 JRの鉄道(路線・列車)についての知識を習得				授業形態	講義		
到達目標		JRについての知識を習得し、実際の現場で活用できるスキルを身に付ける							
使用テキスト		国内運賃・料金／JR時刻表							
成績評価方法		確認テスト(60%)＋課題(20%)＋平常点(20%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		講義で習得したことを復習する							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション 運賃・料金の基礎		授業の進め方 JRの運賃・料金のルールを確認						
2回	JR運賃①		各種・運賃計算をしてみよう						
3回	JR運賃②		各種・運賃計算をしてみよう						
4回	JR料金①		各種・料金計算をしてみよう (新幹線・在来線特急)						
5回	JR料金②		各種・料金計算をしてみよう (乗継割引・新幹線内乗継)						
6回	変更・払い戻し①		きっぷの変更・払い戻しのルールを確認 各種・払い戻しの計算をしてみよう						
7回	JRの企画商品①		通年発売されているきっぷを確認 (早得きっぷ・回数券など)						
8回	JRの企画商品②		期間限定発売のきっぷを確認 (のぞみ早得きっぷや地方のフリーきっぷなど)						
9回	新幹線		7つの新幹線(東海道・山陽・九州・東北・北海道・上越・北陸)、ミニ新幹線(山形・秋田)の路線・列車を確認						
10回	特急列車		JR在来線特急の路線・種類を確認 (北海道・東北・関東・北陸・中四国)						
11回	九州の列車		鉄道王国・九州のさまざまな列車について学習 水戸岡鋭治氏デザインの列車						
12回	課題①		「私のオススメの企画乗車券」・・・時刻表やパンフレットなど、資料を活用して企画乗車券について、調べる 企画乗車券について、どのような使い方が出来るかを説明						
13回	課題②		前回の続き、調べよう						
14回	課題③		発表し、みんなで共有しよう						
15回	確認テスト		確認テストを実施 前期授業のまとめ、振り返り						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科			
科目名		ペン字				クラス	Mクラス		
担当講師(フルネーム)		安藤清子							
授業概要(内容)		書写検定3級の問題をテーマに文字のバランスと書式を学ぶ				授業形態	講義&演習		
到達目標		文字のバランスと書式を学ぶ							
使用テキスト		硬筆書写技能検定3級合格のポイント、オリジナルテキスト							
成績評価方法		※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・小テスト・授業態度					単位数	2	
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		習ったことを他の教科での授業でも読みやすい文字に気をつける							
	テーマ		授業内容						
1回	書写検定①		横書き一早書き4分の問題を性格に書き写す能力を身につける 横書きの書式とバランスを学ぶ						
2回	書写検定②		横書き一早書き4分の問題を性格に書き写す能力を身につける 横書きの書式とバランスを学ぶ 横書き復習と確認						
3回	書写検定③		行書の特徴ー楷書と行書の比較 マス目の中に文字を拡大入れる大きさとバランス 縦書きの書式とバランス						
4回	書写検定④		行書の特徴ー楷書と行書の比較 マス目と縦書き復習と確認						
5回	書写検定⑤		ハガキの表書きー書式とバランス ハガキの裏書き、本文～準2級問題参考						
6回	書写検定⑥		ハガキの表書きー書式とバランス ハガキの裏書き、本文～準2級問題参考 ハガキ復習と確認						
7回	書写検定⑦		掲示文を書くー余白とレイアウト ～油性マジックを使ってポスターを書く						
8回	書写検定⑧		掲示文を書くー余白とレイアウト ～油性マジックを使ってポスターを書く ポスター掲示文復習と確認						
9回	書写検定⑨		過去問を使って模擬テスト 書写理論と書写実技のまとめ～評価						
10回	お礼状と封筒の書き方		お礼状の書き方 実用書のマナーと常識を学ぶ						
11回	お礼状と封筒の書き方		封筒の書き方ー復習 縦長封筒の書き方ー個人、企業宛						
12回	お礼状と封筒の書き方		お礼状の書き方 縦長封筒まとめ評価						
13回	筆ペンで実用書を学ぶ		筆ペンの特徴と基本 自分の名前を筆ペンで書くー楷書、行書 慶弔の表書きのマナーを学ぶ						
14回	筆ペンで実用書を学ぶ		お祝いの表書きー寿、御祝 お悔やみの表書きー御霊前、御仏前 書式とバランスを学ぶ						
15回	筆ペンで実用書を学ぶ		表書きのまとめ～評価 芳名帳の書き方ー住所と名前のバランス						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科		
科目名		国内観光地理				クラス	Mクラス	
担当講師(フルネーム)		山本真美						
授業概要(内容)		国内実務科目の国内観光地理の知識を身につける 観光箇所の名称・観光地の所在地、温泉・祭りなどの観光資源の知識を増やす				授業形態	講義	
到達目標		国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す						
使用テキスト		国内旅行地理ベーシック300、旅に出たくなる地図、国内観光資源、国内観光地理サブノート(いずれも1年次に使用したもの)						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		予習(サブノート記入)はかならずする。						
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		授業の進め方、評価方法の説明 旅に出たくなる地図を読む、問題を解く チャレンジテスト					
2回	北海道		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント チャレンジテスト					
3回	東北①		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント チャレンジテスト					
4回	東北②		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント チャレンジテスト					
5回	関東		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント チャレンジテスト					
6回	中部①		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント チャレンジテスト					
7回	中部②		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント チャレンジテスト					
8回	関西①		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント チャレンジテスト					
9回	関西②		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント チャレンジテスト					
10回	中国①		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント チャレンジテスト					
11回	中国②		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント チャレンジテスト					
12回	四国		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント チャレンジテスト					
13回	九州①		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント チャレンジテスト					
14回	九州②		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント チャレンジテスト					
15回	まとめと復習		前期のまとめ					

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	トラベル科・鉄道科合同(選択)		
科目名		国内管理者対策Ⅰ				クラス	K・M(選択)	
担当講師(フルネーム)		中牟田 哲也						
授業概要(内容)		プリントによる解説、問題を解き解説				授業形態	講義	
到達目標		「国内旅行業務取扱管理者」試験の合格を目指す						
使用テキスト		問題集、プリント						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	1
期末試験	△	最終週に確認テストを実施						
事前・事後学習について		問題集の問題を解き理解状況の確認をすることが望ましい						
	テーマ		授業内容					
1回	ガイダンス 旅行業法①		・授業の進め方、評価法、授業の諸注意 ・国家試験の概要、学習方法 総則 登録					
2回	旅行業法②		営業保証金 弁済業務保証金					
3回	旅行業法③		取引準則					
4回	旅行業法④		雑則 旅行業協会					
5回	旅行業約款①		募集型企画旅行 契約 契約の変更					
6回	旅行業約款②		募集型企画旅行 契約の取り消し 責任					
7回	旅行業約款③		変更補償金 特別補償					
8回	各種約款		受注型企画旅行 手配旅行 確認テスト					

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	トラベル科・鉄道科		
科目名			国内管理者対策Ⅱ			クラス	K・M	
担当講師(フルネーム)			友納真					
授業概要(内容)			国内管理者試験の国内実務部分を講義			授業形態	講義	
到達目標			国内旅行業務取扱管理者の合格を目指す 国内実務部分の点数が取れるようになる					
使用テキスト			(運賃・料金)国内運賃・料金／JR時刻表・【国内観光地理】国内観光資源					
成績評価方法			確認テスト(70%)＋平常点(30%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について			講義で習得したことを復習する 練習問題を繰り返し解く					
	テーマ		授業内容					
1回	運賃・料金①		JR／航空／貸切バス／フェリー／宿泊各種の運賃・料金のルールを確認・復習 国内実務(運賃・料金)①の過去問を解く／解説					
2回	運賃・料金②		国内実務(運賃・料金)②の過去問を解く／解説					
3回	運賃・料金③		国内実務(運賃・料金)③の過去問を解く／解説					
4回	運賃・料金④		国内実務(運賃・料金)④の過去問を解く／解説					
5回	国内観光地理①		2019年話題の観光地について確認、ポイントを押さえる 過去問を解く／解説					
6回	国内観光地理②		練習問題【温泉】 国内観光地理の中でも一番数の多い温泉についての問題を解く／解説					
7回	国内観光地理③		練習問題【知っておきたい名数／紛らわしい観光地】 国内観光地理の中でも語群の選択肢で迷う観光地についての問題を解く／解説					
8回	確認テスト		確認テストを実施 授業のまとめ、振り返り					

エアライン

対象学年		1年	学期	通年	学科	エアライン科		
科目名		航空業界研究				クラス	Q・R	
担当講師(フルネーム)		吉原正彦						
授業概要(内容)		航空業界知識、業種、空港、航空機等について講義 エアポートビジネスが支える航空運送事業について講義				授業形態	講義	
到達目標		航空業界ではどのような業務が行われているか理解し、就職活動に役立つ知識を習得する						
使用テキスト		エアポート ビジネス入門・必要に応じプリント配布						
成績評価方法		・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		航空業界への意識を高め、就業後のイメージを考えエアポートビジネスとは何かを学ぶ。						
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		授業の目的について説明する 前期授業内容の進め方、成績評価方法について説明する 航空業界に対するイメージの意見交換を行う					
2回	エアポートビジネス		航空会社の業務とそれを取り巻く関連会社の業務について学ぶ 空港で従事する官公庁(航空局・CIQ等)について学ぶ 空港の旅客、貨物取扱能力について学ぶ					
3回	航空輸送事業の歴史		航空輸送事業の歴史について学ぶ 航空憲法(45・47体制)の廃止と規制緩和について学ぶ 航空会社の新規参入と格安航空会社(LCC)の台頭について学ぶ					
4回	航空業界、近年の動向		共同運航便(コードシェア)の就航について学ぶ 航空会社グループ化の進展(アライアンス)について学ぶ 燃油特別付加運賃(オイル・サーチャージ)の導入、その後の影響について学ぶ					
5回	日本の空港		空港の種類(拠点空港・地方管理空港・共用空港・その他の空港)について学ぶ 空港の機能、施設及び空港整備計画の現状について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)					
6回	空港業務の概要		空港ビル会社・空港事務所・CIQ関連業務について学ぶ 航空会社及び関連会社の業務項目について学ぶ 警備会社・旅客サービス業・航空貨物代理店・フォワーダー・通関業者について学ぶ					
7回	航空機の特性		交通機関としての特性について学ぶ 商品としての特性について学ぶ 航空機の歴史、現在活躍中の航空機及び将来の航空機について学ぶ					
8回	航空会社の仕事		JALグループ航空会社と関連会社の組織と業務内容について学ぶ ANAグループ航空会社と関連会社の組織と業務内容について学ぶ					
9回	航空会社の仕事		日本における中堅航空会社と関連会社の組織と業務内容について学ぶ 日本の格安航空会社と日本に就航している外資系格安航空会社について学ぶ					
10回	航空会社の仕事		出発時における旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 到着時における旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 空港における旅客業務のポイントを学ぶ					
11回	航空会社の仕事		運行管理(ディスパッチ)業務、ステーション・コーディネーション業務について学ぶ 運行支援業務(グランドハンドリング業務)について学ぶ					
12回	航空会社の仕事		整備業務、ケータリング業務について学ぶ 出発時と到着時の旅客送迎サービス業務について学ぶ					
13回	航空貨物業務		航空貨物の輸送実績推移と航空貨物輸送の特徴を学ぶ 輸出入貨物の一般的な流れについて学ぶ 航空貨物の搭載方法と荷役機器の取扱いについて学ぶ					
14回	航空保安		保安対策基準の脅威レベル(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)について学ぶ 搭乗旅客および機内持ち込み手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ 受託手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ					
15回	航空業界の動向		航空業界の今後の動向について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)					

対象学年		1年	学期	通年	学科	エアライン科		
科目名		空港実務				クラス	QR	
担当講師(フルネーム)		原田歩						
授業概要(内容)		国内の空港や航空会社の特徴、国内線におけるお客さまの流れを学ぶ チェックイン業務やアナウンス業務など実技を交えながら学ぶ				授業形態	講義	
到達目標		国内線の基礎を理解する						
使用テキスト		ANAグランドスタッフ入門						
成績評価方法		・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		毎回行われる小テストの予習復習を行う						
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		授業の目的、進め方、成績評価方法について チェックイン業務に挑戦する 航空業界にとって最も大事なことを理解する					
2回	日本の空港①		日本地図をもとに空港の位置を学ぶ 空港の基礎知識を習得する 空港の3レターを覚える					
3回	日本の空港②		日本地図をもとに空港の位置を学ぶ 空港の基礎知識を習得する 空港の3レターを覚える					
4回	日本の航空会社①		日本の航空会社を知る 各航空会社の特徴を学ぶ 航空会社の3レター・2レターを覚える					
5回	日本の航空会社②		日本の航空会社を知る 各航空会社の特徴を学ぶ 航空会社の3レター・2レターを覚える					
6回	GSの業務と役割①		旅客ハンドリング企業を知る GSの業務形態を知る 各空港の特徴を学ぶ					
7回	GSの業務と役割②		GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務、アナウンス業務を体験する					
8回	GSの業務と役割③		GSの役割を理解する GSに求められる人材について考える					
9回	時刻表		時刻表の見方と役割を理解する 記載されている内容を把握する 時刻表を使用してロールプレイを行う					
10回	手荷物①		受託・持込み手荷物のルールを学ぶ 様々な種類の手荷物タグについて学ぶ 様々な種類の収納ケースについて学ぶ					
11回	手荷物②		手荷物タグの取扱い方法を学ぶ 危険物について学ぶ 破損、未引取り、取り違い時の対応を学ぶ					
12回	実習報告		実習生より担当業務について報告を行う					
13回	国内線運賃		各種運賃とルールを学ぶ 各社運賃を比較する ホームページを利用し空席照会をする					
14回	国内線航空券		航空券の見方とルールを学ぶ 様々な搭乗媒体を知る スキップサービスについて理解する					
15回	まとめ		前期の復習、および補足					

対象学年		1年	学期	通年	学科	エアライン科			
科目名		アルテア				クラス	Q・R		
担当講師(フルネーム)		横瀬 敦子							
授業概要(内容)		国内線・空席照会から予約や座席指定、運賃検索まで幅広く行う練習問題を多くこなすことで、端末操作の処理能力を上げる。				授業形態	講義 & 演習		
到達目標		7月に実施される「アクセスオペレーションスペシャリスト検定 国内2級」全員で合格を目指す							
使用テキスト		JAL国内線予約発券×オペレーションスキル2019 JAL国内線予約発券×エアポートカウンタースキル2019(2冊)&早見表							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点には授業態度、提出物、小テストの結果も含まれる。					単位数	2	
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		パソコンスキルを向上させる。							
	テーマ		授業内容						
1回	基礎知識		※アクセス授業を受けるにあたっての注意事項 アクセス端末使用方法について理解する(起動/終了/ログイン/パスワード入力/ホームページ画面の見方など) 予備知識(予約受付期限/予約後の発券期限/国内線年齢区分や運賃規則)を学ぶ						
2回	空席照会と予約		※2レター&航空会社名 小テスト実施 空席照会・画面の見方を学ぶ(便名/出発到着時刻/機材/運賃額) 空席照会からの予約を学ぶ(直行便/乗継便/複数旅客)						
3回	PNR作成手順		予約の運賃確認を行い、国内線各種割引運賃規則を学ぶ(画面バスケット内容確認) 最安値運賃の予約を行う 旅客データの入力を学ぶ(シ小児/幼児の入力を行う)						
4回	PNR完了と中断		PNR(予約記録)構成を学ぶ PNRの完了と中断を行う(完了時や予約不可の祭のエラーメッセージも理解する) PNR完了後の画面確認を行う(予約コードの確認)						
5回	その他の予約方法		普通運賃・往復割引・キャンセル待ち予約を行う 便指定予約を行う(空席照会せずに直接便名を入力し予約を行う) オープンセグメントの意味を理解し、入力を行う						
6回	発券と座席指定		予約後、座席指定と発券を行う SSR(お手伝いが必要なお客様の入力)やOSI(同行者入力)について学ぶ 発券後のお客様控えの見方を学ぶ(空港での案内シミュレーションを行う)						
7回	予約変更と取消		※小テスト実施(予約/発券/運賃 また検定筆記問題に準じた内容) 予約の変更や取消しを行う 旅客データの訂正や削除を行う(旅客氏名/電話番号/申込者の訂正と削除を学ぶ)						
8回	TST再登録と再運賃検索		TSTについて 意味を理解する 予約便の変更や旅客氏名訂正に伴う、TST再登録を学ぶ						
9回	発券ファイル		SK入力について学ぶ(身体障害者割引/介護帰省割引/離島割引入力を学ぶ) 発券ファイルについて(航空券情報)、意味と画面表示を理解する クーポンステイタスについて学ぶ						
10回	PNR分割Ⅰ		JMB(マイルージ)登録について学ぶ 1部旅客の変更や取消しに伴う、PNR分割処理を行う 分割後の画面を理解する						
11回	PNR分割Ⅱ		1部旅客の分割後のTST登録について学ぶ(TST削除と再運賃検索) その他、イレギュラーについて学ぶ PNR作成総復習を行う						
12回	検定対策Ⅰ		検定受検にあたっての心構えを学ぶ 様々な運賃でのPNR作成を行う						
13回	検定対策Ⅱ		筆記対策 検定・国内2級の過去問題へ取り組む(課題提出と添削有り)						
14回	検定対策Ⅲ		ヒアリング対策 検定・国内2級の過去問題へ取り組む(課題提出と添削有り)						
15回	期末試験		総復習 期末試験(筆記/PNR作成)						

対象学年		1年	学期	通年	学科	エアライン科			
科目名		空港英語				クラス	QR		
担当講師(フルネーム)		高木美希							
授業概要(内容)		国内線の空港業務(旅客及びグランドハンドリングスタッフ)で使用される英語について学ぶ。				授業形態	講義		
到達目標		空港で使われる英会話や語彙を理解する。英語での接客・アナウンスが出来るようになる。							
使用テキスト		プリント							
成績評価方法		・期末試験80%平常点(小テスト)20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		空港での実習中に、学んだ英語を実際に使ってみることで、知識の定着及び向上を目指す。							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		講師自己紹介と学生自己紹介 シラバスを使用し、講義概要、到達目標、成績評価方法の説明						
2回	チェックイン業務		飛行機が発券するまでの流れを把握する。 搭乗手続き(チェックイン)とは何かを理解する。						
3回	チェックイン業務		国内線での搭乗手続きの手順・注意事項を理解する。 お手伝いの必要なお客様への接客を理解する。 【小テスト 第1回】						
4回	チェックイン業務		手荷物の種類と取り扱い際の注意事項を理解する。 持込に制限のある荷物について理解する。超過手荷物料金について理解する。 【小テスト 第2回】						
5回	チェックイン業務		搭乗手続きのロールプレイを体験し、接客に慣れる。 ロールプレイは全員実施する。 【小テスト 第3回】						
6回	チェックイン業務		搭乗手続きのロールプレイを体験し、接客に慣れる。 ロールプレイ体験の反省、振り返りを行う。						
7回	チェックイン業務		航空業界で使用する専門用語について学ぶ。						
8回	チェックイン業務		航空業界で使用する専門用語について学ぶ。 【小テスト 第4回】						
9回	ゲート業務		搭乗口(ゲート)での業務について学ぶ。 英語アナウンスの種類とアナウンス実施時の注意点について学ぶ。 【小テスト 第5回】						
10回	ゲート業務		英語アナウンスをマイクを使い、練習する。 英語アナウンス練習の反省、振り返りを行う。 【小テスト 第6回】						
11回	ゲート業務		英語アナウンスをマイクを使い、練習する。 英語アナウンス練習の反省、振り返りを行う。						
12回	イレギュラー運航 (遅延・欠航等)		イレギュラー運航とは何か、どのような種類があるのかについて学ぶ。 接客をする際の注意点(通常運航時との接客の違い)を把握する。						
13回	イレギュラー運航 (遅延・欠航等)		イレギュラー運航時、よく使う英単語、フレーズを学ぶ。 遅延・欠航時等の英語での接客、アナウンスを練習する。 【小テスト 第7回】						
14回	到着業務		国内線で、飛行機が到着した後の流れについて理解する。 到着手荷物の受け渡し、未着、破損時の対応について学ぶ。 【小テスト 第8回】						
15回	まとめ		前期に学習した内容の復習 【小テスト 第9回】						

対象学年		1年	学期	通年	学科	エアライン科			
科目名		日本語表現				クラス		Q・R	
担当講師(フルネーム)		久保田博子							
授業概要(内容)		敬語・文法・語彙・言葉の意味・漢字・表記を学び、美しい日本語理解する 毎時間小テストを行う				授業形態		講義	
到達目標		基礎言語力を伸ばし、日本語表現をブラッシュアップする							
使用テキスト		『ステップアップ日本語講座 ー 上級』 東京書籍							
成績評価方法		・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		事前学習:小テストの勉強 テキストを読み、問題を解く 事後学習:復習する							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		授業の目的・意味と進め方、成績評価方法について 学生の自己紹介 「適切な日本語」とはどのようなものか考える						
2回	敬語①		敬語について/敬語の種類 尊敬語、謙譲語Ⅰ、謙譲語Ⅱ、丁寧語、美化語を理解する						
3回	敬語②		適切な敬語、敬語の使い分け 練習問題 注意すべき敬語、誤った敬語の使い方						
4回	敬語③		状況に合わせた敬語の使い分け、さまざまな敬意表現、電話や手紙での敬語 練習問題						
5回	敬語④		マニュアル敬語、配慮を示す言葉 敬語のまとめ						
6回	文法①		敬語復習テスト 品詞・活用の種類 主語と述語、連体修飾と連用修飾						
7回	文法②		動詞の分類 文の成分、文のねじれ 練習問題						
8回	文法③		可能表現、受身と使役の表現 練習問題						
9回	語彙①		文法復習テスト 語彙とは、五種、二語の関係 練習問題						
10回	語彙② 言葉の意味①		類義語と対義語 練習問題 言葉の意味とは 練習問題						
11回	言葉の意味②		慣用句 練習問題						
12回	漢字・表記①		日本語の中の漢字 練習問題						
13回	漢字・表記②		四字熟語 練習問題						
14回	総合問題		練習問題						
15回	まとめ		前期のまとめ						

対象学年		1年	学期	通年	学科	エアライン科			
科目名		就職活動講座				クラス		Q・Rクラス	
担当講師(フルネーム)		吉原正彦／久保田博子							
授業概要(内容)		自己分析・企業研究を進め、就職試験のための具体的な活動を習得する				授業形態		講義	
到達目標		就職活動の重要性を認識し、自己PR・志望動機を文章にする							
使用テキスト		専門学校生のための就職内定基本テキスト 就職ノート							
成績評価方法		※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・授業態度・身だしなみ・出席率により評価						単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		自己分析、企業研究を進める							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション①		授業の進め方・評価方法について 学生の自己紹介(志望職種、希望勤務地、志望のきっかけ、強み) 「仕事」を考える(就職とは何か、なぜ働くのか)						
2回	オリエンテーション②		学生の自己紹介(志望動機、希望勤務地、志望のきっかけ、強み) 「仕事」を考える(就職とは何か、なぜ働くのか)						
3回	就職活動の心得 就職活動の流れ①		就職活動の心得 学生と社会人の違いを考える 企業で求められる人材とは						
4回	就職活動の流れ② 自己分析①		就職活動の流れを知ろう スケジュール管理をしよう→就職ノートをつくろう 就職活動は自己分析から始まる						
5回	自己分析②		ライフラインチャートをつくろう 「これまでに何をしてきたか」を考えよう						
6回	自己分析③		「今、何をしているか」を考えよう 「これから何をしたいか」を考えよう						
7回	自己分析④		「努力したこと」を考えよう						
8回	自己分析⑤		「自分の性格」を考えよう 「長所・短所」を考えよう						
9回	自己分析⑥		「好きなこと」「できること」「得意なこと」を考えよう 「資格」の活かし方を考えよう						
10回	企業研究①		企業研究の進め方 就職室を活用しよう						
11回	企業研究②		企業研究をしよう 求人票をチェックしよう						
12回	企業研究③		就職室を活用し、企業研究をする						
13回	企業研究④		就職室を活用し、企業研究をする						
14回	企業研究⑤		就職室を活用し、企業研究をする						
15回	企業研究⑥ まとめ		入社後の自分をイメージしよう 夏季休暇中の課題:「自己PR」と「志望動機」作成						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科			
科目名		危険物取扱試験対策				クラス	QR		
担当講師(フルネーム)		池内 勝							
授業概要(内容)		国家試験 危険物取扱者合格と航空業界における危険物の取扱について 危険物法令・燃焼についての基礎知識・消防法をテーマ別に解説				授業形態	講義		
到達目標		危険物取扱者合格を目指す							
使用テキスト		これだけ！乙種4級 危険物試験合格大作戦							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		事前学習・・・教科書の予習 事後学習・・・授業内容の復習							
	テーマ		授業内容						
1回	国家資格内容		国家資格取得レベルや試験までのスケジュールについて説明する 過去の国内空港の事故と危険物の関連について説明する 危険物の種類について説明する						
2回	危険物に関する法令		危険物の定義・分類(6つの性質)について学ぶ 指定数量(危険物の規制に関する政令別表第3)について学ぶ 製造所等の区分、申請・認可・許可等の手続きについて学ぶ						
3回	危険物に関する法令		危険物取扱者の責任内容について理解させる 危険物保安監督者の責任内容について理解させる 危険物保安統括管理者の責任内容について理解させる						
4回	過去問題		前年度の出題傾向を紹介し理解させる 過去の問題を活用し出題パターンを理解させる 配点の合格ライン到達のコツについて説明する						
5回	危険物に関する法令		危険物施設保安員の意義・業務内容について理解させる 予防規定に定めるべき事項、製造所の位置・構造・設備の基準について学ぶ						
6回	危険物に関する法令		製造所の位置・構造・設備の基準、貯蔵・取り扱いの基準について学ぶ 製造所等において危険物を貯蔵する場合の法令に定められた技術上の基準について学ぶ 各類ごとの危険性について共通基準を学ぶ						
7回	燃焼及び消化		＜運搬・移送の基準＞ 危険物の運搬と移送の違いについて学ぶ タンクローリー(移送タンク貯蔵所)との取り扱いの違いについて理解する。						
8回	燃焼及び消化		燃焼の定義、消化の原理について理解する 燃焼の仕方、危険物の物性、自然発火、水分との接触による発火、混合による危険について学ぶ 消化法、消化設備について学ぶ						
9回	危険物の性質		危険物一覧、危険物の類ごとに共通する性質について学ぶ 第1. 2. 3類の危険物について理解する 第4. 5. 6類の危険物について理解する						
10回	模擬問題		危険物に関する法令の問題について小テストを行い理解させる 基礎的な物理学・基礎的な化学について小テストを行い理解させる 危険物の性質・火災予防・消化方法について小テストを行い理解させる						
11回	危険物の航空輸送		荷送人の責任、出荷時の注意事項、危険物の種類について学ぶ 危険物のダメージ等の事故の際、作業者の取るべき緊急時の3原則について学ぶ 取り扱い及び搭載方法、放射性物質、隔離基準について学ぶ						
12回	危険物 まとめ1		航空業界における出荷時の注意事項、危険物の種類について学ぶ 航空事故の際、作業者の取るべき緊急時の3原則について学ぶ 航空業界における搭載方法、放射性物質、隔離基準について学ぶ						
13回	危険物まとめ 2		航空業界の過去の事故について学ぶ 危険物の品種別取扱方法について学ぶ 主な搭載方法、放射性物質、隔離基準について学ぶ						
14回	過去問題 1		過去問題を解く 問題解説						
15回	過去問題 2		過去問題を解く 問題解説						

対象学年		1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科		
科目名		ビューティーレッスン				クラス	QR	
担当講師(フルネーム)		金礪暁子						
授業概要(内容)		肌について学び、女性の身だしなみとしてメイクやスキンケアをすることができる				授業形態		講義 & 演習
到達目標		肌について学び、女性の身だしなみとしてメイクやスキンケアをすることができる						
使用テキスト		プリント配布						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		美容雑誌を見る。						
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		授業内容の確認 自己紹介					
2回	肌の基本知識		皮膚の構造 ターンオーバーと役割 肌の生理機能					
3回	肌悩みの原因		代謝の衰えと経年変化 乾燥と対策 シミやしワ、たるみについて					
4回	肌の生理機能		生理機能を乱す要因 ホルモンバランス ストレスと活性酸素					
5回	季節特有の肌悩み		季節によって起こる肌荒れ 紫外線 くすみやくま、毛穴について					
6回	基本のスキンケア		スキンケアとは スキンケアの重要性 基礎化粧品のそれぞれの特徴					
7回	基本のメイク①		化粧下地 ファンデーション フェイスパウダー					
8回	基本のメイク②		アイブロウ アイライナーとアイカラー チークとリップ					
9回	応用メイク		TPOに合わせたメイク メイクで印象を変える方法					
10回	似合わせメイク		自分に似合うメイクとは カラーと心理 女優メイク					
11回	からだの基本知識		ダイエットとは からだのバランスを整える 食生活について					
12回	体内環境と肌の関係		腸内環境と肌 肌荒れと体調の関係 代謝リズム					
13回	コミュニケーション①		相手に好印象を与えるための聞き方 第一印象をよくするには					
14回	総まとめ		これまでの復習					
15回	試験		筆記試験					

対象学年		1年	学期	通年	学科	エアライン科			
科目名		キャビンサービス				クラス		QR	
担当講師(フルネーム)		脇山奈津美							
授業概要(内容)		CAの仕事理解 面接対策(面接で実施されるロールプレイの基本的な対応)				授業形態		講義	
到達目標		サービスイレギュラー発生時の基本的な対応を体得する							
使用テキスト		なし(オリジナルテキスト使用)							
成績評価方法		・期末試験(授業中実施分)70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		英語のアナウンスや対応に慣れる							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		☐ 授業の目的:受験に求められるもの(対応力の重要性) ☐ CAの仕事理解:DVD「夢のお仕事シリーズ」鑑賞 魅力を知り必要な能力を理解する						
2回	CAの仕事理解		☐ CAの仕事をイメージする 出社～退社までのタイムスケジュールの作成						
3回	業界用語(機内編)		☐ フライト時の携行品 ☐ 機内で使用される用語の確認 ☐ サービス時に必要な英語(英会話)						
4回	アクティビティ		☐ 福岡市民防災センター見学(予定)						
5回	アクティビティ報告会		☐ 見学を通して学んだこと、各エアラインの魅力について ☐ お礼状書き、体験を通して学んだこと、保安の意識について ☐ 福岡の魅力:プレゼンテーション						
6回	対応力強化①		☐ 基本的なサービス実施要領の確認(ドリンクサービス) サービス時の注意事項、エプロン着用の意味 日本語、英語対応						
7回	対応力強化③		☐ クレーム対応 クレームを言う方の心理理解 適切な対応手順の確認						
8回	機内アナウンス		☐ 機内アナウンス実施の意味 意味と実施時のポイント ☐ 日本語、英語のアナウンス実施						
9回	前半確認テスト(筆記、実技)								
10回	採用試験準備		☐ 面接準備／練習						
11回	採用試験準備		☐ 面接準備／練習						
12回	採用試験準備		☐ 夏休みの準備 実際に空港に行く／飛行機を利用する FIRST AIRLINESの紹介						
13回	採用試験準備		☐ 面接準備／練習						
14回	採用試験準備		☐ 面接準備／練習						
15回	採用試験準備		☐ 面接準備／練習						

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科		
科目名	グランドハンドリング				クラス	QR選択	
担当講師(フルネーム)	吉原正彦						
授業概要(内容)	航空機のハイテク化に伴う、航空輸送に対応するため知識を習得する 航空会社が求めるグランドハンドリング業務全般を理解する				授業形態	講義	
到達目標	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に必要な関連知識の習得を目的とする						
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・パワーポイント						
成績評価方法	・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択					
事前・事後学習について	航空機の到着から出発までの各種、グランドハンドリング業務を学ぶ						
	テーマ	授業内容					
1回	グランドハンドリングの概要	オリエンテーション(授業の進め方、評価方法)授業内容を具体的に説明する グランドハンドリングの歴史と意義について学ぶ グランドハンドリング業務の概念についてFLT例を用い具体的に説明する					
2回	ランプイン/アウト	誘導作業、仕事の内容、要領、訓練方法、資格など概略を説明する マーシャリングの概要、マーシャラの心得について学ぶ 安全知識を習得させ、地上誘導(合図)の種類と方法について学ぶ					
3回	トイーグ	航空機トイーグ操作、通常トイーグ、ハンガーイン・アウトについて説明する コンパス・スイング・トイーグ、アンダ・ベリー・トイーグ方法について説明する トイーグ資格取得要件、ブッシュバック要領について学ぶ					
4回	ブレーキマン	ブレーキマンの作業手順について学ぶ 作業上の注意(緊急時に対応できる態勢)について学ぶ ブレーキマンの資格取得方法について説明する					
5回	ウォッチマン	ウォッチマン(監視員)の心得(適切な合図、危険への認識・責任)について学ぶ ウォッチ作業(監視作業)航空機の地上移動の安全確保について学ぶ ウォッチマンの位置(到着時、出発時、トイーグ時)について学ぶ					
6回	搭載関連業務	搭載計画(ロード・プラン)作成業務の概要について説明する ウエイト・アンド・バランス(Weight and Balance)業務(航空機の重量、機体の重心位置)について説明する 手荷物・貨物および郵便物の集荷・分別・通関・引き渡し作業と運搬作業について学ぶ					
7回	搭載取り卸し作業	搭載・取り卸し作業の概要、基本的な考え方について説明する 搭載物件の取り扱い、出発便・到着便作業の流れについて学ぶ 航空機における作業上の注意、車両機材使用上の注意について学ぶ					
8回	搬出作業一般	機種、機番、スポット、出発時刻の確認、等について学ぶ 貨物搬出回数、郵便物搬出回数、物量等の情報について学ぶ 手荷物搬出回数、物量等の情報、貨物・郵便物の搬出回数について学ぶ					
9回	航空機へのULD搭載	航空機へ機材装着、ULDの搭載およびULDの種類とタイプについて学ぶ パレットの搭載(ハイリフト・ローダ、航空機貨物室内)について学ぶ コンテナの搭載(ハイリフト・ローダ、航空機貨物室内)について学ぶ					
10回	航空機へのバルク搭載	バルク貨物の搭載手順(作業手順・注意点)について学ぶ バルク郵便物の搭載手順(作業手順・注意点)について学ぶ バルク手荷物の搭載手順(作業手順・注意点)について学ぶ					
11回	搭載監督者業務	搭載監督者業務の一般および搭載監督者1級と2級の違いについて学ぶ 出発便の搭載監督者業務(情報の収集、搭載作業指示および確認)について学ぶ 到着便の搭載監督者業務(情報の収集、取り卸し作業指示および確認)について学ぶ					
12回	旅客乗降ドアの開閉操作	航空機機種ごとの旅客乗降ドアの名称、数について学ぶ 航空機機種ごとの旅客乗降ドアの内部構造、モード切り替え機構について学ぶ 航空機、旅客乗降ドアポジションの機構の違いについて説明する					
13回	カーゴ・ドアの開閉操作	航空機機種ごとの貨物室の位置とカーゴ・ドアの大きさ、開閉機構について学ぶ 貨物専用機、貨物室の位置とカーゴ・ドアの大きさ、開閉機構について学ぶ カーゴ・ドアの機能について映像を確認しながら説明する					
14回	PBB操作	パッセンジャ・ボーディング・ブリッジの機能、操作方法について学ぶ パッセンジャ・ボーディング・ブリッジの機能等について映像を確認しながら説明する パッセンジャ・ステップの種類、機能、操作方法について学ぶ					
15回	航空機地上支援機材	航空機地上支援機材の概要およびランプ・イン/アウト作業用GSEについて学ぶ 搭載/取り卸し作業GSE(ステップ車、PBB、ハイリフト・ローダ)について学ぶ 搭載/取り卸し業務用GSE(ドーリ/カート牽引車・コンテナドーリ)について学ぶ					

対象学年		1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科			
科目名		ブラッシュアップ講座				クラス	QR		
担当講師(フルネーム)		脇山奈津美							
授業概要(内容)		就職試験までに必要な準備の確認 エピソードの作り方を知る				授業形態	講義		
到達目標		目標を立て達成に向けた取り組み方を体得する							
使用テキスト		なし(オリジナルテキスト使用)							
成績評価方法		・平常点30%、課題／レポート70% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		普段の生活態度からエアライン受験を意識した言動を心掛ける。							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		☐ 第一印象の重要性について① ☐ 自己管理の徹底について 挨拶、お辞儀、言葉遣い、声の出し方 証明写真／スナップ写真の撮り方、写真館について						
2回	身だしなみ		☐ 第一印象の重要性について② ヘア&メイク						
3回	ウォーキング 表情トレーニング		☐ 第一印象の重要性について③ 歩き方、表情の作り方 ☐ ルールとマナーの違い／「身だしなみ」と「おしゃれ」の違い						
4回	アクティビティ		☐ 市内施設見学(予定)						
5回	アクティビティ報告会		☐ 見学を通して学んだこと、各エアラインの魅力について ☐ お礼状書き、体験を通して学んだこと、保安の意識について ☐ 福岡の魅力:プレゼンテーション						
6回	キャリアプランの作成①		☐ 1年後の自分の姿を想定する 目標設定						
7回	キャリアプランの作成②		☐ WILL／CAN／MUSTを明確にする						
8回	自己啓発		☐ 取得資格の確認 必要な資格、その他の資格(手話、第2外国語) ☐ ボランティア活動／地域交流について						
9回	採用試験準備		☐ ストレスコントロール 自分のストレスを知る 発散方法を見つけ出す						
10回	採用試験準備		☐ グループワークトレーニング チーム内での自身の役割を理解する 「協力」の言葉の理解と、具体的な協力の仕方を体験する						
11回	採用試験準備		☐ 空港のチームワークを知る DVD:「空港で働く人」鑑賞						
12回	採用試験準備		☐ 面接準備／練習						
13回	採用試験準備		☐ 面接準備／練習						
14回	採用試験準備		☐ 面接準備／練習						
15回	採用試験準備		☐ 面接準備／練習						

対象学年		1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科			
科目名		エアカーゴ概論				クラス	QR選択		
担当講師(フルネーム)		松下良朗							
授業概要(内容)		航空貨物輸送概要 航空貨物の荷役方式と荷役設備 航空機別貨物搭載諸元 国内貨物輸送 貨物受託/発送/到着				授業形態	講義		
到達目標		航空貨物輸送の基礎知識を得るとともに貨物輸送の概要について考え方と実務を理解する							
使用テキスト		AIR CARGO MANUAL 配布プリント							
成績評価方法		・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		・マニュアル及び適宜配布するプリント以外に 講義内容をNOTEし事後学習すること。 期末試験に出題あり							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		・コース 概要説明 授業の進めかた						
2回	航空機・貨物室諸元		・飛行の原理 ・飛行機の種類とサイズ ・貨物をどう積むか ・貨物輸送の理解を深める ・貨物への飛行の影響 ・搭載貨物の制限 ・各機種貨物室 ・緊締装置 ・重力の与える影響・輸送手段の変化 ・LOADING SYSTEM BULKとULD ・輸送方法の歩みを知り貨物の運送方法を理解する						
3回			・WIDE BODY機とNALLOW BODY機の違いを知り 輸送能力を比較する ・荷役方式 ULDの基礎を学び 貨物質への搭載の流れを知る						
4回	国内貨物基礎		・空港の機能について学ぶ ・航空会社における貨物部門の役割 ・航空行政の物流事情に与える影響を考える ・貨物用語 ・IATA 3コード ・ICAO 4コード ・貨物代理店コード ・PRIFIX NBRIについて学び理解を深める ・運送状の役割について学ぶ ・運送約款を知る						
5回			・受託 発送 到着 引き渡しの流れについて理解する ・READY FOR CARIDGEとは ・運送器材SIZE ULDとは 貨物運送事業法 ・CARGO LOADING MANUAL 機種別						
6回			・貨物運賃の定義 タリフ 国内輸送/国際輸送を知る ・郵便物の受託 取り扱い 搭載について ・特殊貨物の搭載 動物/危険物/貴重品 ETC						
7回	貨物輸送概要		※梱包 予約 アロット 計量 重量管理の正確な理解 ・《受託》 受託の流れ ※上屋業務 重量分散 O/H タイダウン 固縛方法 計量 ※受託の流れを知り貨物代理店 搬入携帯 搬入全般フローを知る						
8回			※受託関係書類の確認チェック要領を理解し受託の全体像を掴む ・《発送》 航空機への搭載 ※FLT CONTROL業務手順を理解し 発送のための手順から貨物輸送を理解する ※スペースコントロール PRIOLITY 積み付け指示書の作成						
9回			・《到着》 航空機からの取り卸し※B/Dにおける注意点 点検 保管に対する注意 取り卸し搬入のノウハウ						
10回	危険物輸送		・危険物の貨物輸送 運送手段 機側 国際ルール 国内法規について 学ぶ ・危険物の受託 発送の準備 ・機長への通知						
11回			・IATA DGR ・ICAO TI オレンジブック 危険物 インシデントについて 理解する ・危険物輸送体系						
12回	航空貨物輸送業務全般		・CLM DGM ICM全般の概要を学び 理解する ・F/C 業務 荷役基準 ・コンテナに積み付け ・PLTの積み付け						
13回			・ばら積みの基本 BULK COMPETMENT ・WET CARGO AVI HUM TIE DOWNについて学ぶ ・安全運航について 学び幅広い 貨物知識を理解する						
14回	LOAD CONTROL		・LOAD CONTROLを理解する ・運用限界 重心位置 CG LIMIT 重量の構成 MAC BW/OW/ZFW ・CONFIGURATION						
15回	授業のまとめ		・前期授業のまとめ 期末試験対策						

対象学年		1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科			
科目名		エアラインマナー				クラス		QR	
担当講師(フルネーム)		脇山奈津美							
授業概要(内容)		CAとして、社会人としての基本的なマナーを身につける				授業形態		講義	
到達目標		基本的なビジネスマナーを体得する							
使用テキスト		なし(オリジナルテキスト使用)							
成績評価方法		・期末試験(授業中実施分)70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		普段の生活態度からマナーを意識した言動を心掛ける。							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		☐ 受験への心構え:日頃から意識すること(挨拶・時間・準備の意味) ☐ 校内外の合同企業説明会(会社説明会)へ参加する際のマナー、参加する時期 ☐ 受験の現状(企業がチェックするポイント)						
2回	ビジネスマナー ビジネス文書／電話対応		☐ ビジネス文書:作成時の注意事項 ☐ 電話対応:受信する時の注意事項／掛ける時のマナー						
3回	面接対策		☐ 入退室 ドアの開閉、着席の仕方、荷物の置き方 ☐ 第二印象について						
4回	アクティビティ		☐ 市内施設見学(予定)						
5回	アクティビティ報告会		☐ 見学を通して学んだこと、各エアラインの魅力について ☐ お礼状書き、体験を通して学んだこと、保安の意識について ☐ 福岡の魅力:プレゼンテーション						
6回	面接対策		☐ 入退室 ドアの開閉、着席の仕方、荷物の置き方 ☐ 第二印象について						
7回	相応しい言葉遣い		☐ 第二印象 敬語、クッション言葉の使い方 話を聴くときの態度						
8回	敬語		☐ 基本の敬語と誤った言葉遣い						
9回	前半確認テスト【筆記、実技】								
10回	採用試験準備		☐ 面接準備／練習						
11回	採用試験準備		☐ 面接準備／練習						
12回	採用試験準備		☐ 面接準備／練習						
13回	採用試験準備		☐ 面接準備／練習						
14回	採用試験準備		☐ 面接準備／練習						
15回	採用試験準備		☐ 面接準備／練習						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科			
科目名		フライトオペレーション				クラス		OP	
担当講師(フルネーム)		樽見俊六							
授業概要(内容)		航空会社の裏方で活躍する運航管理者の業務に不可欠な空港施設・航法施設・飛行管理・管制業務・航空気象についての基礎的知識を習得する。				授業形態		講義	
到達目標		航空機運航の流れ及び運航業務の役割・目的を理解し航空会社の使命である安全・定時運航に寄与する事を目標とする							
使用テキスト		プリント教材							
成績評価方法		期末試験80%＋平常点20%とする。単位取得には、出席率は便覧通り75%以上を条件とする。						単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		事前学習は必要ないが、事後学習では入念に復習し各々の授業内容を十分に理解する事が必要である。							
	テーマ		授業内容						
1回	コース紹介		前期カリキュラムの確認及び授業内容について説明しフライトオペレーション業務の役割・目的を理解せしめる。						
2回	航空局の業務概要		航空局の歴史・役割及び航空機 運航との関連について理解する。航空機と飛行機の違いについて。						
3回	空港施設		航空法・空港整備法による空港の種類・役割及びターミナル施設・設備について学ぶ。						
4回	空港施設		滑走路付帯設備・電波施設・照明施設などの種類とその役割について学ぶ。						
5回	航行援助施設		いろいろな電波・無線施設とその役割について学ぶ。(ADF/VOR/DME/ILS/TACAN設備etcについて)						
6回	航空交通管制業務		出発から到着までの航空交通の流れ・管制業務の目的及び飛行場管制業務について学ぶ。						
7回	航空交通管制業務		航空路はどのように区画割されているかを理解し管制空域・制限空域及び飛行情報区と防空識別圏との違いを学ぶ。						
8回	運航管理		運航管理者の資格・業務概要を理解し飛行計画書 (Flight Plan) の目的・記載内容を学ぶ。 (ATS Flight Plan と Company Flight Planの違いについて)						
9回	業務用語		いろいろなオペレーション用語とその意味について学ぶ。						
10回	業務用語		いろいろな管制用語とその意味について学ぶ。						
11回	計算の単位		航空機の運航で使う計算の単位について学ぶ。(距離・速さ・重さ。高さ・容積の単位)						
12回	離着陸速度・搭載燃料		離陸速度・着陸速度・加速 停止速度 / 航空機の運航に必要な搭載燃料の種類と搭載量について学ぶ。						
13回	航空気象		天気とは / いろいろな気象現象について。(気圧と気圧高度・視程・雲・雨・霧・もや・風・台風とは)						
14回	航空気象		航空機の運航を妨げるいろいろな気象現象 / 航空気象図の見方について						
15回	前期総復習		前期授業を総復習しその内容を再確認する。(Q & A)						

対象学年		2年	学期	通年	学科	エアライン科・夜間総合観光科(一部合同)		
科目名		観光地理				クラス	OP・Z(合同)	
担当講師(フルネーム)		中牟田哲也						
授業概要(内容)		地域ごとの国々・主な都市及び都市コードを白地図に記入 有名観光地の映像を見る				授業形態	講義	
到達目標		世界の地域・国々・主な都市・有名観光地を覚える						
使用テキスト		旅に出たくなる世界地図、白地図						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施						
事前・事後学習について		学習予定の地域を地図で確認しておく。授業で学んだ地域・国への旅行商品(パンフレット等)を確認望ましい。						
		テーマ	授業内容					
1回		ガイダンス 時差の知識	・授業の進め方、評価法、授業の諸注意 時差表の見方 GMTとDST					
2回		東アジア	白地図:東アジア 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:シルクロード					
3回		東南アジア	白地図:東南アジア 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:アンコール					
4回		南アジア	白地図:南アジア 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:インド					
5回		西アジア	白地図:アジア 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:トルコ					
6回		西欧	白地図:ヨーロッパ中央 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:フランス					
7回		南欧	白地図:地中海 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:イタリア					
8回		北欧	白地図:ヨーロッパ 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:北極圏					
9回		東欧	白地図:ヨーロッパ 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:ハンガリー					
10回		小テスト						
11回		アフリカ	白地図:アフリカ 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:エジプト					
12回		太平洋	白地図:太平洋 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:バヌアツ					
13回		オセアニア	白地図:オーストラリア・ニュージーランド 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:オーストラリア					
14回		北米	白地図:北アメリカ 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:ロッキー山脈					
15回		南米	白地図:南アメリカ 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:マヤ文明					

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科			
科目名		ペン字				クラス	QR クラス		
担当講師(フルネーム)		安藤清子							
授業概要(内容)		文字の基本を学び様々な書式とバランスを取得する				授業形態	講義 & 演習		
到達目標		履歴書をテーマに文字の基本を学び様々な書式とバランスを取得する							
使用テキスト		オリジナルテキスト、下敷き、ペン2種類、筆ペン							
成績評価方法		※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・小テスト・授業態度					単位数	2	
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		習ったことを他の教科での授業でも読みやすい文字に気をつける							
	テーマ		授業内容						
1回	履歴書の書き方①		文字を書く為の基本ー姿勢、ペンの持ち方 横書きの文章を通して横書きの書式とバランス、平仮名、片仮名、数字、アルファベットの確認						
2回	履歴書の書き方②		平仮名ーひらがなの字源と特徴 平仮名の書き取り練習ー名前も平仮名で練習 書写理論ー筆順						
3回	履歴書の書き方③		片仮名ーカタカナの字源と特徴 片仮名の書き取り練習ー名前も片仮名で練習 数字の練習						
4回	履歴書の書き方④		平仮名、片仮名のまとめと確認～提出 名前の配字配列ー自分名前を書く 書写理論ー筆順						
5回	履歴書の書き方⑤		横書きの書式とバランス 履歴書課題の書き取り練習 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習						
6回	履歴書の書き方⑥		履歴書の書き方 バランスよくまとめるコツ						
7回	履歴書の書き方⑦		履歴書の書き方ーまとめ①						
8回	履歴書の書き方⑧		履歴書の書き方ーまとめ② 履歴書提出						
9回	実用書を学ぶ①		ハガキの表書きー配字とバランスを学ぶ 封筒の書き方ー縦長封筒の書式とバランス ～個人、企業宛の書き分け～						
10回	実用書を学ぶ②		縦長封筒の復習と確認 A4が入る封筒の書き方ー個人、企業宛						
11回	実用書を学ぶ③		A4が入る封筒の書き方ー復習と確認 お礼状の書き方ー実用書のマナーと書き方 実用書のまとめー評価						
12回	筆ペンで実用書を学ぶ		筆ペンの特徴と書き方 自分名前を書くー筆ペンで楷書、行書の名前の練習 芳名帳の書き方ー書式とバランス						
13回	筆ペンで実用書を学ぶ		慶弔の表書きー実用書のマナーを学ぶ お祝いの表書きー御祝、寿 ～熨斗封筒の書き方、書式とバランス						
14回	筆ペンで実用書を学ぶ		慶弔の表書きー実用書のマナーを学ぶ お悔やみの表書きー御霊前、御仏前 慶弔の表書きのまとめー評価						
15回	筆ペンで実用書を学ぶ		～先生に暑中見舞いを書こう～ 表書きの復習と裏書きの書き方 暑中お見舞いの書式を学ぶ						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科		
科目名		コミュニケーション学				クラス		
担当講師(フルネーム)		吉良牧子						
授業概要(内容)		日頃のコミュニケーションを見直し、社会人として必要なビジネスコミュニケーション能力を高める				授業形態	講義＆演習	
到達目標		積極的な授業参加と主体的に行動し意見する学生を育てる						
使用テキスト								
成績評価方法		・課題提出70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		社会人との会話を実践する。						
	テーマ		授業内容					
1回	自己紹介の仕方		自己紹介の必要性・効果的な自己紹介とは・発表の仕方					
2回	コミュニケーションの必要性		コミュニケーションゲームで日頃のスキルチェック					
3回	挨拶と話し方		挨拶本来の意味と効果的挨拶・発声・早口言葉で正しく話す					
4回	グループディスカッション①		グループディスカッションのやり方と発表					
5回	グループディスカッション②		チームワークの大切さと仕事への活かし方					
6回	SNSコミュニケーション①		取材しまとめ、文章で引き付けるコミュニケーション					
7回	SNSコミュニケーション②		マーケティングを意識したコミュニケーションの図り方					
8回	インプットとアウトプット①		座学で学び、言葉にして相手に伝える					
9回	インプットとアウトプット②		//					
10回	プレゼンテーション		実際の就職問題を使い、発表					
11回	コミュニケーションテスト		座学の面で理解しているかのテスト					
12回	文章でのコミュニケーション		美文字の練習、お礼状やDM、年賀状の書き方					
13回	対面でのコミュニケーション		名刺を作成し、動作付きで交換。覚えてもらうための工夫					
14回	電話でのコミュニケーション		様々なケースを想定し、印象の良い対応の練習					
15回	まとめ							

対象学年		2年	学期	通年	学科	エアライン科		
科目名		観光英語				クラス	OP	
担当講師(フルネーム)		羽矢 茂・秋満 陽子・挽田 雅子						
授業概要(内容)		エアラインビジネスに必要な英語の語彙と表現を学ぶ 接客に必要な英語表現を学び、聞く・話すを多用して英語を身につける				授業形態	講義	
到達目標		航空・観光系の英語表現を身につけ、現実には会話ができるようになることを目指す						
使用テキスト		English for Tourism Professionals						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		予習:授業前に授業範囲のテキストを読んでおく。復習:授業内容を復習し、次週の復習テストに備える						
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		イントロダクション(授業内容、評価方法について) 航空業界の基本用語 接客のための基本英語表現					
2回	Unit5(1) Taking an airline reservation		時刻、日付、便名、電話番号の読み方 予約や問い合わせの電話に対応する Vocabulary and Useful Expressions					
3回	Unit5(2) Taking an airline reservation		Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play					
4回	Unit5(3) Taking an airline reservation		予約と支払いに関する情報を読む フライトアテンダントの募集要項を読む 質問に答える					
5回	Unit6(1) Giving flight information		時差の知識 予約の確認、変更、要望の電話に対応する Vocabulary and Useful Expressions					
6回	Unit6(2) Giving flight information		Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play					
7回	Unit6(3) Giving flight information		E-ticketの内容を読み取る お客様宛の手紙を読む 質問に答える					
8回	Unit7(1) Helping passengers check in		空港のチェックインカウンターでの対応について学ぶ チェックインから搭乗までの流れを知る Vocabulary and Useful Expressions					
9回	Unit7(2) Helping passengers check in		Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play					
10回	Unit7(3) Helping passengers check in		荷物の許容範囲に関する説明書を読む オンラインチェックインの方法の説明を読む 質問に答える					
11回	Unit8(1) Working at the boarding gate		搭乗ゲートでの対応について学ぶ パスポートの確認 Vocabulary and Useful Expressions					
12回	Unit8(2) Working at the boarding gate		Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play					
13回	Unit8(3) Working at the boarding gate		空港のセキュリティに関する注意書きを読む フライトに大幅な遅れやキャンセルが生じた場合の対応を知る 質問に答える					
14回	Unit4 Welcoming international tourists		訪日外国人旅行者の対応を学ぶ Vocabulary and Useful Expressions Dialogue Study					
15回	まとめと復習		前期のまとめ Vocabularyを覚える Useful expressions を身につける					

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科		
科目名		ビジネスマナー				クラス	OP	
担当講師(フルネーム)		原田歩						
授業概要(内容)		仕事におけるルールを理解しビジネスマナーの重要性を学ぶ 場面を想定し実技を交えながら学ぶ				授業形態	講義	
到達目標		社会人としてのマナーを身に付ける 仕事だけではなく、日常生活でも気づき実践できるようになる						
使用テキスト		ビジネスマナー基本テキスト						
成績評価方法		・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	1
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		1年次ビジネス能力検定で学んだことを復習しておく 日常生活において実践する						
	テーマ	授業内容						
1回	ビジネスマナーの基本	授業の目的、進め方、成績評価方法について 顧客満足とビジネスマナーの関係性について学ぶ 身だしなみチェックをする 場面を想定しクッション言葉を使い分ける 好感を持たれる挨拶を学ぶ						
2回	社内のビジネスマナーとルール	PDCAサイクルを理解する 出社時～退社時、休暇のマナーについて学ぶ 報告・連絡・相談の重要性について理解する 指示・命令の受け方を学ぶ						
3回	電話のマナー	電話での会話の特徴と注意する点を学ぶ 電話の受け方、掛け方を学ぶ 不在者宛での電話での対応を学ぶ 伝言メモを作成する						
4回	対応のマナー①	事前準備について学ぶ 訪問時の心得を知る 受付時の来客対応を学ぶ						
5回	対応のマナー②	廊下、エレベーターでの案内方法を学ぶ 応接室、エレベーター、乗用車における席次を理解する 名刺交換の手順を学ぶ 紹介の順序を理解する						
6回	対応のマナー③	アプローチ話法を用い会話をする お茶の出し方について学ぶ 見送りの場所と見送り方について学ぶ						
7回	慶弔・贈答のマナー	慶事の種類、服装について学ぶ 祝儀の基本を学ぶ 訃報への適切な対応を学ぶ お見舞いの基本マナーを知る						
8回	まとめ	期末試験 復習、および補足						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科		
科目名		社会情勢研究				クラス	O・Pクラス	
担当講師(フルネーム)		久保田博子						
授業概要(内容)		新聞やインターネットを通じて、社会情勢を理解する				授業形態	講義	
到達目標		メディアリテラシーを身につける 自分の意見をまとめ、表現する						
使用テキスト								
成績評価方法		※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物、授業内プレゼンテーション、授業態度等で評価する					単位数	1
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		事前学習:各テーマについて、下調べをする 事後学習:取り上げたテーマについて、経過を注視する						
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		授業の目的、進め方、評価方法について 新聞の基礎知識を学ぶ 新聞文章の特徴をつかむ					
2回	新聞を読む		新聞を読み、一分間スピーチの準備「私のトップニュース」					
3回	私のトップニュース①		一分間スピーチ「私のトップニュース」 質疑応答、意見交換					
4回	私のトップニュース①		一分間スピーチ「私のトップニュース」 質疑応答、意見交換					
5回	コラム①		コラムを読み、分析する 難解語句を抜き出し、意味を調べる コラムの構成を分析し、要旨をまとめる 自分の意見をまとめる					
6回	コラム②		自分の意見を発表する 意見交換する					
7回	最新ニュースをチェック		最新のニュースまたは気になるニュースをピックアップし、考察する					
8回	まとめ		質問、意見交換 まとめ					

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科		
科目名		航空業界受験対策				クラス	OP選択	
担当講師(フルネーム)		原田歩						
授業概要(内容)		全体で共有し、仲間の意見を参考にしながら進める GSの役割や求められる能力を理解しESや面接の対策を行う				授業形態	講義	
到達目標		内定を目指す 働く覚悟を持つ						
使用テキスト		専門学校生のための就職内定基本テキスト						
成績評価方法		・復習テスト50%平常点(授業態度、課題)50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	1
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		繰返し自己分析を行う 入社まで必要なスキルを身に付ける						
	テーマ		授業内容					
1回	自己分析		授業の目的、進め方、成績評価方法について 各々の受験状況を確認する 学校生活、部活動、習い事から得たことで現在に活かされていることを共有する 長所・短所を共有する 自己紹介をする					
2回	実習の振り返り		実習を振り返り、実習生ならではの気づきを共有する イレギュラーなど印象に残った事例を共有する 仕事のやりがいとは何かを考える 面接練習					
3回	GSとして求められる人物像		GSの業務、役割を復習する GSに求められる能力を考える 仕事の厳しさを考える 面接練習					
4回	目指すGS像と女性像		GSとして3年後、5年後、10年後の業務、役割を復習する 目指すGS像と女性像を共有する 人生プランを立てる 面接練習					
5回	志望動機		志望動機を見直す 具体的に自分の言葉で伝えられているか確認する 相手に熱意が伝わっているか確認する 面接練習					
6回	グループディスカッション		様々な討論方式を紹介する それぞれの役割について復習する 進行のポイントを学び、実践する					
7回	復習テスト		復習テスト 面接練習					
8回	20代のテーマ		20代のテーマを発表する 仲間にエールを送る まとめ					

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科			
科目名		航空業界試験対策(CA)				クラス	OP選択クラス		
担当講師(フルネーム)		森田 房子							
授業概要(内容)		CAに内定を勝ち取るために面接に強くなる				授業形態	講義		
到達目標		CAの採用試験に合格する							
使用テキスト		プリント							
成績評価方法		・面接50%小テスト30%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	1	
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		授業で学んだことを必ず自宅で復習をしておくこと							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		授業の目的・進め方・評価方法について それぞれの受験状況を確認 希望職種の確認						
2回	面接		CAの業務内容の再確認						
3回	グループディスカッション		受験者の表情や話し方、聞く態度、他者への気遣いについてチェック						
4回	面接		採用試験の近い学生から面接実習 (身だしなみ、表情、態度、話し方、笑顔)						
5回	面接		採用試験の近い学生から面接実習 (身だしなみ、表情、態度、話し方、笑顔)						
6回	面接		採用試験の近い学生から面接実習 (身だしなみ、表情、態度、話し方、笑顔)						
7回	面接		採用試験の近い学生から面接実習 (身だしなみ、表情、態度、話し方、笑顔)						
8回	まとめ		全員発表(良かった点、努力すべき点)						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科			
科目名		航空業界受験対策				クラス	O・P		
担当講師(フルネーム)		吉原正彦							
授業概要(内容)		就職活動の基本的流れについて講義 内定が決まった学生は自己啓発に取り組ませる。				授業形態	講義		
到達目標		採用試験に向けて具体的な方法を習得させ、目標に向け取り組み内定を勝ち取る。							
使用テキスト		専門学校生のための就職内定基本テキスト・就職ノート・プリント							
成績評価方法		※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物、授業態度を基に評価する。					単位数	1	
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		企業研究を行い、事前準備をする。事後に反省点を補完し学ぶ。							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		授業の進め方、評価方法について説明する 就職活動(学校の規則・手続き等)について学ぶ 最終模擬面接に向けての準備を行う						
2回	受験準備		就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 最終模擬面接を振り返り反省点を補う						
3回	受験対策		就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 内定者は就業に向けての準備を行う						
4回	受験対策		就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 内定者は就業に向けての準備を行う						
5回	受験対策		就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 内定者は就業に向けての準備を行う						
6回	受験対策		就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 内定者は就業に向けての準備を行う						
7回	受験対策		就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 内定者は就業に向けての準備を行う						
8回	まとめ		企業別、雇用体系の違いについて学ぶ 企業組織の役割、業務について学ぶ 社会人としての自覚を持たせる						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科		
科目名		就職活動講座				クラス	O・P	
担当講師(フルネーム)		久保田博子・原田歩						
授業概要(内容)		就職活動支援				授業形態	演習	
到達目標		未内定者は内定を得る 内定学生は就業までに自己研鑽を行い、社会人として自覚を持つ						
使用テキスト		専門学校生のための就職内定基本テキスト 就職ノート						
成績評価方法		※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・出席率・授業態度により評価					単位数	1
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		自己分析・企業研究を進める						
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		授業の進め方・評価方法について 最終模擬面接に向けて準備 自己PR・志望動機の練り直し 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備					
2回	受験対策		最終模擬面接の振り返り 就職活動における学内手続き方法等、確認 メールの書き方、電話のかけ方、書類の送り方 内定後の過ごし方について					
3回	受験対策		求人について エントリーシート・履歴書添削 面接練習 筆記試験対策 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備					
4回	受験対策		求人について エントリーシート・履歴書添削 面接練習 筆記試験対策 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備					
5回	受験対策		求人について エントリーシート・履歴書添削 面接練習 筆記試験対策 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備					
6回	受験対策		求人について エントリーシート・履歴書添削 面接練習 筆記試験対策 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備					
7回	受験対策		求人について エントリーシート・履歴書添削 面接練習 筆記試験対策 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備					
8回	受験対策		求人について エントリーシート・履歴書添削 面接練習 筆記試験対策 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備					

対象学年		2年	学期	通年	学科	エアライン科		
科目名		CA受験対策				クラス	OP	
担当講師(フルネーム)		脇山奈津美						
授業概要(内容)		エントリーシート作成方法 選考方法のポイントを理解した面接練習				授業形態	講義	
到達目標		内定獲得に必要なスキルを高める						
使用テキスト		なし(オリジナルテキスト使用)						
成績評価方法		・平常点、課題※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について可能な限り面接練習の場を設ける								
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		☐ エントリー状況／資格取得状況の確認 ☐ 説明会に参加する時のマナー／質問の仕方 ☐ 自己管理の徹底(体調、時間、情報収集) ☐ 自己PRの確認(求められる人材との比較)					
2回	身だしなみ		☐ 身だしなみ:ヘアメイク ☐ 第一印象と第二印象					
3回	ES／履歴書作成		☐ 作成のポイント／マナー エントリー時の注意事項(郵送、WEB)／設問以外の記入の仕方について(趣味・特技) 回答の仕方(文章構成)、気になるニュースについて					
4回	採用試験準備		☐ 企業研究 ☐ 採用試験の種類とそのポイント／対策 ☐ スピーチ／自己分析／自己PR作成／面接準備／練習					
5回	採用試験準備		☐ 企業研究 ☐ ビジネス文書:作成時の注意事項、返信のタイミング ☐ スピーチ／自己分析／自己PR作成／面接準備／練習					
6回	採用試験準備		☐ 企業研究 ☐ グループディスカッション ☐ スピーチ／自己分析／自己PR作成／面接準備／練習					
7回	採用試験準備		☐ 電話対応:受信時の注意事項 ☐ スピーチ／添削／面接練習					
8回	採用試験準備		☐ スピーチ／添削／面接練習					
9回	採用試験準備		☐ スピーチ／添削／面接練習					
10回	採用試験準備		☐ スピーチ／添削／面接練習					
11回	採用試験準備		☐ スピーチ／添削／面接練習					
12回	採用試験準備		☐ スピーチ／添削／面接練習					
13回	採用試験準備		☐ スピーチ／添削／面接練習					
14回	採用試験準備		☐ スピーチ／添削／面接練習					
15回	採用試験準備		☐ スピーチ／添削／面接練習					

国際ホテルマネジメント

対象学年		1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科			
科目名		ホテル総論				クラス		U	
担当講師(フルネーム)		小西翼							
授業概要(内容)		国内外のホテル産業の発達の歴史や変遷を学ぶ。				授業形態		講義	
到達目標		ホテルビジネスの基本構造を理解する。							
使用テキスト		現代ホテル産業概論							
成績評価方法		・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について 新聞やネットのニュースなどでも最新のホテルの状況を理解するよう努めること。									
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション 第2章ホテルビジネスの 基本と発展、変遷		授業内容、評価方法、期末テストについて 世界のトップ10ホテル						
2回	ホテルビジネスの基本と 発展、変遷		欧米におけるホテルの発祥と近代化への歩み						
3回	ホテルビジネスの基本と 発展、変遷		欧米におけるホテルの発祥と近代化への歩み						
4回	ホテルビジネスの基本と 発展、変遷		欧米におけるホテルの発祥と近代化への歩み						
5回	ホテルビジネスの基本と 発展、変遷		アジアにおけるホテル産業の発展史						
6回	ホテルビジネスの基本と 発展、変遷		日本のホテル産業の発展史						
7回	ホテルビジネスの 収益構造と経営形態		日本のホテルビジネスと部門別収益構造						
8回	ホテルビジネスの 収益構造と経営形態		ホテル事業別収益構造 ホテルビジネスが成り立つ要因						
9回	ホテルビジネスの 収益構造と経営形態		所有・経営・運営一体方式 運営受託方式						
10回	ホテルビジネスの 収益構造と経営形態		フランチャイズ方式 リース方式						
11回	ホテルビジネスの 収益構造と経営形態		マーケティング方式 コンソーシアム方式						
12回	ホテルの種類		立地分類 市場特性・価格帯による分類						
13回	サービスの基本と 職能別サービス		ホテルとプロトコール						
14回	サービスの基本と 職能別サービス		ホテルが今、求める人材とスキル						
15回	前期まとめ		まとめ 用語解説						

対象学年		1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科			
科目名		フロントサービス				クラス		U	
担当講師(フルネーム)		松本範子							
授業概要(内容)		宿泊部門(ドアマン、ベルマン、ハウスキーピング)の業務内容、及び他部門との連帯作業を学ぶ。				授業形態		講義&演習	
到達目標		宿泊部門の日常業務の理解と技術取得							
使用テキスト		ホテルテキスト宿泊Ⅱ フロント・サービス編							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		学んだ事を実習に活かせるようにする							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		成績評価、授業スケジュールについて説明 ゲストがホテルに求めているもの						
2回	フロントサービスとは		組織と業務 フロントサービスを担当する職種						
3回	フロントサービスとは		フロントサービス従事者の基本 各種施設						
4回	ドアマンの業務		ドアマンの業務と心構え お客様の送迎						
5回	ドアマンの業務		玄関周囲での業務						
6回	ドアマンの業務		案内業務 ドアマン業務のまとめ						
7回	ベルマンの業務		ベルマンの業務と心構え						
8回	ベルマンの業務		接客サービス チェックイン・チェックアウト						
9回	ベルマンの業務		接客サービス ルームチェンジ・インフォメーション						
10回	ベルマンの業務		ロビー管理の仕事 預かり物の取り扱い						
11回	ベルマンの業務		その他の業務 他部門のヘルプ、及び代行の仕事						
12回	ベルマンの業務		ベルマン業務のまとめ 実際に案内をしてみよう						
13回	クローク業務		クローク業務と心構え 整備と準備						
14回	クローク業務		クローク業務のまとめ 実際に案内をしてみよう						
15回	まとめ		前期のまとめ・期末対策						

対象学年		1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科			
科目名		レストランオペレーション				クラス		U	
担当講師(フルネーム)		長野美穂							
授業概要(内容)		料飲サービスにおける基本動作、知識を学ぶ				授業形態		講義&演習	
到達目標		企業実習にむけて料飲サービスの基礎を身に付ける							
使用テキスト		なし							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		学習した技術を、実習やアルバイトで実践する							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		授業の目的と進め方、評価方法について説明する 身だしなみと歩き方のチェック 姿勢改善トレーニング						
2回	料飲部門の概要		レストランの種類について学ぶ FB部門の特徴を知る テーブルクロスの取り扱い方を実践						
3回	フランス料理①		シルバーウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ テーブルクロスの取り扱い方の復習と実践						
4回	フランス料理②		グラスウェアの基礎知識を学ぶ ウォーターピッチャーの取り扱い方を学ぶ 水のサービス実践						
5回	フランス料理③		フランス料理の歴史を知る フルコースの流れを学ぶ フルコースのテーブルセッティングを実践						
6回	フランス料理④		フルコースの流れを知る トレイサービスの仕方を学ぶ						
7回	その他の西洋料理		イタリア料理を知る トレイサービス実践						
8回	ドリンク①		コーヒーについて学ぶ ナプキンの折り方実践						
9回	ドリンク②		ティーについて学ぶ ナプキンの折り方実践						
10回	ドリンク③		アンフュージョンについて学ぶ 皿サービス実践						
11回	日本料理①		会席料理について学ぶ 和室での立居振舞い実践						
12回	日本料理②		箸について手の知識を学ぶ 箸の持ち方実践						
13回	朝食サービス		朝食市場について学ぶ サーバーサービス実践						
14回	実技練習		期末試験の課題発表 次週のテストに向けて練習						
15回	期末試験		実技試験(スーツ着用) 制限時間内に課題ロールプレイングを行なう						

対象学年		1年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント			
科目名		ホテル業界研究				クラス	U		
担当講師(フルネーム)		橋口淳二							
授業概要(内容)		日本国内ホテル業界の業務内容を理解する。 業界に対しての学びと気付き知識を増やす。				授業形態	講義		
到達目標		ホスピタリティ業界で使える知識を取得できる。							
使用テキスト		なし							
成績評価方法		期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		学習した技術を、実習やアルバイト就業後に発揮できる。							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		授業の進め方 ホスピタリティーとは？						
2回	ホテルの基本		もてなす！ということ						
3回	ホテル就職について		給与体系、福利厚生について						
4回	ホテルの形態・種類		福岡市内のホテル						
5回	ホテルの形態・種類		東京都内のホテル						
6回	ホテルの形態・種類		テーマパークホテルについて						
7回	ホテル種類別研究		関西地区のホテルについて						
8回	ホテル種類別研究		チーム作成、テーマ決め						
9回	ホテル種類別研究		資料収集						
10回	ホテル種類別研究		資料収集						
11回	ホテル種類別研究		プレゼンテーション作成						
12回	ホテル種類別研究		プレゼンテーション作成						
13回	研究発表		プレゼンテーション						
14回	研究発表		プレゼンテーション						
15回	前期まとめ		ホテル業界研究まとめ						

対象学年		1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科			
科目名		現代国語				クラス	U		
担当講師(フルネーム)		前田恭子							
授業概要(内容)		日本の名作文学の中から選んだ簡単な読み物を、楽しんでたくさん読むことで、日本語の読解に対するモチベーションを高めます。				授業形態		講義	
到達目標		日本語の文章を流暢(りゅうちょう)に読めるようになることを目指します。							
使用テキスト		プリント使用							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		【事後学習】習った内容について各自 ふり返り学習を行っておくこと。							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		自己紹介 授業の進め方、評価方法についての説明 授業中のルールを決めましょう						
2回	かんたんな物から始める		日本の名作文学をリズムカルに、楽しく読み進める 簡単(かんたん)な文章から始めましょう						
3回	少しずつ読む		日本の名作文学をリズムカルに、楽しく読み進める 自分のペースでいいので、少しずつ読み進めましょう						
4回	長く続ける		日本の名作文学をリズムカルに、楽しく読み進める 毎日続けることが上達(じょうたつ)への近道です						
5回	知らない言葉も気にしない		日本の名作文学をリズムカルに、楽しく読み進める 知らない言葉があっても大丈夫(だいじょうぶ)です。どんどん読み進めましょう						
6回	話を楽しむ		日本の名作文学をリズムカルに、楽しく読み進める 文法よりも話を楽しむことが一番大事です						
7回	イントネーションに気をつけて読む		日本の名作文学をリズムカルに、楽しく読み進める 流暢(りゅうちょう)な言葉を話すにはイントネーションが大事です						
8回	間(ま)に気をつけて読む		日本の名作文学をリズムカルに、楽しく読み進める 相手が聞き取りやすい間(ま)があります						
9回	言葉をたくさんおぼえる		日本の名作文学をリズムカルに、楽しく読み進める 日本人が本を読むときにも、わからない言葉があります。ときには調べてみることも大事です						
10回	漢字をおぼえる		日本の名作文学をリズムカルに、楽しく読み進める 知っている漢字を少しずつ増やしていきましょう						
11回	聞き取りができるようになる①		日本の名作文学をリズムカルに、楽しく読み進める 話を聞くだけで内容が理解できるようになります						
12回	聞き取りができるようになる②		日本の名作文学をリズムカルに、楽しく読み進める 聞き取った文を文字で書けるようになります						
13回	聞き取りができるようになる③		日本の名作文学をリズムカルに、楽しく読み進める 聞き取った文を句読点(くとうてん)をまぜながら書けるようになります						
14回	期末テスト		期末テスト(筆記・実技)						
15回	前期まとめ		前期のまとめ 期末テストのフィードバック 夏休みの宿題(しゅくどい)について説明します						

対象学年		1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科			
科目名		日本語能力試験対策 I (N2語彙)				クラス	U・T留学生クラス		
担当講師(フルネーム)		恵良恭子							
授業概要(内容)		①話題別・性質別の言葉を学ぶ ②N2の語彙問題——文脈規定・言い換え・用法・語形成の習得				授業形態	講義		
到達目標		日本語能力試験N2合格を目指す							
使用テキスト		新完全マスターN2語彙 (帯として)、ドリル&ドリルN2語彙／直前対策ドリル&模試							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		課ごとの言葉を覚えること、造語、複合動詞などを覚えること							
	テーマ		授業内容						
1回	N2語彙1章		【1課】 親類・友人・知人 ①ウオーミングアップ ②言葉の意味(予習済み) ③語形成 ④例文 ①基本練習(確認問題)						
2回	N2語彙		【1課】小テスト——実践練習(回収) 【2課】 人の性格・特徴 ①ウオーミングアップ ②言葉の意味(予習済み) ③語形成 ④例文						
3回	N2語彙		【2課】 人の性格・特徴 ——復習 ①基本練習(確認問題) ②小テスト——実践練習(回収)						
4回	N2語彙		【3課】 感情・行動 ①ウオーミングアップ ②言葉の意味(予習済み) ③語形成 ④例文 ①基本練習(確認問題)						
5回	N2語彙		【3課】 感情・行動 ——復習 ①小テスト——実践練習(回収)						
6回	N2語彙		【1課～3課】 語彙まとめテスト(1)						
7回	N2語彙 2章		【1課】 食生活 ①ウオーミングアップ ②言葉の意味(予習済み) ③語形成 ④例文 ②基本練習(確認問題)						
8回	N2語彙		【1課】 食生活——復習 ①小テスト——実践練習(回収)						
9回	N2語彙		【2課】 家事 ①ウオーミングアップ ②言葉の意味(予習済み) ③語形成 ④例文 ①基本練習(確認問題)						
10回	N2語彙		【2課】 家事——復習 ①小テスト——実践練習(回収) 【3課】 健康 ——①ウオーミングアップ・言葉・語形成・例文						
11回	N2語彙		【3課】 健康 ——復習 ①基本練習(確認問題) ②小テスト——実践練習(回収)						
12回	N2語彙		日本語能力N2模擬試験——未定						
13回	N2語彙		日本語能力N2模擬試験——未定						
14回	N2語彙 3章		【3章】 趣味・娯楽 ①ウオーミングアップ ②言葉の意味(予習済み) ③語形成 ④例文 ①基本練習(確認問題)						
15回	N2語彙		①小テスト——実践練習(回収) ② N2練習問題						

対象学年		1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科			
科目名		日本語能力試験対策Ⅱ(聴解・漢字)				クラス	T・U留学生クラス		
担当講師(フルネーム)		恵良恭子							
授業概要(内容)		①N1レベルに必要な漢字の使い方・読み方・意味と音訓の習得 ②情報のポイントの聞き取り・メモの書き方・推測をする				授業形態	講義		
到達目標		日本語能力試験N1合格を目指す							
使用テキスト		新完全マスターN1漢字・ドリル&ドリルN1聴解・その他適宜							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		習った漢字の音訓を覚えること							
	テーマ		授業内容						
1回	N1聴解・漢字		【漢字】第1回——動詞Aレベル(1)——確認小テスト。・音読(フラッシュカード) 【聴解】第1回《課題理解1～6》・《ポイント理解1～7》						
2回	N1聴解・漢字		【漢字】第1回——動詞Aレベル(2)——確認小テスト。・音読(フラッシュカード) 【聴解】第1回《概要理解1～6》・《即時応答1～14》						
3回	N1聴解・漢字		【漢字】第1回——動詞Aレベル(3)——確認小テスト。・音読(フラッシュカード) 【聴解】第1回《統合理解1～4》・第2回《課題理解7～12》						
4回	N1聴解・漢字		【漢字】第1回——まとめテスト 【聴解】第2回《ポイント理解8～14》・《概要理解7～12》						
5回	N1聴解・漢字		【漢字】第2回——動詞Aレベル(4)——確認小テスト。・音読(フラッシュカード) 【聴解】第2回《即時応答15～28》・《統合理解5～8》						
6回	N1聴解・漢字		【漢字】第2回——動詞Aレベル(5)——確認小テスト。・音読(フラッシュカード) 【聴解】第3回《課題理解13～18》・《ポイント理解15～21》						
7回	N1聴解・漢字		【漢字】第2回——動詞Aレベル(6)——確認小テスト。・音読(フラッシュカード) 【聴解】第3回《概要理解13～18》・《即時応答29～42》						
8回	N1聴解・漢字		【漢字】第2回——まとめテスト 【聴解】第3回《統合理解9～12》・第4回《課題理解19～21》						
9回	N1聴解・漢字		【漢字】第3回——動詞Bレベル(1)——確認小テスト。・音読(フラッシュカード) 【聴解】第4回《ポイント理解22～28》・《概要理解19～24》						
10回	N1聴解・漢字		【漢字】第3回——動詞Bレベル(2)——確認小テスト。・音読(フラッシュカード) 【聴解】第4回《即時応答43～56》・《統合理解13～16》						
11回	N1聴解・漢字		【漢字】第3回——動詞Bレベル(3)——確認小テスト。・音読(フラッシュカード) 【聴解】模擬試験——合格できる						
12回	N1聴解・漢字		【漢字】第3回——まとめテスト 【聴解】模擬試験——合格できる						
13回	N1聴解・漢字		日本語能力試験模擬試験						
14回	N1聴解・漢字		日本語能力試験模擬試験						
15回	N1聴解・漢字		【漢字】第4回——動詞Bレベル(4)——確認小テスト。・音読(フラッシュカード) 【聴解】模擬試験——合格できる						

対象学年	1・2年共通	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科		
科目名	日本語能力試験対策 II (聴解・漢字)				クラス	T留U留②	
担当講師(フルネーム)	永吉美知子						
授業概要(内容)	高得点源になる聴解は N1、N2の問題を使用する 漢字は 完全マスターN2語彙の復習を中心にする 随時読解も導入				授業形態	講義	
到達目標	N2合格						
使用テキスト	完全マスターN2 語彙・完全マスターN2読解・スピードマスター聴解など						
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位 数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択					
事前・事後学習について ひらがな、カタカナを学ぶ。							
	テーマ		授業内容				
1回	聴解・漢字 1		ドリル&ドリル N1、N2 完全マスターN2 語彙・漢字				
2回	検定語彙 2		ドリル&ドリル N1,N2 復習プリント 完全マスターN2 語彙 ・漢字				
3回	検定語彙 3		ドリル&ドリル N1,N2 復習プリント 完全マスターN2 語彙 ・漢字				
4回	検定語彙 4		ドリル&ドリル N1,N2 復習プリント 完全マスターN2 語彙 ・漢字				
5回	検定語彙 5		ドリル&ドリル N1,N2 復習プリント 完全マスターN2 語彙 ・漢字				
6回	検定語彙 6		ドリル&ドリル 復習プリント 完全マスターN2 語彙 ・漢字				
7回	検定語彙 7		ドリル&ドリル N1,N2 復習プリント 完全マスターN2 語彙 ・漢字				
8回	検定語彙 8		能力試験対策				
9回	検定語彙 9		能力試験対策				
10回	検定語彙 10		スピードマスター N1,N2 復習プリント 完全マスターN2 語彙 ・漢字				
11回	検定語彙 11		スピードマスター N1,N2 復習プリント 完全マスターN2 語彙 ・漢字				
12回	検定語彙 12		スピードマスター N1,N2 復習プリント 完全マスターN2 語彙 ・漢字				
13回	検定語彙 13		スピードマスター N1,N2 復習プリント 完全マスターN2 語彙 ・漢字				
14回	検定語彙 14		スピードマスター N1,N2 復習プリント 完全マスターN2 語彙 ・漢字				
15回	検定語彙 15		復習問題				

対象学年		1・2年共通	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科		
科目名		日本語能力試験対策Ⅲ (N1文法)				クラス	T・U留学生クラス	
担当講師(フルネーム)		恵良恭子						
授業概要(内容)		その課で勉強した文法、読解、聴解を通して試験対策を目標とする。				授業形態	講義	
到達目標		日本語能力試験N1 合格を目指す						
使用テキスト								
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		例文、使い方を理解する						
	テーマ		授業内容					
1回	N1文法		1課 1. 文法項目 2. CHECK 練習問題 3・聴解(文法項目)					
2回	N1文法		1課—— 文法項目 まとめ問題(復習) 2課 1. 文法項目 ① 2. CHECK 練習問題					
3回	N1文法		2課 3. 文法項目 ② 4. CHECK 練習問題 5. 聴解(文法項目)					
4回	N1文法		2課—— 文法項目 まとめ問題(復習) 3課 (1)1. 文法項目 ① 2. CHECK 練習問題					
5回	N1文法		3課 (1) 3. 文法項目 ② 4. CHECK 練習問題 5・聴解(文法項目)					
6回	N1文法		3課(1)——文法項目 まとめ問題(復習) 3課 (2) 1. 文法項目 ① 2. CHECK 練習問題					
7回	N1文法		3課 (2) 3. 文法項目 ② 4. CHECK 練習問題 5. 聴解(文法項目)					
8回	N1文法		3課(2)——文法項目 まとめ問題 4課 (1) 1. 文法項目 2. CHECK 練習問題 3. 聴解(文法項目)					
9回	N1文法		4課(1)——文法項目 まとめ問題 4課 (2) 1. 文法項目 2. CHECK 練習問題 3. 聴解(文法項目)					
10回	N1文法		4課(2)——文法項目 まとめ問題 5課 (1) 1. 文法項目 2. CHECK 練習問題 3. 聴解(文法項目)					
11回	N1文法		日本語模擬試験 N1 1回					
12回	N1文法		日本語模擬試験 N1 2回					
13回	N1文法		5課(1) ——文法項目 まとめ問題 5課 (2) 1. 文法項目 2. CHECK 練習問題 3. 聴解(文法項目)					
14回	N1文法		5課 (3) 1. 文法項目 2. CHECK 練習問題 3. 聴解(文法項目) 4. 文法項目 まとめ問題					
15回	N1文法		期末テスト復習					

対象学年		1・2年共通	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科		
科目名		日本語能力試験対策Ⅳ(読解)				クラス	T・U留①	
担当講師(フルネーム)		上中真由美						
授業概要(内容)		日本語能力試験N1読解対策				授業形態	講義	
到達目標		日本語能力試験N1合格を目指す						
使用テキスト		プリント配布						
成績評価方法		・期末試験50%平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について間違えた問題をもう一度見直しておいてください。								
	テーマ		授業内容					
1回	N1読解		授業の進め方・評価方法について 読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する					
2回	N1読解		読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する					
3回	N1読解		読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する					
4回	N1読解		読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する					
5回	N1読解		読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する					
6回	N1読解		読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する					
7回	N1読解		読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する					
8回	N1読解		読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する					
9回	N1読解		読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する					
10回	N1読解		読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する					
11回	N1読解		模擬テスト					
12回	N1読解		模擬テスト					
13回	N1読解		読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する					
14回	N1読解		読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する					
15回	N1読解		読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する					

対象学年	1・2年共通	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科		
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ(N2読解)				クラス	T・U留学生クラス	
担当講師(フルネーム)	恵良恭子						
授業概要(内容)	N2試験に合格できる力をつける。問題を解く技術を身につける 全般的な『読解』の力をつける。				授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N2合格を目指す						
使用テキスト	新完全マスターN2読解・読解『必修パターン』N2						
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択					
事前・事後学習について		文章の中の言葉の意味を調べて覚えること					
	テーマ	授業内容					
1回	N2読解	1. 文章の仕組みを理解する ①【対比】ほかのものと比べる——解説と練習					
2回	N2読解	1. 文章の仕組みを理解する ②【言い換え】他のことばで言い換える——解説と練習					
3回	N2読解	1. 文章の仕組みを理解する ③【比喩】他のものにたとえる——解説と練習					
4回	N2読解	小テスト——10問(時間と正解率) ④【疑問提示文】疑問文を使って話題を提示——解説と練習					
5回	N2読解	1. 文章の仕組みを理解する ⑤【主張表現】自分の意見であることを示す——解説と練習					
6回	N2読解	2. 解く技術を身につける ①【指示詞を問う】これ・それ・あれ／このこと・そのこと・あのこと——解説と練習					
7回	N2読解	2. 解く技術を身につける ②『だれが』『何が』『なにを』などを問う					
8回	N2読解	小テスト——10問(時間と正解率) ③【下線部の意味を問う】——解説と練習					
9回	N2読解	2. 解く技術を身につける ④【理由を問う】——解説と練習					
10回	N2読解	2. 解く技術を身につける ⑤【全体の内容】——解説と練習					
11回	N2読解	1. 文章の仕組みを理解する ⑥【筆者が知りたいこと】——解説と練習					
12回	N2読解	日本語模擬試験——未定					
13回	N2読解	日本語模擬試験——未定					
14回	N2読解	1. 全体をつかむ メール・貼り紙・手紙					
15回	N2読解	2. 情報を探し出す ①広告・お知らせ——解説と練習					

対象学年		1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科			
科目名		日本語ビジネス会話				クラス	U留学生クラス		
担当講師(フルネーム)		恵良恭子							
授業概要(内容)		社内・社外で使う表現、場面によってどんな敬語表現を使うのかを練習。				授業形態	講義		
到達目標		ビジネスに役に立つ会話表現、敬語や日本語独特の言い回しを習得。							
使用テキスト		ビジネスのための日本語							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		語彙を予習すること							
	テーマ		授業内容						
1回	ビジネス会話 1課		【紹介】 ①新語と基本文型 ②自己紹介 ③他の人を紹介する——社内(ペアワーク) ロールプレイ						
2回	ビジネス会話 1課		①自己紹介 ②他の人を紹介する——社外(ペアワーク) ロールプレイ ③STAGE 2 会話(社内・社外)——ディクテーション(ペア会話)						
3回	ビジネス会話 1課		①STAGE 3 会話を作る ②STAGE 4 歓迎会での自己紹介 ③読み物(名刺) ④ことばテスト						
4回	ビジネス会話 2課		【あいさつ】 ①新語と基本文型 ②出社したときのあいさつ ③退社するときのあいさつ ④久しぶりにあったときのあいさつ——社内						
5回	ビジネス会話 2課		①再会したときのあいさつ ②別れるときのあいさつ ③久しぶりに会った時のあいさつ——社外 ④STAGE 2 会話(社内・社外)——ディクテーション(ペア会話)						
6回	ビジネス会話 2課		①STAGE 3 会話を作る ②STAGE 4 ③読み物(あいさつの後で) ④2課ことばテスト						
7回	ビジネス会話 1・2課		①会話テスト(1・2課)口頭 【許可】 3課 ①新語と基本文型						
8回	ビジネス会話 3課		【許可】 ①意向をたずねて許可を求める ②可能性をたずねて許可を求める——社内 ロールプレイ ③意向をたずねて許可を求める ——社外 ④ロールプレイ						
9回	ビジネス会話 3課		①STAGE 2 会話(社内・社外)——ディクテーション (ペア会話) ②STAGE 3 会話を作る ③STAGE 4 ④読み物(休暇)						
10回	ビジネス会話 3課		①3課ことばテスト ②会話テスト(3課)口頭						
11回	ビジネス会話 4課		【依頼】 ①新語と基本文型 ②依頼する(受ける・断る)——社外・社外 ③ロールプレイ						
12回	ビジネス会話 4課		①STAGE 2 会話(社内・社外)——ディクテーション (ペア会話) ②STAGE 3 会話を作る						
13回	ビジネス会話 4課		①STAGE 4 ②読み物(あいさつの後で) ③4課ことばテスト						
14回	ビジネス会話 4課		①会話テスト(4課)口頭						
15回	ビジネス会話(1～4課)		①テスト前 復習						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科			
科目名		日本語ビジネス会話				クラス	T留		
担当講師(フルネーム)		上中真由美							
授業概要(内容)		敬語表現やビジネスマナーを身につける練習				授業形態	講義		
到達目標		日本でのビジネスに必要な基本会話の習得							
使用テキスト		プリント配布							
成績評価方法		・期末試験50%平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		授業で覚えた表現をしっかりと復習してください。							
	テーマ		授業内容						
1回	敬語		紹介する BJTビジネス日本語にチャレンジ 慣用句						
2回	敬語		敬語の種類・使い分け BJTビジネス日本語にチャレンジ 慣用句						
3回	敬語		敬語を使うポイント BJTビジネス日本語にチャレンジ 慣用句						
4回	挨拶		休暇を取るとき・休んだ時 BJTビジネス日本語にチャレンジ 慣用句						
5回	電話		電話をかける・受ける BJTビジネス日本語にチャレンジ 慣用句						
6回	電話		電話をかける・受ける受ける BJTビジネス日本語にチャレンジ 慣用句						
7回	電話		電話をかける・受ける BJTビジネス日本語にチャレンジ 慣用句						
8回	注意をする・受ける		注意する・あやまる BJTビジネス日本語にチャレンジ 慣用句						
9回	注意をする・受ける		苦情 BJTビジネス日本語にチャレンジ 慣用句						
10回	日本語能力試験対策		日本語能力試験模擬テスト						
11回	日本語能力試験対策		日本語能力試験模擬テスト						
12回	日本語能力試験対策		日本語能力試験模擬テスト						
13回	頼む・断る		依頼の表現と断るとき BJTビジネス日本語にチャレンジ 慣用句						
14回	頼む・断る		依頼の表現と断るとき BJTビジネス日本語にチャレンジ 慣用句						
15回	頼む・断る		依頼の表現と断るとき BJTビジネス日本語にチャレンジ 慣用句						

対象学年		2年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科			
科目名		就職活動講座				クラス	T		
担当講師(フルネーム)		安部紀美江							
授業概要(内容)		・就職試験に真摯に向き合う姿勢を徹底し就職に必要な言葉や文章力を身に付けさせる。				授業形態	講義		
到達目標		・面接までの文章作成能力の向上							
使用テキスト		・オリジナルワークシート							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・ワークシートの作成内容と授業態度・・・50% ・作成提出物による評価・・・50%					単位数	1	
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		・宿題となった提出物については期限までに必ず完成させる。							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		・前期授業内容の説明を行う。 ・プロフィール作成。						
2回	日本における就職活動		・就職活動の一連の流れの説明 ・就職活動用日本語テスト						
3回	就職活動に必要なスキル		・ホテル業界の就職活動で必要なスキルと理由 ・就職活動用日本語テスト						
4回	職業を知る		・業界が求める人を知り自分との接点を探す ・就職活動用日本語テスト						
5回	身だしなみの重要性		・身だしなみチェックシートの作成 ・就職活動用日本語テスト						
6回	自己分析		・自己分析シートを使って自分自身の洗い出しをする ・就職活動用日本語テスト						
7回	自己分析		・自己分析シートを使って自分自身の洗い出しをする ・就職活動用日本語テスト						
8回	自己分析		・自己分析シートを使って自分自身の洗い出しをする ・就職活動用日本語テスト						
9回	自己分析		・自己分析シートを使って自分自身の洗い出しをする ・就職活動用日本語テスト						
10回	自己PRの作り方		・自己PRの作成方法をキーワードごとに説明し作成してみる ・就職活動用日本語テスト						
11回	自己PRの作り方		・自己PRの作成方法をキーワードごとに説明し作成してみる ・就職活動用日本語テスト						
12回	自己PRの作り方		・自己PRの作成方法をキーワードごとに説明し作成してみる ・就職活動用日本語テスト						
13回	企業研究		・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ ・就職活動用日本語テスト						
14回	企業研究		・企業開催セミナー・説明会に参加する意味と就活への活用方法をわかるようになる ・就職活動用日本語テスト						
15回	完成品のチェック		・前期提出物のチェック						

対象学年		2年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科		
科目名		SPI言語対策				クラス	Tクラス	
担当講師(フルネーム)		山本真美						
授業概要(内容)		就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業				授業形態	講義	
到達目標		筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指す						
使用テキスト		・一般常識チェック& ・一般常識/一問一答						
成績評価方法		※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 前期試験70%、平常点(課題提出、授業態度など)30%					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		復習を必ずする						
	テーマ		授業内容					
1回	目指せ『漢検二級』		授業の進め方、評価方法の確認 漢字検定試験を解いてみよう SPI言語 練習問題 同意語(意味や内容が近い語)①					
2回	都道府県を極める		日本の白地図を使用して都道府県を確認する SPI言語 練習問題 同意語(意味や内容が近い語)②					
3回	世界地図を見る①		白地図で主要な国の位置と首都を把握しよう SPI言語 練習問題 同意語(意味や内容が近い語)③					
4回	世界地図を見る②		2週にわたり、世界で注目されている国々の場所を確認し、時事問題に対応できる基礎固めをします SPI言語 練習問題 反意語(意味や内容が反対の語)①					
5回	グローバル社会の住人①		世界の『今』を知るために、国際連合とその諸機関を学びます SPI言語 練習問題 反意語(意味や内容が反対の語)②					
6回	グローバル社会の住人②		程よい付き合いは、人にとっても国にとっても重要です 国同士の『付き合い』を地域協定(EU・ASEANなど)を通して考えます SPI言語 練習問題 反意語(意味や内容が反対の語)③					
7回	グローバル社会の住人③		『summit』の意味は『頂上』。時事用語の『サミット』は？ G7サミットはフランスで開催。G20サミットは大阪で開催です SPI言語 練習問題 慣用句①					
8回	あなたの『1票』の重さ		政治① 国会議員の人数や任期を知るとともに国会の仕組みについて学びます (今年は参議院の選挙が7月にあります) SPI言語 練習問題 慣用句②					
9回	霞が関		政治② 内閣と1府12省庁と関連機関を確認します SPI言語 練習問題 慣用句③					
10回	地方公共団体		政治③ 中央政治のあとは、地方政治を学びます SPI言語 練習問題 ことわざ①					
11回	裁判員裁判		裁判所について学びます。裁判員制度は聞いたことがあるけれど・・・ SPI言語 練習問題 ことわざ②					
12回	循環する『お金』		銀行に預けたお金はどこへ行く？お金の流れを考え『経済』をもっと身近に SPI言語 練習問題 ことわざ③					
13回	『おれ』は技術の結晶		『おれ』から、『電子決済』まで、世界の今、日本の今を考えます SPI言語 練習問題 四字熟語①					
14回	経済用語を覚える		CEO,COO,CFO、代表取締役社長、いろんな呼び方があります。あわせて覚えましょう SPI言語 練習問題 四字熟語②					
15回	前期の総復習＆課題		前期の復習と夏休みの課題説明 SPI言語 練習問題 四字熟語③					

対象学年		3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科			
科目名		SPI言語対策				クラス	Sクラス		
担当講師(フルネーム)		山本真美							
授業概要(内容)		就職試験に合格するために苦手分野を克服し得意分野を伸ばす				授業形態	講義		
到達目標		WEBテスト、適性検査、時事問題にも対応できるように実力を養成する							
使用テキスト		朝日キーワード就職2019最新時事問題＆一般常識							
成績評価方法		※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・前期期末試験70%、平常点(提出物、授業態度など)30%					単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		事前に指定されたテキストの単元の予習							
	テーマ		授業内容						
1回	必ず復習する		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 毎回テストを実施し解答と解説をします。間違った問題はノートに書いて復習します。 残りの時間は、時事問題用語解説、漢字の書き取りや新聞コラムに取り組みます						
2回	漢検二級レベル		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 就職試験にかかわらず、漢字は私たちの生活に欠かせません。漢検二級レベルを目指しましょう						
3回	新聞を読む		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験当日は特に新聞のチェックは忘れずに。 普段から時事問題に精通するには、まず新聞を読むこと。各新聞社のサイトを活用しましょう						
4回	情報を分析する		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 先輩たちの受験報告書を活用していますか？各企業の試験問題の傾向がわかります						
5回	はじめてにあわてない		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 適性検査で見慣れない問題が出てことがあります。例題を見て冷静に対応します						
6回	今日は中間テスト		中間テスト(解答と解説)、時事問題用語解説						
7回	時間配分を考える		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験時間は足りていますか？解く前に試験問題の量のチェックも忘れずに						
8回	今日から始める		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 内定はスタート！『知ること』を常に心がけましょう						
9回	みんながデキル問題		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 正答率の高い問題は受験者のほとんどができている証拠。みんながデキル問題は間違えない						
10回	過去を振り返る		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 過去を振り返り、修正も大事						
11回	ニュースを気にする		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 自分の希望する業界のニュースは気にかけていますか？情報集めは怠りなく						
12回	ニュースを読む		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 じっくりとニュースの「なぜ？」を考える						
13回	自分の意見を考える		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースの「なぜ？」から自分の意見を考える						
14回	目標を持つ		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 今の目標はなにですか？						
15回	ゴールはスタート		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 SPI対策はこの回で終わりです。これからも社会の動きに敏感になって、時代の流れを見ていきましょう						

対象学年		3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科			
科目名		ホテルマネジメント				クラス		S	
担当講師(フルネーム)		中牟田 登喜枝							
授業概要(内容)		ホテルマネージメントの基礎的な知識を学習する				授業形態		講義	
到達目標		ホテルマネージメントの基礎的な仕組みを学習し活用できるようになる							
使用テキスト		Hotel management ホテルマネージメント 日英併記							
成績評価方法		・期末試験50%平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		新聞やネットのニュースなどでも最近のホテルの状況を理解し就職に役立てよう							
	テーマ		授業内容						
1回	マネジメントの基本		マネジメントの基本認識と定義 (1)経営者の仕事～(5)企業文化						
2回	マネジメントの基本		(6)人事戦略～(10)モチベーション						
3回	マネジメントの基本		ホテルの経営と運営 (1)外資と日本ホテル～(2)日本進出の背景						
4回	マネジメントの基本		ホテルの経営と運営 (3)所有・経営・運営の分離～(7)マネジメント契約方式						
5回	マネジメントの基本		ホテルの収益構造						
6回	ホテルの会計基準		ホテルの会計基準の特賞						
7回	ホテルの会計基準		ホテル業の収益会計と費用会計 ユニフォーム・システム						
8回	部門別のマネジメント		宿泊部門のマネジメント(1)KPIと計数計算～ADR						
9回	部門別のマネジメント		宿泊部門のマネジメント(4)RevPAR～(5)定員稼働率						
10回	部門別のマネジメント		宿泊料金体系						
11回	部門別のマネジメント		3つの宿泊料金体系						
12回	部門別のマネジメント		レベニュー・マネジメント						
13回	部門別のマネジメント		料飲部門のマネジメント						
14回	部門別のマネジメント		宴会部門のマネジメント						
15回	まとめ		後期復習 期末試験についての説明						

対象学年		2年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科		
科目名		フロントオフィス				クラス	S	
担当講師(フルネーム)		松本範子						
授業概要(内容)		フロントオフィスの様々な業務を理解すると同時に、PMSを実際に扱いながら フロントの流れを学ぶ。				授業形態	講義＆演習	
到達目標		フロントオフィス業務についての基本知識を学ぶとともにホテル全体の流れを理解する						
使用テキスト								
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について								
フロントオフィス全体を把握して実習に活かせるようにする								
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション 第1章 フロント・オフィスとは		授業内容、評価方法について フロント・オフィスとは 意義と役割 / 組織を業務					
2回	第2章 客室のタイプと料金		客室タイプ 料金システム					
3回	第3章 リザーベーション業務		予約業務の重要性					
4回	第3章 リザーベーション業務		客室予約の種類 宿泊予約システム概要					
5回	第3章 リザーベーション業務		予約受付の流れ					
6回	第3章 リザーベーション業務		電話予約 予約のキャンセルおよび変更 その他の業務					
7回	第3章 リザーベーション業務		予約システムの説明 予約作成					
8回	第3章 リザーベーション業務		システム: 予約業務のロールプレイ					
9回	第4章 レセプション業務		レセプション・サービス ルーム・アサインメント					
10回	第4章 レセプション業務		チェックインの業務 チェックイン前の仕事 チェックインの手順					
11回	第4章 レセプション業務		事前予約の無いウォークインのチェックイン 団体客のチェックイン VIPのチェックイン					
12回	第4章 レセプション業務		宿泊条件の変更 出立日の変更(アーリー・チェックアウト、滞在の延長) 部屋の変更(お客様都合・ホテル都合)・室料の変更					
13回	第4章 レセプション業務		チェックアウト業務 ナイト業務 デイリールーム・レポート					
14回	第4章 レセプション業務		ロールプレー: チェックイン業務					
15回	まとめ		前期のまとめ 期末対策					

対象学年		3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科			
科目名		マナープロトコール				クラス	Sクラス		
担当講師(フルネーム)		池田香織							
授業概要(内容)		マナー＆プロトコールを学び、社会人になるための準備をする				授業形態	講義		
到達目標		社会人になるためのマナー、エチケットを身につける。							
使用テキスト		マナー＆プロトコールの基礎知識							
成績評価方法		・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		復習テストを行うので自宅で復習を行うこと。							
	テーマ		授業内容						
1回	序章 マナーとは何か		授業の進め方、評価方法を知る マナー、エチケット、プロトコールとは何かを学ぶ						
2回	第3章 社会人に必要なマナー		復習テスト 好印象を与えるコミュニケーションとは何かを学ぶ 服装のマナー、喜ばれる贈答を学ぶ						
3回	第3章 社会人に必要なマナー		手紙のマナーを学ぶ						
4回	第1章 マナーの歴史と意味		復習テスト マナー・エチケットの成り立ちを知る						
5回	第2章 国際人としてのプロトコール		復習テスト プロトコールの原則～挨拶と紹介を学ぶ						
6回	第2章 国際人としてのプロトコール		外国人への贈り物～異文化コミュニケーションを学ぶ						
7回	第4章 ビジネスシーンのマナー		ビジネスマナーの必要性～名刺の扱い方を学ぶ						
8回	第4章 ビジネスシーンのマナー		復習テスト 電話応対～トラブル対応を学ぶ ビジネス文書を学ぶ						
9回	第5章 食事のマナー		復習テスト 食事のマナーを学ぶ						
10回	第7章 「冠」のしきたり		復習テスト 冠婚葬祭とは何か、日本の主な通過儀礼を知る						
11回	第8章 「婚」のしきたり		復習テスト 結婚式のマナーを知る						
12回	第9章 「葬」のしきたり		復習テスト 葬儀のマナーを知る						
13回	第10章 「口」のしきたり		復習テスト 日本における1月～6月までの年中行事を知る						
14回	第10章 「口」のしきたり		日本における6月～12月までの年中行事を知る						
15回	期末テスト対策		復習テスト 期末テストに向けての試験対策						

対象学年		3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科			
科目名		就職活動講座				クラス	S		
担当講師(フルネーム)		小林俊也							
授業概要(内容)		・面接の基本動作を確認し、頻度の高い質問に対する受け答えを理解する ・自己の強みを認識し、面接での表現の仕方を学ぶ				授業形態	講義		
到達目標		・志望企業内定に向けて、合格レベルの受け答えができるまで							
使用テキスト		・オリジナルレジュメ ・就職ノート							
成績評価方法		・模擬面接の評価70%、平常点(授業態度等)30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について 日頃よりニュースを確認する。									
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		・授業の概要、進め方、評価について ・企業(人事担当者)の視点 ・自己紹介						
2回	面接対策		・面接質問内容の分析(昨年) ・頻度の高い質問						
3回	面接対策		・面接のシチュエーションと基本動作						
4回	面接対策		・自己PRチェック ※模擬面接とフィードバック						
5回	面接対策		・自己PRチェック ※模擬面接とフィードバック						
6回	面接対策		・自己PRチェック ※模擬面接とフィードバック						
7回	面接対策		・志望動機チェック ※模擬面接とフィードバック						
8回	面接対策		・志望動機チェック ※模擬面接とフィードバック						
9回	面接対策		・志望動機チェック ※模擬面接とフィードバック						
10回	面接対策		・企業実習の内容と学んだこと						
11回	面接対策		・配属の希望と理由						
12回	面接対策		・アルバイトについて						
13回	面接対策		・これまでに頑張ってやり遂げたこと、乗り越えたこと						
14回	面接対策		・長所と短所						
15回	まとめ		・就職試験に臨む前に						

対象学年		3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科			
科目名		面接対策				クラス	S		
担当講師(フルネーム)		安部紀美江							
授業概要(内容)		・企業研究、志望動機、自己PRの完成品作成 ・面接での受け答えのロールプレイング				授業形態	講義		
到達目標		・志望する企業への内定を勝ち取る。							
使用テキスト		・オリジナルワークシート							
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・ワークシートの作成内容と授業態度…50% ・作成提出物による評価…50%					単位数	2	
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		・宿題となった提出物については期限までに必ず完成させる。							
	テーマ		授業内容						
1回	自己PRの作成		・実習体験を使った自己PRを作成する。 ・面接時での自己PRの発表練習。						
2回	面接対策		・自分のベスト自己PRを作成し、反復練習を行う						
3回	面接対策		・自分のベスト自己PRを作成し、反復練習を行う						
4回	受験企業の研究シート作成		・受験企業の研究シートの充実を図り、どのような質問にも答えられるようにする。						
5回	受験企業の研究シート作成		・受験企業の研究シートの充実を図り、どのような質問にも答えられるようにする。						
6回	受験企業の志望動機作成		・受験企業の志望動機を完成させる。						
7回	受験企業の志望動機作成		・受験企業の志望動機を完成させる。						
8回	企業研究・面接対策		・受験企業研究と共に面接での受け答え練習を行う。						
9回	企業研究・面接対策		・受験企業研究と共に面接での受け答え練習を行う。						
10回	企業研究・面接対策		・受験企業研究と共に面接での受け答え練習を行う。						
11回	企業研究・面接対策		・受験企業研究と共に面接での受け答え練習を行う。						
12回	企業研究・面接対策		・受験企業研究と共に面接での受け答え練習を行う。						
13回	企業研究・面接対策		・受験企業研究と共に面接での受け答え練習を行う。						
14回	完成品のチェック		・前期提出物のチェック						
15回	入社後に必要なこと		・日本企業のあり方や組織内での最小限の必要知識を身に付ける						

対象学年		3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント			
科目名		マーチャンダイジング				クラス	S		
担当講師(フルネーム)		橋口淳二							
授業概要(内容)		マーチャンダイジング世界の見聞知識を学ぶ				授業形態	講義&演習		
到達目標		経営におけるマーケティング知識を学び身につける							
使用テキスト		なし							
成績評価方法		期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		学習した技術を、実習やアルバイト就業後に発揮できる。							
	テーマ		授業内容						
1回	授業説明		授業の目的と進め方、評価方法について説明する マーチャンダイジングとは5つの適正						
2回	商品の品揃え①		主力商品とは						
3回	商品の品揃え②		展示数やアイテム数						
4回	商品構成力①		売れ筋商品とは						
5回	商品構成力②		適切配置						
6回	価格競争力①		競合他社研究						
7回	価格競争力②		価格競争の行方						
8回	価格訴求力①		顧客管理と伝達						
9回	価格訴求力②		伝達方法の再確認						
10回	価格提案力①		販促物のありかた						
11回	価格提案力②		商品の魅力アップするには						
12回	自社ブランド作成		理想とするホテルの売れる企画を作成						
13回	自社ブランド作成		理想とするホテルの売れる企画を作成						
14回	まとめ		企画発表						
15回	まとめ		企画発表						

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科		
科目名	日本語ビジネス会話				クラス	S	
担当講師(フルネーム)	永吉美知子						
授業概要(内容)	留学生のためのビジネス場面での日本語表現の習得 日本語表現以外にも社会人としての基礎力、異文化調整能力の養成				授業形態	講義	
到達目標	有望な人材として社会で活躍できる会話力、人間力						
使用テキスト	『実践ビジネス日本語 上級・中級』・『商談のための日本語中級』BJT読解問題、BJT模試と対策						
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択					
事前・事後学習について	ひらがな、カタカナを学ぶ。						
	テーマ		授業内容				
1回	ビジネス会話 1		BJT 読解問題セクション1描写問題 留学生のためのビジネス日本語シリーズ				
2回	ビジネス会話2		BJT 読解問題セクション1描写問題 留学生のためのビジネス日本語シリーズ				
3回	ビジネス会話3		BJT 読解問題セクション2表現力問題 留学生のためのビジネス日本語シリーズ				
4回	ビジネス会話4		BJT 読解問題セクション2表現力問題 留学生のためのビジネス日本語シリーズ				
5回	ビジネス会話5		BJT 聴解セクション3 聴解問題 実践ビジネス日本語				
6回	ビジネス会話6		BJT 聴解セクション3 聴解問題 実践ビジネス日本語				
7回	ビジネス会話 7		BJT 聴解読解複合問題セクション1 表現力問題 実践ビジネス日本語				
8回	ビジネス会話8		BJT 聴解読解複合問題セクション1 表現力問題 実践ビジネス日本語				
9回	ビジネス会話9		BJT聴解読解複合問題セクション1 表現力問題 実践ビジネス日本語				
10回	ビジネス会話 10		BJT 聴解読解複合問題セクション2 聴読解問題 実践ビジネス日本語				
11回	ビジネス会話 11		BJT 聴解読解複合問題セクション2 聴読解問題 実践ビジネス日本語				
12回	ビジネス会話12		BJT 聴解読解総合問題セクション2 聴読解問題 実践ビジネス日本語				
13回	ビジネス会話 13		BJT 聴解読解総合問題復習 実践ビジネス日本語				
14回	ビジネス会話14		BJT 聴解読解総合問題敬語 敬語リスト				
15回	ビジネス会話 15		BJT模擬テスト				

対象学年		3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科		
科目名		日本語能力試験対策				クラス	S(留学生)	
担当講師(フルネーム)		中牟田 哲也						
授業概要(内容)		N1の合格に必要な語彙の解説 問題を解きながら語彙を覚える				授業形態	講義	
到達目標		N1の合格を目指す						
使用テキスト		新完全マスター 語彙N1						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		適宜、宿題を出す。新たに学んだ語彙を会話の中に取り入れる、ノートに書くことを習慣づけることが望ましい。						
	テーマ	授業内容						
1回	ガイダンス 1章 意味がたくさんある言葉 1課 名詞	授業の諸注意 言葉と例文 基本練習 実践練習						
2回	2課 動詞	言葉と例文 基本練習 実践練習						
3回	2章 意味が似ている言葉 1課 副詞・形容詞	言葉と例文 基本練習 実践練習						
4回	2課 動詞・名詞	言葉と例文 基本練習 実践練習						
5回	3章 形が似ている言葉 1課 漢語	言葉と例文 基本練習 実勢練習						
6回	2課 和語	言葉と例文 基本練習 実践練習						
7回	4章 副詞 1課 程度、時間、頻度	言葉と例文 基本練習 実践練習						
8回	2課 後ろに決まった表現が来る副詞	言葉と例文 基本練習 実践練習						
9回	3課 まとめて覚えたい副詞 その他の副詞	言葉と例文 基本練習 実践練習						
10回	5章 オノマトペ 1課 ものの様子・人の様子①	言葉と例文 基本練習 実践練習						
11回	2課 人の様子②	言葉と例文 基本練習 実践練習						
12回	6章 慣用表現 1課 体の言葉を使った慣用表現①	言葉と例文 基本練習 実践練習						
13回	2課 体の言葉を使った慣用表現② その他の慣用表現	言葉と例文 基本練習 実践練習						
14回	7章 語形成 1課 複合動詞①	言葉と例文 基本練習 実践練習						
15回	2課 複合動詞②	言葉と例文 基本練習 実践練習						

夜間総合観光

対象学年		1年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科			
科目名		ホテル・ブライダル業界研究				クラス	Y		
担当講師(フルネーム)		澤田祐子							
授業概要(内容)		ホテル・ブライダルを体系的に理解し、業務として興味と関心を高める為の講義を行う				授業形態	講義		
到達目標		業界における専門知識とサービス業務を学び、就職に生かす能力を高める							
使用テキスト		ホテルビジネス 基礎編							
成績評価方法		期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		学習した技術を、実習やアルバイト就業後に発揮できる。							
	テーマ		授業内容						
1回	接客の基本		グルーミング・基本動作(お辞儀・笑顔・立ち姿・待機姿勢・案内) 接客用語と挨拶・言葉遣い ホテル・ブライダル業界で求められるサービスと働く魅力について						
2回	ホテルの基本知識		ホテルの歴史・職種・組織 ホテルの形態と種類						
3回	ブライダルの基本知識		ブライダルの定義 挙式・披露宴の種類と形態 宗教によるスタイル						
4回	ブライダルの基本知識		挙式・披露宴の概要 日本におけるブライダルの習慣・しきたり						
5回	ホテル紹介		ホテルの形態と種類 世界のホテルブランド						
6回	宿泊部		宿泊部門の組織について(各課の役割と業務内容) 客室の快適性・居住性 客室の種類(ルームタイプ)と設備・寝具の基本知識						
7回	料飲部		レストランメニュー・レストランの種類 レストラン業務の流れと基本						
8回	宴会部 その他の部門		宴会業務の基本と流れ(各課の役割) 宴会の種類 「裏方」と呼ばれるホテル内での仕事						
9回	ブライダルに関わる業務		結婚・結婚式に携わる職種						
10回	挙式の流れ		挙式で行なわれる演出について解説						
11回	披露宴の流れ		披露宴で行われる演出について解説						
12回	披露宴の流れ		披露宴で行われる演出について解説						
13回	結婚式全体の流れを確認		挙式・披露宴での一連の流れ、進行を確認						
14回	ホテル・結婚式場紹介		有名・人気のある各施設と、その特徴を紹介						
15回	前期まとめ		前期授業のまとめと期末試験対策						

対象学年		1年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科			
科目名		観光業界研究(旅行／エアライン)				クラス	Y		
担当講師(フルネーム)		【旅行】友納真　／【エアライン】吉原正彦							
授業概要(内容)		【旅行】旅行業界の知識・販売・添乗について講義 【エアライン】航空業界の知識・空港、航空機、業種について講義				授業形態	講義		
到達目標		旅行・エアラインの基礎知識を習得する							
使用テキスト		【旅行】旅行業務入門／【エアライン】エアポートビジネス入門							
成績評価方法		【旅行】確認テスト実施(70%)＋平常点(小テスト含む)(30%)／【エアライン】確認テスト実施(80%)＋平常点(20%) 【旅行】【エアライン】を合算して成績評価する　※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2	
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○　授業中に実施・・・△期末試験なし・・・×　を枠に選択							
事前・事後学習について		講義で習得したことを復習する							
	テーマ		授業内容						
1回	旅行①		旅行とは？旅行業の歴史、観光業界の中の旅行業 旅行業界を取り巻く環境、課題をテーマに講義						
2回	旅行②		旅行会社の概説 各旅行会社の形態と業務内容、ブランドについて知る 旅行会社の求人について						
3回	旅行③		基礎知識①　＜鉄道＞ JRとは？JR各社と路線(新幹線・在来線特急)、営業規則を確認 JR時刻表の使い方						
4回	旅行④		基礎知識②　＜航空＞ 国内線の航空会社、路線、運賃種別、営業規則を確認						
5回	旅行⑤		基礎知識③　＜フェリー・バス＞ 日本国内のフェリー会社、路線、バスの種別を確認						
6回	旅行⑥		旅行業界の業界用語、言い回し 旅行パンフレットの見方、カウンターでのロールプレイを通して実践						
7回	旅行⑦		添乗業務／業務の流れ(準備・添乗・精算)、添乗あいさつ、案内の言い回しなどをロールプレイを通して実践						
8回	確認テスト		確認テストを実施。 授業のまとめ、振り返り						
9回	エアラインビジネス		航空業界に対するイメージの意見交換を行う 航空会社の業務とそれを取り巻く関連会社の業務について学ぶ 空港の旅客、貨物取扱能力について学ぶ						
10回	航空業界とは		航空輸送事業の歴史と近年の動向について学ぶ 航空会社の新規参入と格安航空会社(LCC)の台頭について学ぶ 航空会社グループ化の進展(アライアンス)について学ぶ						
11回	空港業務の概要		空港の種類、機能及び施設について学ぶ 航空会社及び関連会社について学ぶ 航空機の歴史、活躍中の航空機及び将来の航空機について学ぶ						
12回	航空業界の仕事		JAL・ANAグループ航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明し学ぶ 日本に就航している格安航空会社について学ぶ						
13回	航空業界の仕事		旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 運行管理業務、ステーション・コーディネーション業務について学ぶ 運行支援業務(グランドハンドリング業務)について学ぶ						
14回	航空業界の仕事		整備業務、ケータリング業務について学ぶ 航空貨物業務について学ぶ 航空保安対策基準について学ぶ						
15回	確認テスト		航空業界の今後の動向について学ぶ 確認テストを実施 授業のまとめ						

対象学年		1年	学期	通年	学科	夜間総合観光科			
科目名		就職活動講座				クラス	Y		
担当講師(フルネーム)		澤田祐子							
授業概要(内容)		就職活動に向けて意識を高め、具体的な行動と準備ができるようになる。 この授業はLHRと平行して行う				授業形態	講義		
到達目標		就職活動に必要な必要事項の完成を目指す							
使用テキスト		勝つための就職ガイドSUCCESS 就職ノート							
成績評価方法		※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(授業態度 就職活動の姿勢)80% レポート・演習20%					単位数	2	
期末試験	×								
事前・事後学習について		学習した技術を、実習やアルバイト就業後に発揮できる。							
	テーマ		授業内容						
1回	就職活動の心構え		就職活動とは・学生と社会人の違い・なぜ働くのか？ 採用の基準(求められる人材・一緒に働きたい人とは)						
2回	就職活動の基本		入社試験の内容と流れ 就職活動のルール 当学科の2年間						
3回	自己分析		あなたのモットー・座右の銘は？						
4回	自己分析		キャリアプラン・ライフプラン 自身の経験をもとに自己分析を行なう 入学理由・業界や職種に興味を持ったきっかけ						
5回	自己分析		もともと打ち込んだ事は？ 現在の生活状況やアルバイトから自身の強みを考える						
6回	自己分析		自身はクラスメイトからどのように思われている？ 前回までの授業の続き						
7回	自己PR		自己PRの作り方						
8回	自己PR		パーソナルチェック(挫折経験・ストレス解消法・趣味・特技)						
9回	質問事例		接客・サービス・おもてなしについての質問 感動のサービス・お客様に満足していただくためには						
10回	質問事例		職業観についての質問						
11回	コミュニケーションスキル		自分の意見を伝えるためには…「結論から話す」 結論から話す練習						
12回	企業研究		働きたい会社を見つけて志望動機につなげる						
13回	履歴書作成		履歴書の記入項目と書き方 文章のまとめ方・志望動機と自己PR以外の項目の書き方						
14回	履歴書作成		志望動機&自己PR完成						
15回	まとめ		履歴書完成						

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科		
科目名		面接対策				クラス	Z	
担当講師(フルネーム)		安部紀美江						
授業概要(内容)		・受験企業の絞り込みと企業研究の充実を図り、面接対策のフォローアップをする。 ・内定後の処し方と入社後に最低限必要な知識を身につける。				授業形態		講義
到達目標		・志望する企業への内定を勝ち取る。						
使用テキスト		・「NEW SUCCESS 勝つための就職ガイド」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・ワークシートの作成内容と授業態度…50% ・作成提出物による評価…50%					単位数	1
期末試験	×	※期末試験期間中に実施…○ 授業中に実施…△期末試験なし…× を枠に選択						
事前・事後学習について		・宿題となった提出物については期限までに必ず完成させる。						
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		・現在の就職活動状況の報告 ・自分自身の問題点の洗い出しを行い弱点を見つける。					
2回	志望企業の研究		・志望企業の確定と研究シートの作成					
3回	面接対策		・よく出る質問の答え方を自身で考え、面接練習を行う。					
4回	面接対策		・よく出る質問の答え方を自身で考え、面接練習を行う。					
5回	面接対策		・よく出る質問の答え方を自身で考え、面接練習を行う。					
6回	企業研究・面接対策		・受験企業の自己PRならびに志望動機の完成品を作成し再度精査する。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。					
7回	企業研究・面接対策		・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。					
8回	内定後にすること		・内定とは何かを説明し企業人としての第一歩の自覚を促す。 ・内定後の学校生活が入社に関係してくることの確認をさせ規律を守らせる。 ・就業規則とは何かを知らしめ企業内での言動について考えさせる。					
9回	企業研究・面接対策		・内定者と未定者とは分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。					
10回	企業研究・面接対策		・内定者と未定者とは分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。					
11回	企業研究・面接対策		・内定者と未定者とは分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。					
12回	企業研究・面接対策		・内定者と未定者とは分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。					
13回	完成品のチェック		・前期提出物のチェック					
14回	入社後に必要なこと		・就業規則とは何か、どう守っていくかを知らしめる。 ・組織について最小限の知識を身に付ける。					
15回	入社後に必要なこと		・自分自身の給料を計算してみよう。					

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科		
科目名		ホテル総論				クラス	Z①	
担当講師(フルネーム)		澤田祐子						
授業概要(内容)		ホテル産業全般の歴史と基礎知識を理解し習得する ホテルビジネス実務検定の合格を目指す				授業形態		講義
到達目標		「基礎編 ホテルビジネス」 日本ホテル教育センター						
使用テキスト		適宜にプリントを使用、ホテル業界の関連ビデオ						
成績評価方法		期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		学習した技術を、実習やアルバイト就業後に発揮できる。						
	テーマ		授業内容					
1回	オリエンテーション		授業の進め方 ホテルビジネス実務検定試験実施要綱 その他					
2回	ホテルの基礎		ホテル産業とその歴史について 業態とそれぞれの組織					
3回	ホテルの基礎		サービスの基本					
4回	宿泊部門①		宿泊部門の業務内容と基本的な流れ 専門用語①					
5回	宿泊部門②		フロントサービスとフロントオフィスについての具体的な業務					
6回	宿泊部門③		フロントサービスとフロントオフィスについての具体的な業務					
7回	料飲部門①		料飲部門の組織、業務内容、基本的な流れ					
8回	料飲部門②		各国の料理とレストラン、ホテル内の料飲施設①					
9回	料飲部門③		各国の料理とレストラン、ホテル内の料飲施設②					
10回	宴会部門①		宴会の形式とサービス方法					
11回	宴会部門②		宴会料理のバリエーション					
12回	調理部門		宴会・婚礼業務					
13回	セールス部門		セールス&マーケティング					
14回	ホテルの基礎用語		ホテル用語の確認と復習					
15回	まとめ		まとめ					

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科		
科目名		旅行実務				クラス	Z②クラス	
担当講師(フルネーム)		榎本美和子						
授業概要(内容)		旅行業に関する知識を実際の資料を目で見て触れ体感しながら学習				授業形態	講義	
到達目標		旅行業に必要な基礎知識を得る						
使用テキスト		旅行業入門・パンフレット・時刻表・プリント						
成績評価方法		・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択						
事前・事後学習について		復習を行う。						
	テーマ		授業内容					
1回	旅行業とは		授業の進め方、評価方法について 旅行業の課題 グローバル化する社会の中で、日本の文化やおもてなしの心を理解する					
2回	商品		旅行会社が取扱う商品について 実際のパンフレットや関連資料を見ながら学習 ツアーの種類					
3回	商品		航空、その他(希望職種)の取扱う商品やCSを意識した魅力ある商品・企画を知る					
4回	旅行地理		国内の観光地・観光スポットを学習 (身近な九州を知る)					
5回	旅行地理		海外の人気観光地					
6回	運送機関		運送機関の種類とその運賃について					
7回	運送機関		空港の名称・コード(略語) 航空会社コード(略語) 覚え方 アウトプット					
8回	渡航手続		渡航手続について					
9回	出入国手続		出入国手続について 空港での手続 チェックイン～出発まで					
10回	宿泊機関		旅館とホテルの各種類について 予約 取り消しについて					
11回	団体旅行		団体旅行の種類 関連する運送機関 つながり 添乗員の仕事					
12回	旅行業にまつわるニュース		新しい情報を知る重要性 実際に調べてみよう！ 発表					
13回	旅行業における法律		旅行業法について					
14回	旅行業における法律		旅行業約款について					
15回	前期授業の振り返り		授業を振り返り、質問・感想 関連テーマについて、ディスカッション					

対象学年		2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科			
科目名		レストラン&バンケットサービス				クラス	Z		
担当講師(フルネーム)		橋口淳二							
授業概要(内容)		料飲サービス基本動作、知識を学ぶ 宴会サービス基本動作、知識を学ぶ				授業形態		講義&演習	
到達目標		料飲部の配属先で使える技能をつける。							
使用テキスト		なし							
成績評価方法		期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。						単位数	2
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択							
事前・事後学習について		学習した技術を、実習やアルバイト就業後に発揮できる。							
	テーマ		授業内容						
1回	オリエンテーション		授業の目的と進め方、評価方法について説明する 身だしなみ、待機、歩き方について 整理整頓						
2回	料飲部門の概要		料飲部門の重要性を理解する ホテル収入の戦略的部門F&B基本的な役目 整理整頓。						
3回	西洋料理の概要		フランス料理の起源、歴史と背景について ヌーベルキュイジーヌ以降の世界の食の動向について 整理整頓						
4回	西洋料理の備品		テーブルクロス、アンダークロスについて。クロスかけのロールプレイング ゲスト用ナプキンとサービス用トーションの取り扱い方について 整理整頓						
5回	C.G.Sの種類と取扱		チャイナウエアー、グラスウエアー、シルバーウエアーの種類について 上記の素材の違いによる取り扱い方の注意点について 整理整頓						
6回	飲料のサービス		グラスの扱い方の注意点について ドリンクサービスとボトルサービスのロールプレーイング 整理整頓						
7回	フルセットの基本		フルコースのセットについて理解と実践 プレートの基本的持ち方とシルバー類の扱い方についてロールプレーイング 整理整頓						
8回	デバラッセ		プレートを使つてのサービスとデバラッセのロールプレーイング トレイ使用時のデバラッセ 整理整頓						
9回	トレイサービス		トレイからのドリンクサービスのロールプレーイング コーヒー、紅茶、アンフュージョンの種類とサービスについて 整理整頓						
10回	朝食の基本		代表的なブレックファーストについて、世界のブレックファーストについて スタイル別ブレックファーストのサービスロールプレーイング 整理整頓						
11回	特別食の提供		食の禁忌と特別食 食と文化のつながり 整理整頓						
12回	宴会とバンケット		宴会とは？バンケットとは？ MICEとは？ 整理整頓						
13回	実技練習		期末試験の課題発表 次週のテストに向けて練習 整理整頓						
14回	実技練習		前期のまとめ 次週のテストに向けて練習 整理整頓						
15回	期末試験		実技試験 制限時間内に課題ロールプレイングを行なう 整理整頓						

